

遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事(2工区)					
図 面 目 録					
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
1	位置図	1/10,000	D-36	展開図(3)	1/100
2	一般平面図	1/600	D-37	展開図(4)	1/50
3	配置図	1/400	D-38	展開図(5)	1/50
4	水位関係図	1/100	<del>D-39</del>	<del>展開図(6)</del>	<del>1/100</del>
			D-40	天井伏図	1/100
<del>D-1</del>	<del>建築工事特記仕様書(1)</del>	-	<del>D-41</del>	<del>建具枠回り詳細及び記号(アルミ製)</del>	-
<del>D-2</del>	<del>建築工事特記仕様書(2)</del>	-	<del>D-42</del>	<del>建具枠回り詳細及び記号(鋼製)</del>	-
<del>D-3</del>	<del>建築工事特記仕様書(3)</del>	-	<del>D-43</del>	<del>建具枠回り詳細及び記号(鋼製・鋼製軽量)</del>	-
<del>D-4</del>	<del>建築工事特記仕様書(4)</del>	-	<del>D-44</del>	<del>大型・気密鋼製建具 部分詳細図(1)</del>	<del>図示</del>
D-5	工事区分一覧表	-	<del>D-45</del>	<del>大型・気密鋼製建具 部分詳細図(2)</del>	<del>図示</del>
<del>D-6</del>	<del>建築面積求積図・床面積求積図</del>	1/200	D-46	建具配置図(1)	1/100
<del>D-7</del>	<del>各室面積求積図、防火区画図</del>	1/200	<del>D-47</del>	<del>建具配置図(2)</del>	<del>1/100</del>
<del>D-8</del>	<del>法規チェックリスト(1)</del>	-	D-48	建具表(1)	1/50
<del>D-9</del>	<del>法規チェックリスト(2)</del>	-	<del>D-49</del>	<del>建具表(2)</del>	<del>1/50</del>
<del>D-10</del>	<del>法規チェックリスト(3)</del>	-			
D-11	仕上表(1)	-	P-1	貫通孔・埋込管及び機械基礎仕様書	-
D-12	仕上表(2)	-	P-2	貫通孔・埋込管・機械基礎リスト(AM)・(AE)	-
D-13	地下1階平面図・1階平面図	1/100	P-3	貫通孔・埋込管・機械基礎リスト(PM)	-
<del>D-14</del>	<del>2階平面図・R階平面図</del>	<del>1/100</del>	P-4	貫通孔・埋込管・機械基礎リスト(PE)	-
<del>D-15</del>	<del>立面図</del>	<del>1/100</del>	P-5	地下1階平面図	1/100
D-16	断面図(1)	1/100	P-6	1階平面図 2階平面図	1/100
D-17	断面図(2)	1/100	P-7	A-A断面 B-B断面図	1/100
D-18	断面図(3)	1/100			
D-19	地下1階平面詳細図	1/60	S-1	構造細目共通図(複合構造物)(1)	-
D-20	1階平面詳細図	1/60	S-2	構造細目共通図(複合構造物)(2)	-
<del>D-21</del>	<del>2階平面詳細図</del>	<del>1/50</del>	S-3	構造細目共通図(複合構造物)(3)	-
D-22	断面詳細図(1)	1/50	S-4	構造細目共通図(複合構造物)(4)	-
D-23	断面詳細図(2)	1/50	S-5	構造細目共通図(複合構造物)(5)	-
D-24	階段詳細図(1)	1/50	S-6	構造細目共通図(複合構造物)(6)	-
D-25	階段詳細図(2)	1/50	S-7	構造細目共通図(複合構造物)(7)	-
<del>D-26</del>	<del>部分詳細図(1)</del>	<del>図示</del>	<del>S-8</del>	<del>構造細目共通図(複合構造物)(8)</del>	-
D-27	部分詳細図(2)	図示	<del>S-9</del>	<del>構造細目共通図(複合構造物)(9)</del>	-
D-28	部分詳細図(3)	図示	<del>S-10</del>	<del>構造細目共通図(複合構造物)(10)</del>	-
<del>D-29</del>	<del>部分詳細図(4)</del>	<del>図示</del>	<del>S-11</del>	<del>構造細目共通図(複合構造物)(11)</del>	-
D-30	部分詳細図(5)	図示	<del>S-12</del>	<del>構造細目共通図(複合構造物)(12)</del>	-
D-31	部分詳細図(6)	図示	<del>S-13</del>	<del>ボーリング柱状図</del>	-
<del>D-32</del>	<del>部分詳細図(7)</del>	<del>図示</del>	S-14	杭伏図	1/100
D-33	部分詳細図(8)	図示	S-15	B1階・1階平面図	1/100
D-34	展開図(1)	1/100	<del>S-16</del>	<del>R階・2階 伏図</del>	<del>1/100</del>
D-35	展開図(2)	1/100	S-17	軸組図(1)	1/100

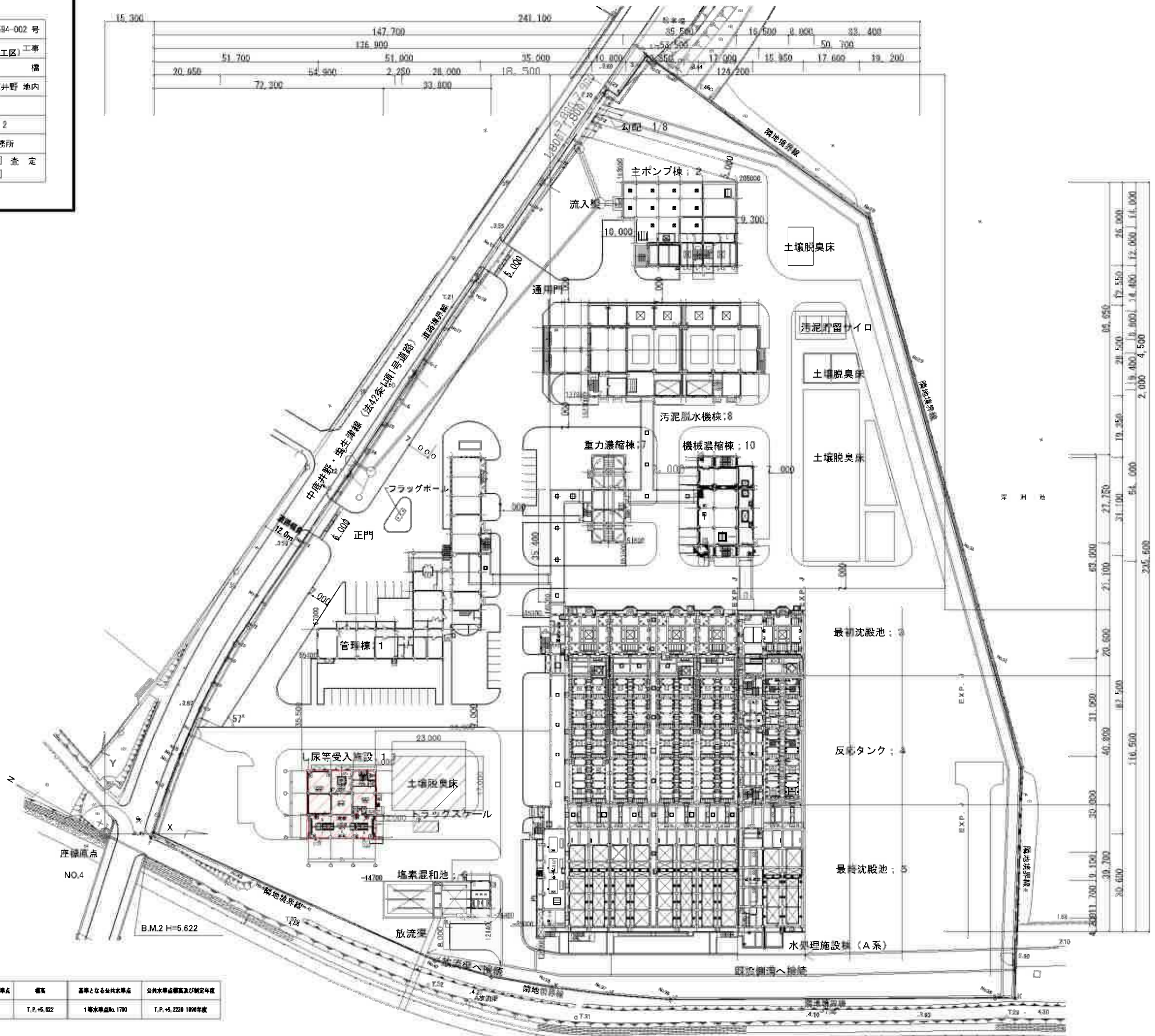
遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事(2工区)					
図 面 目 録					
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
S-18	軸組図(2)	1/100	<del>C-9</del>	場内整備平面図(1)	<del>1/200</del>
S-19	軸組図(3)	1/100	<del>C-10</del>	場内整備平面図(2)	<del>図示</del>
S-20	軸組図(4)	1/100	<del>C-11</del>	場内整備平面図(3)	<del>図示</del>
S-21	柱芯線図・柱リスト	図示	<del>C-12</del>	場内整備断面図(1)	<del>1/50</del>
S-22	部材リスト(土木部)	図示	<del>C-13</del>	場内整備断面図(2)	<del>1/50</del>
S-23	部材リスト(建築部)	図示	<del>C-14</del>	場内整備縦断図(西側入口)	<del>図示</del>
<del>S-24</del>	<del>雑詳細図(建築部)</del>	<del>図示</del>	<del>C-15</del>	場内整備排水平面図	<del>1/200</del>
S-25	雑詳細図(土木部)	1/30	<del>C-16</del>	自由勾配側溝縦断図	<del>図示</del>
S-26	架構配筋図	1/50	<del>C-17</del>	場内付帯詳細図(1)	<del>図示</del>
S-27	底版補強図	1/100	<del>C-18</del>	場内付帯詳細図(2)	<del>1/10</del>
S-28	断面配筋図(1)	1/50	<del>C-19</del>	場内付帯詳細図(3)	<del>1/20</del>
S-29	断面配筋図(2)	1/50	<del>C-20</del>	場内付帯詳細図(4)	<del>1/20</del>
S-30	断面配筋図(3)	1/50	<del>C-21</del>	場内付帯詳細図(5)	<del>1/20</del>
S-31	断面配筋図(4)	1/50	<del>C-22</del>	汚水管平面図	<del>1/300</del>
S-32	断面配筋図(5)	1/50	<del>C-23</del>	汚水管縦断面図	<del>図示</del>
S-33	断面配筋図(6)	1/50	<del>C-24</del>	0号組立マンホール構造図	<del>1/30</del>
S-34	階段配筋図	1/50	<del>C-25</del>	塩ビマス構造図	<del>1/10</del>
S-35	底版配筋図(1)	1/50	<del>C-26</del>	既設3号組立マンホール構造図	<del>1/30</del>
S-36	底版配筋図(2)	1/50	<del>C-27</del>	場内配管平面図	<del>1/200</del>
S-37	底版配筋図(3)	1/50	<del>C-28</del>	希釈水移送管縦断面図	<del>図示</del>
S-38	壁配筋図(1)	1/50	<del>C-29</del>	ろ過水移送管縦断面図	<del>図示</del>
S-39	壁配筋図(2)	1/50	<del>C-30</del>	座標平面図	<del>1/400</del>
S-40	壁配筋図(3)	1/50			
S-41	壁配筋図(4)	1/50			
S-42	壁配筋図(5)	1/50			
S-43	スラブ配筋図(1)	1/50			
S-44	スラブ配筋図(2)	1/50			
S-45	スラブ配筋図(3)	1/50			
S-46	平面断面配筋図	1/50			
S-47	立上り配筋図	1/50			
S-48	差し筋図	1/50			
<del>C-1</del>	<del>造成平面図・断面図</del>	<del>1/200</del>			
C-2	し尿等受入施設土工図(1)	1/200			
C-3	し尿等受入施設土工図(2)	1/100			
C-4	し尿等受入施設土工図(3)	1/100			
<del>C-5</del>	<del>トラックスケール土工図</del>	<del>1/50</del>			
<del>C-6</del>	<del>場内整備撤去平面図(1)</del>	<del>1/200</del>			
<del>C-7</del>	<del>場内整備撤去平面図(2)</del>	<del>1/100</del>			
<del>C-8</del>	<del>場内整備全体平面図</del>	<del>1/400</del>			



工事年度	令和 7 年度	起工	第 82594-002 号
工事名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事		
路線名	線	地区	橋
工事箇所	中間	町	大字中底井野 地内
図面名	一般平面図		
縮尺	S=1:600	図面番号	2
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認可	<input type="checkbox"/> 当	初	<input checked="" type="checkbox"/> 当
可	<input type="checkbox"/> 第	回変更	<input type="checkbox"/> 第
	<input type="checkbox"/> 回変更	施	<input type="checkbox"/> 第
	<input type="checkbox"/> 回変更		<input type="checkbox"/> 回変更

一般平面図  
S=1:600

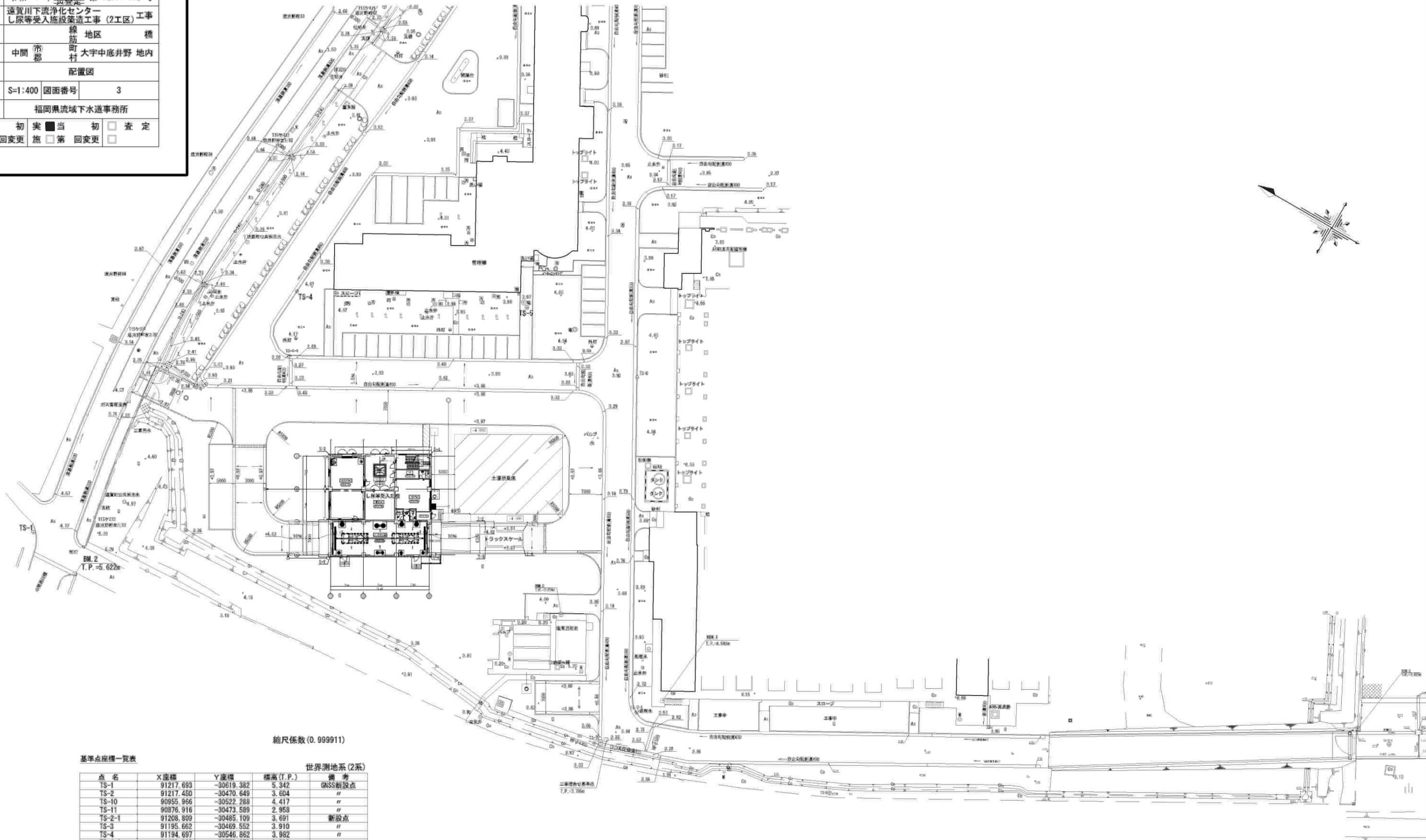
既設使用した水準点	標高	基準となる公共水準点	公共水準点標高及び制定年度
BL 2	T.P.+5.022	1等水準点No.1790	T.P.+5.2210 1999年度



敷地境界線  
今回対象

工事年度	令和 7 年度起工 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事		
路 線 名	線 筋	地 区	橋
工事箇所	中間 市 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	配置図		
縮 尺	S=1:400	図面番号	3
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
			<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>

配置図  
S=1:400



縮尺係数 (0.999911)

基準点座標一覧表

世界測地系 (2系)				
点 名	X座標	Y座標	標高 (T.P.)	備 考
TS-1	91217.693	-30619.382	5.342	GNSS新設点
TS-2	91217.450	-30470.649	3.604	"
TS-10	90955.966	-30522.288	4.417	"
TS-11	90976.916	-30473.589	2.958	"
TS-2-1	91208.809	-30485.109	3.691	新設点
TS-3	91195.682	-30489.552	3.910	"
TS-4	91194.697	-30546.862	3.982	"
TS-4-1	91189.200	-30559.652	3.899	"
TS-5	91150.554	-30525.323	3.968	"
TS-6	91122.749	-30526.513	3.941	"
TS-7	91091.685	-30598.573	3.777	"
TS-7-1	91087.237	-30588.423	3.895	"
TS-8	91043.003	-30582.681	3.900	"
TS-9	90989.369	-30538.867	4.258	"
TS-10-1	90944.939	-30514.139	2.798	"
TS-10-2	90940.353	-30508.445	2.668	"
S-1	91160.442	-30591.901		
S-2	91170.942	-30573.714		
S-3	91152.756	-30563.214		
S-4	91142.256	-30581.401		
T-1	91132.663	-30574.015		
T-2	91134.489	-30570.926		
T-3	91127.448	-30566.847		
T-4	91125.648	-30569.965		

ボーリング座標一覧表

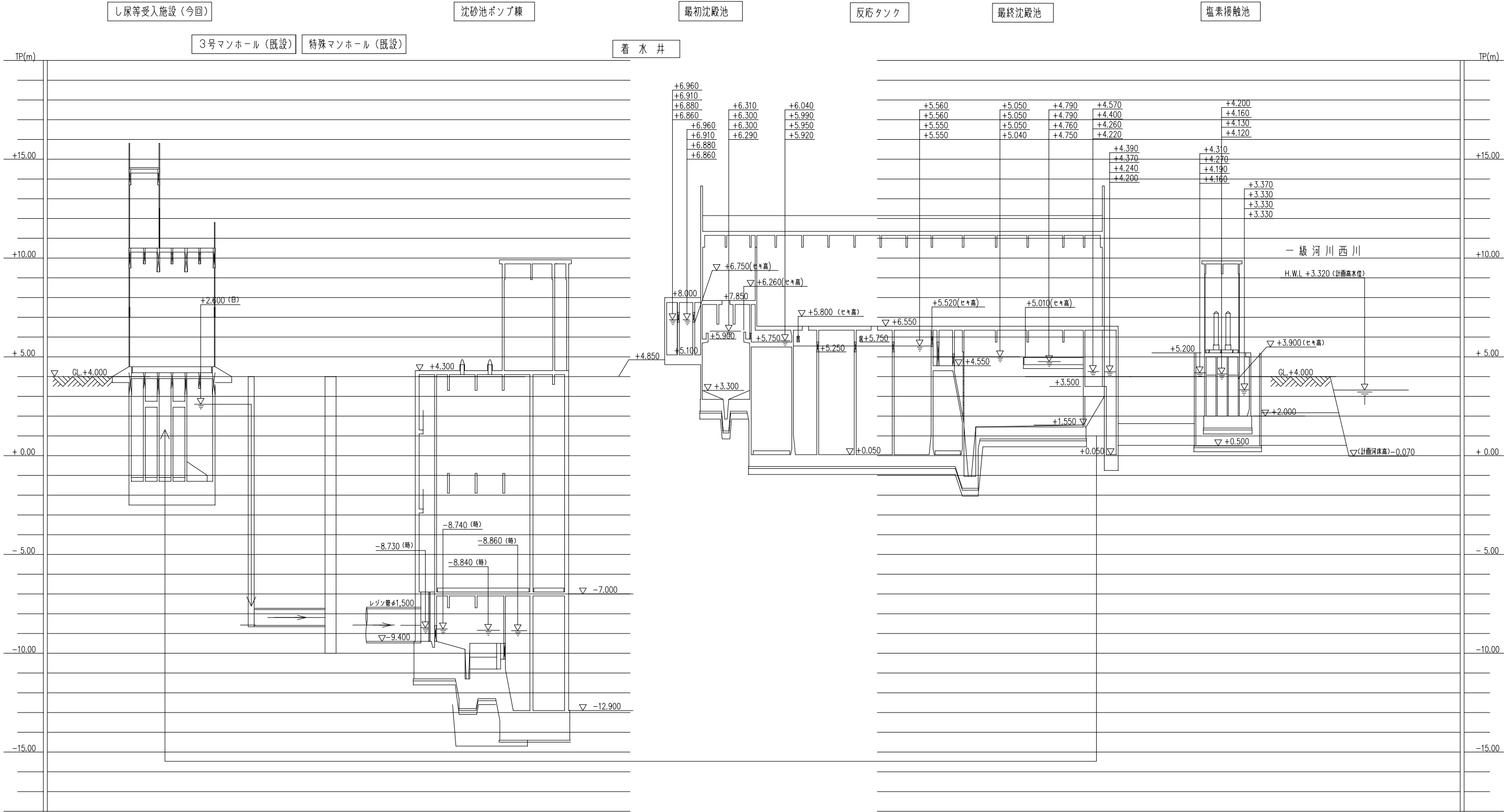
世界測地系 (2系)				
点 名	X座標	Y座標	標高 (T.P.)	備 考
ボーリングNo.1	91169.439	-30591.274	4.22	し尿等受入施設
ボーリングNo.2	91160.106	-30563.018	4.20	"
ボーリングNo.3	91138.565	-30570.802	4.09	トラックスケール

(携帯GPSでの観測による)

工事年度	令和 7 年度起工 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事		
路 線 名	線 筋	地 区	橋
河 川 名	中 間 郡	町 村	大字中底井野 地内
工事箇所	福岡県流域下水道事務所		
図 面 名	水位関係図		
縮 尺	S=1:100	図面番号	4
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初
	<input type="checkbox"/> 第 回変更		<input type="checkbox"/> 第 回変更
	<input type="checkbox"/> 査 定		<input type="checkbox"/>

(凡 例)

+4.040	..... 非常時汚水量
+4.030	..... 瞬間最大汚水量
+4.020	..... 日最大汚水量
+4.010	..... 日平均汚水量





工事年度	令和 7 年度 起工 災害定 第 82594-002 号		
工事名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）		
路線 河川名	線 筋 地区		橋
工事箇所	中間 市 郡	町 村	大字中底井野 地内
図面名	仕上表（1）		
縮尺	-	図面番号	D-11
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 <input type="checkbox"/> 当 可 <input type="checkbox"/> 第 回変更	初 実 <input checked="" type="checkbox"/> 当 施 <input type="checkbox"/> 第 回変更	初 初 <input type="checkbox"/> 査 定 □	

特記なき限り

[illegible]外部仕上表

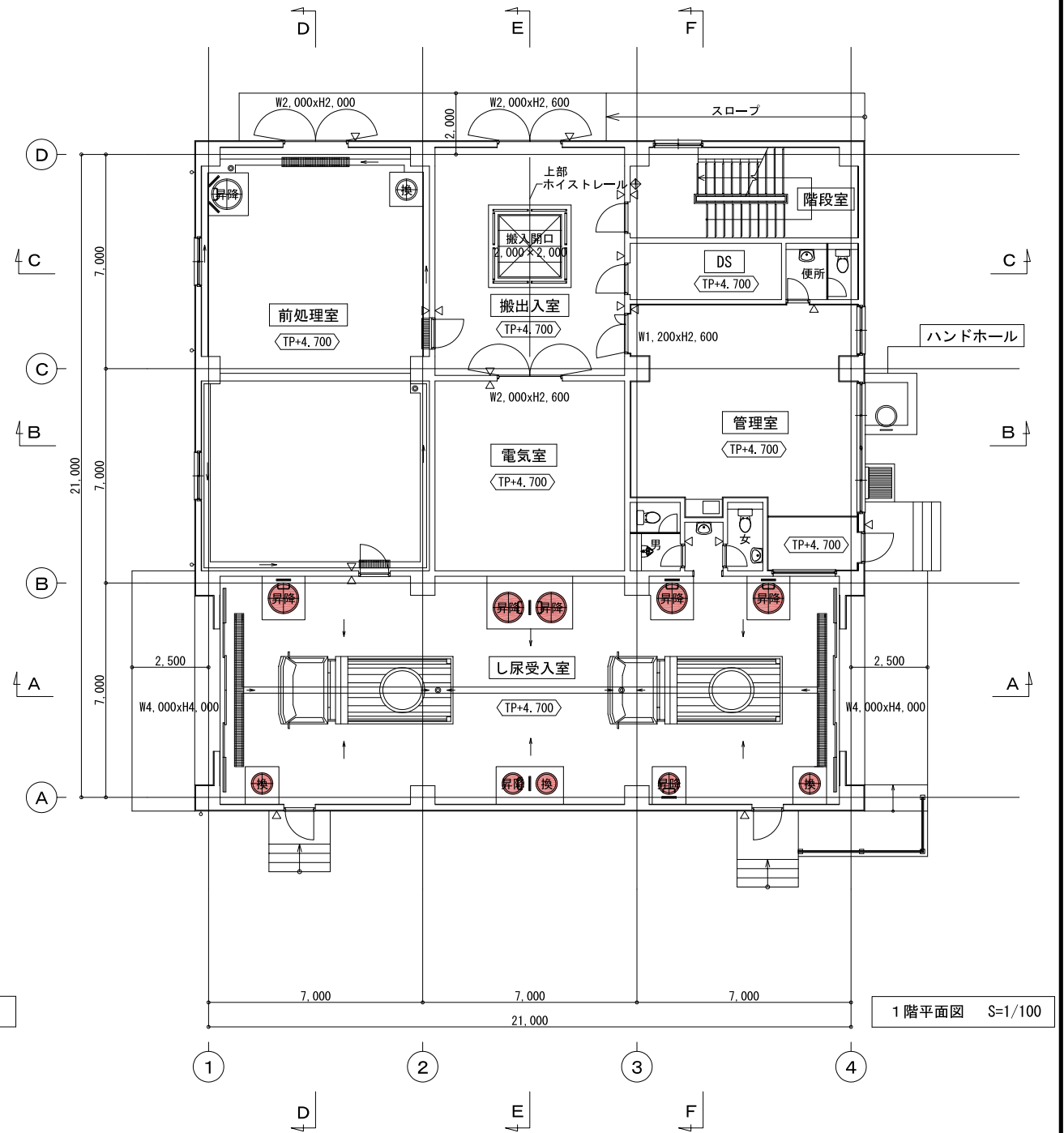
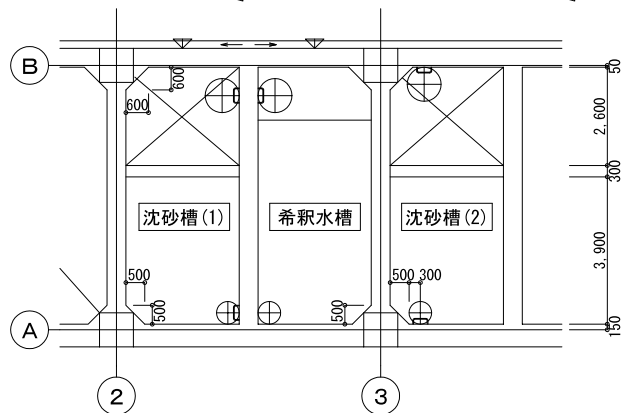
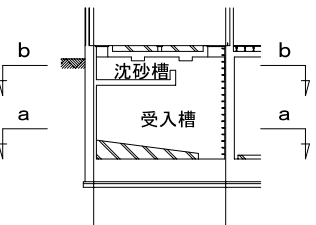
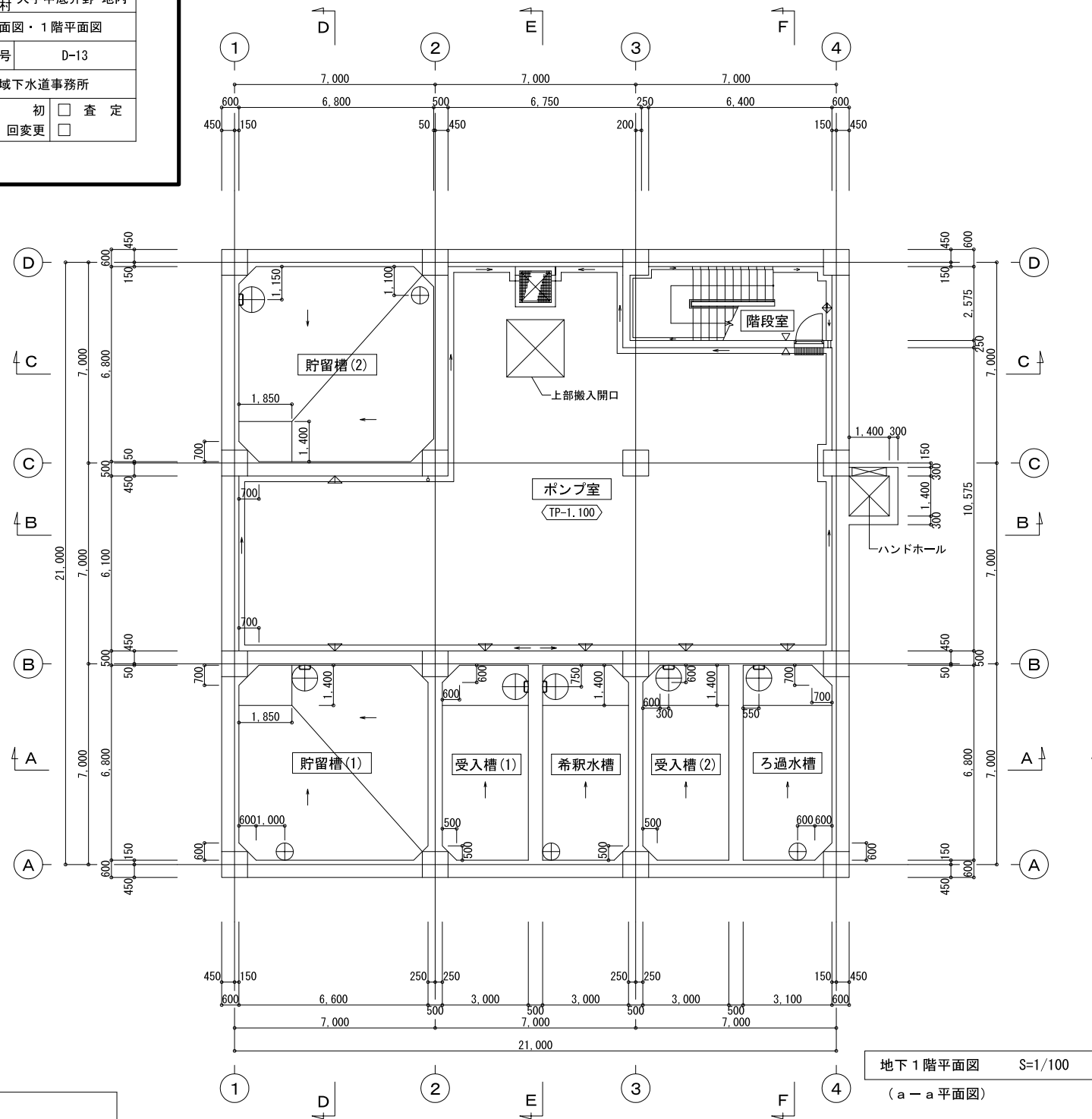
床	腰	外 壁	屋 根		パラペット	バルコニー		ひさし			備 考
			下地・防水層	押え・仕上		床	手 す り	上 端	は な	軒 天	
スロープ：＜コンクリート直均し＞ ポーチ：＜モルタル金＜ <u>C</u> ＞で仕上げ(厚30)＞ 段鼻：＜ステンレス製＜ <u>A</u> ＞ノンスリップ＞		コンクリート打放し（Ｂ）の上 複層塗材（ＲＥ）	下 地：コンクリート直均し 防水層：アスファルト防水 屋根（１）：＜Ａ－１＞、屋根（２）：＜Ａ－２＞ 絶縁材：ポリエチレンフィルム厚０．１５	押え：無筋コンクリート厚８０ 補強用溶接金網φ６-１００×１００ 仕上：押えコンクリート直均し仕上 既製伸縮目地Ｗ＝２５@３０００程度	・屋根（１）（２）： 並木：Ｃ直均しの上、複層塗材ＲＥ、 水切りアルミ既製品 Ⅱ-１２０ （ＤＴ-１）パラペット詳細図参照 立上り防水押え：５－０２－２			Ｃ直均しの上、塗膜防水（Ⅱ-２）	Ｃ（Ｂ）の上、 複層塗材Ｒ	Ｃ（Ｃ）の上、 外装薄塗材Ｅ	ルーフドレン：よこ引（鋼鉄製） 壁樋：カラーＶＰ管 φ１００ 屋上点検口：ステンレス製 くつ洗い流し：（ＤＴ-７）参照 ポーチアルミ手すり＜ <u>C</u> ＞

[illegible]

内 部 仕 上 表																								
階	室 名	床			幅 木				腰 壁				壁					天 井						備 考
		下 地	仕 上	詳細番号	下 地	仕 上	高さ	詳細番号	下 地	仕 上	高さ	詳細番号	下 地	仕 上	詳細番号	柱型仕上	詳細番号	下 地	仕 上	高さ	詳細番号	梁型仕上	詳細番号	
地下 1 階	ポンプ室	<C> (C)	<無筋コンクリート直均し> t=200 (C)	1-01-3									<C> (C)	<コンクリート打放し> (C)	2-02-7	壁に同じ	2-02-7	<C> (C)	<コンクリート打放し> (C)	直天	3-01-11	天井に同じ	3-01-11	<排水溝 W=200> (C)、<排水溝グレーチング蓋、受枠> (C) <排水ビッドグレーチング受枠> (C)、<排水ビッドグレーチング蓋> (PM) <排水パイプ VPφ100 (とい掴み金物SUS共)> (C)
	貯留槽 (1) (2)	<C> (C)	<無筋コンクリート直均し> t=300~1,000 <防食塗料 (D種塗布型、 耐有機酸性)> (C)	1-01-3									<C> (C)	<コンクリート打放し> <防食塗料 (D種塗布型、 耐有機酸性)> (C)	2-02-7	壁に同じ	2-02-7	<C> (C)	<コンクリート打放し> <防食塗料 (D種塗布型、 耐有機酸性)> (C)	直天	3-01-11	天井に同じ	3-01-11	<足掛金物> (C)
	沈砂槽 (1) (2) 受入槽 (1) (2)	<C> (C)	<無筋コンクリート直均し> t=300~1,000 <防食塗料 (D種塗布型、 耐有機酸性)> (C)	1-01-3									<C> (C)	<コンクリート打放し> <防食塗料 (D種塗布型、 耐有機酸性)> (C)	2-02-7	壁に同じ	2-02-7	<C> (C)	<コンクリート打放し> <防食塗料 (D種塗布型、 耐有機酸性)> (C)	直天	3-01-11	天井に同じ	3-01-11	<足掛金物> (C)
	ろ過水槽	<C> (C)	<無筋コンクリート直均し> t=300~1,000 (C)	1-01-3									<C> (C)	<コンクリート打放し> (C)	2-02-7	壁に同じ	2-02-7	<C> (C)	<コンクリート打放し> (C)	直天	3-01-11	天井に同じ	3-01-11	<足掛金物> (C)
	希釈水槽	<C> (C)	<無筋コンクリート直均し> t=300~1,000 (C)	1-01-3									<C> (C)	<コンクリート打放し> (C)	2-02-7	壁に同じ	2-02-7	<C> (C)	<コンクリート打放し> (C)	直天	3-01-11	天井に同じ	3-01-11	<足掛金物> (C)
1 階	し尿受入室	<C> (C)	無筋コンクリート直均し t=300 補強用溶接金網 φ6-100 x 100 床用塗料塗り、平滑仕上	1-01-3									C	コンクリート打放し (B)	2-02-7 2-02-11	壁に同じ	2-02-7 2-02-11	C	コンクリート打放し (C)	直天	3-01-11	天井に同じ	3-01-11	<落し込み取手W=400> (C) <鋳鉄製マンホール蓋、受枠 (T=25車両荷重用、防臭型) φ900, φ600> (C) <床排水金物 (板型トラップ) φ80用 (SUS)> (C) 排水溝W=200、排水グレーチング蓋、受枠 (T=25車両荷重用)
	前処理室	<C> (C)	無筋コンクリート直均しt=300 一部アスファルト防水 (E-2) の上、 無筋コンクリート直均しt=300	1-01-3									C	コンクリート打放し (B)	2-02-7 2-02-11	壁に同じ	2-02-7 2-02-11	C	コンクリート打放し (C)	直天	3-01-11	天井に同じ	3-01-11	<落し込み取手W=400> (C) <FRP製マンホール蓋、受枠 (歩行用、防臭型) φ900, φ600> (C) <床排水金物 φ100 (SUS)> (C) 排水溝W=200、排水グレーチング蓋、受枠 (歩行用)
	搬出入室	<C> (C)	<コンクリート直均し> (C)	1-01-3									C	コンクリート打放し (B)	2-02-7 2-02-11	壁に同じ	2-02-7 2-02-11	C	コンクリート打放し (C)	直天	3-01-11	天井に同じ	3-01-11	<アルミ製手摺 (取外し式)> (C) <合成木材製蓋> (C) ホイストレール (鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とする、荷重表示 アクリル板 300 x 400 x 2)
	電気室	<C> (C)	<フリーアクセスフロア H=300、帯電防止 ビニル床タイル厚2.0> (PE)	1-02-14	C	<ビニル巾木> (PE)	75	2-11-9					C	コンクリート打放し (B) EP-g	2-02-7	壁に同じ	2-02-7	S	GB-N-C (NT) t=9.5	3000	3-01-2 3-11-9			天井点検口
	管理室	<C> (C)	<フリーアクセスフロア H=300、帯電防止 ビニル床タイル厚2.0> (PE)	1-02-14	C	<ビニル巾木> (PE)	75	2-11-9					C	GB-R t=12.5 (GL工法) ビニルクロス	2-03-6	壁に同じ	2-03-6	S	GB-R t=9.5 下地貼りの上 DR t=12	3000	3-01-4 3-11-10			天井点検口 アルミフラインドボックス 流し台 W1200xD560xH800、シンク：ステンレス製、扉・本体：特殊化粧シート



工事年度	令和 7 年度起工 災害定	第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事	
路 線 名	線 筋 地区	橋
河 川	中間 (市) 郡 町 村	大字中底井野 地内
工事箇所	福岡県流域下水道事務所	
図 面 名	地下 1 階平面図・1 階平面図	
縮 尺	S=1:100	図面番号 D-13
事務所名	福岡県流域下水道事務所	
認 可	当 初 実 施 当 初 査 定	
可 第 回変更	施 第 回変更	

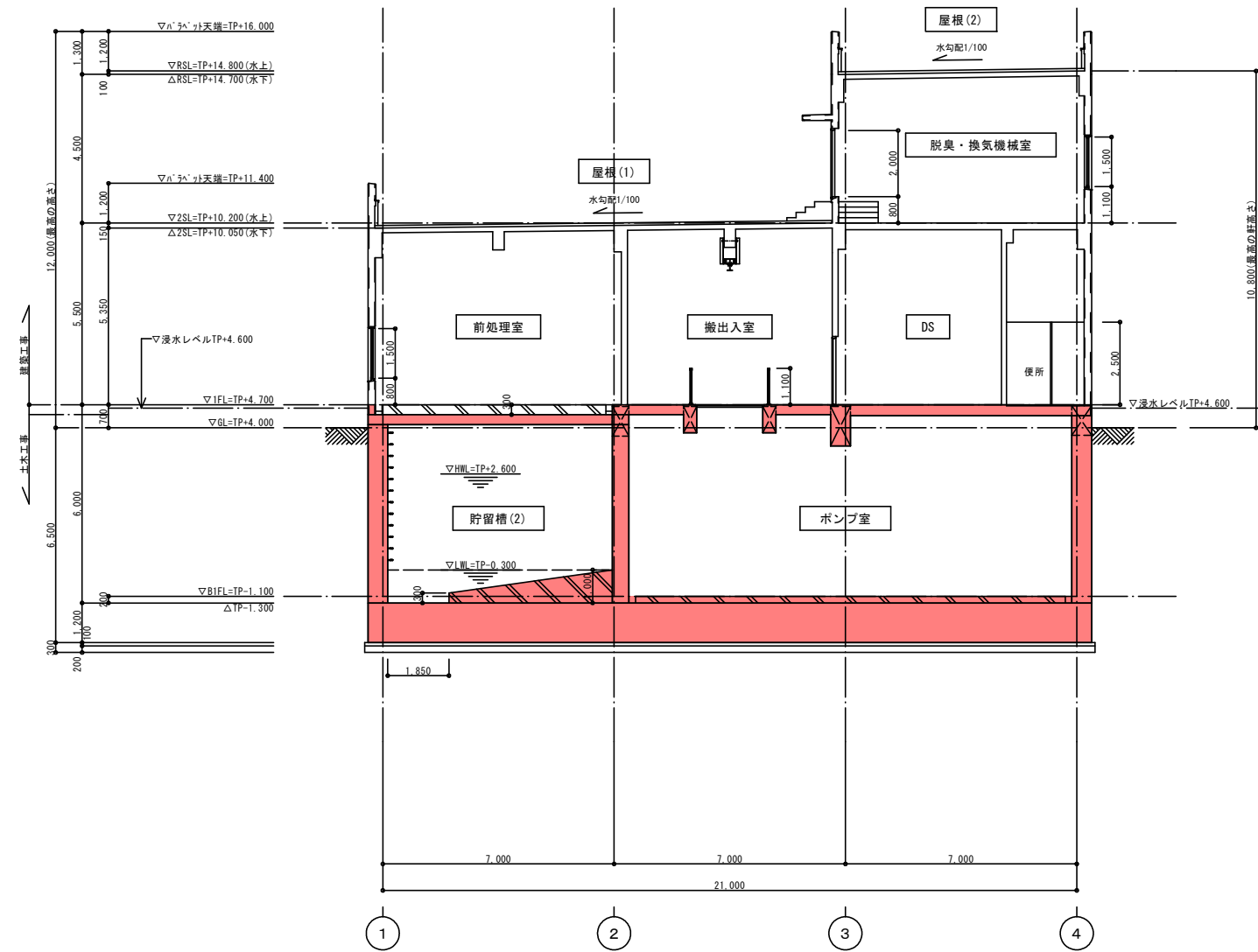


#### 凡 例

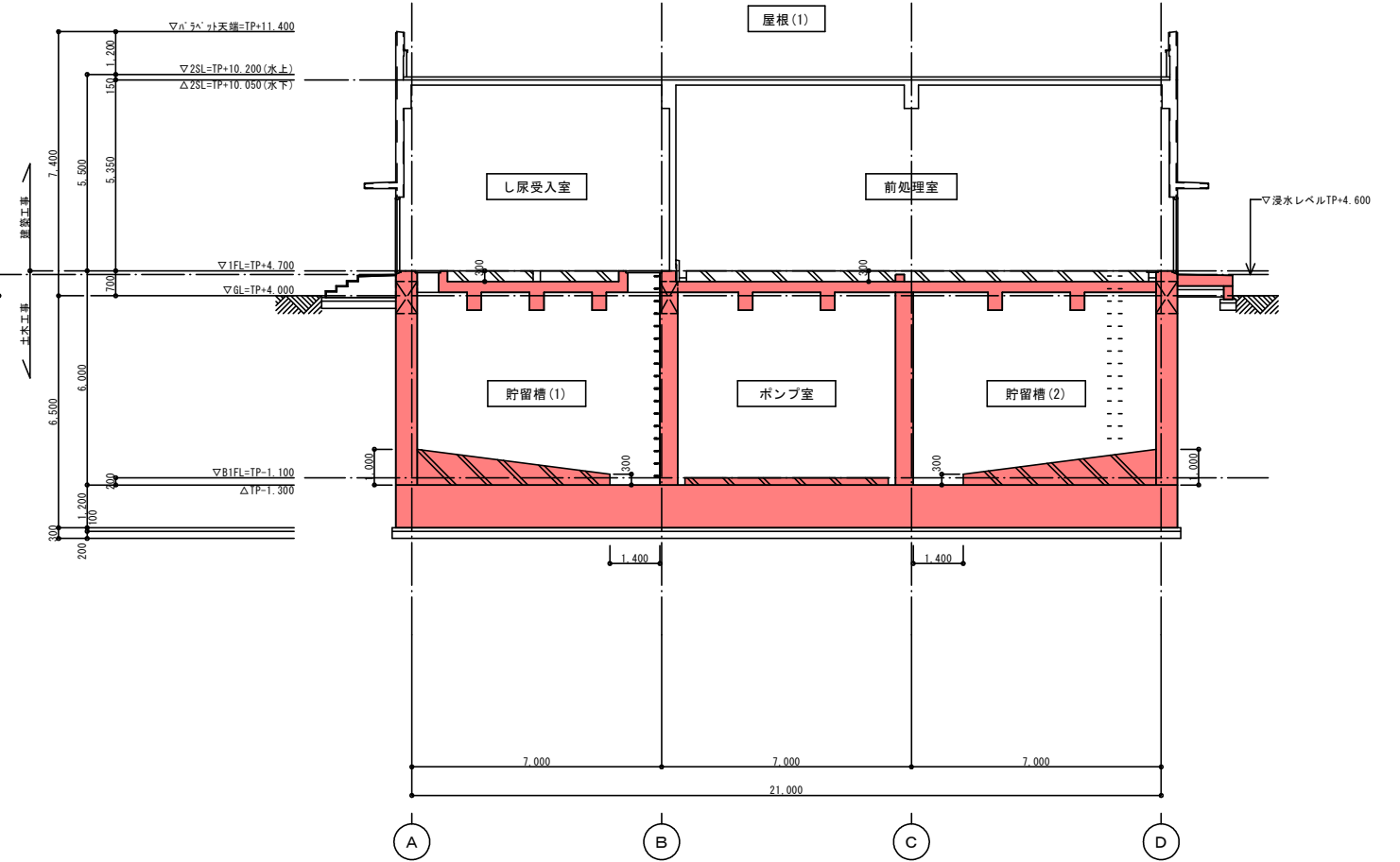
- |    |                           |   |   |                 |
|----|---------------------------|---|---|-----------------|
| 昇降 | ＜鋳鉄製マンホール蓋、受枠共＞(昇降用φ900)  | C | ▽ | 室名札             |
| 昇降 | ＜鋳鉄製マンホール蓋、受枠共＞(昇降用φ600)  | C | ◇ | 階数表示板           |
| 換  | ＜鋳鉄製マンホール蓋、受枠共＞(換気用φ600)  | C | ▽ | 水槽名板            |
| 昇降 | ＜FRP製マンホール蓋、受枠共＞(昇降用φ900) | C | ⊕ | ルーフトレン          |
| 昇降 | ＜FRP製マンホール蓋、受枠共＞(昇降用φ600) | C | ⊗ | 樋受け 磁器質床タイル300角 |
| 換  | ＜FRP製マンホール蓋、受枠共＞(換気用φ600) | C | ○ | 縦どい             |
|    |                           |   | ○ | 床排水金物           |



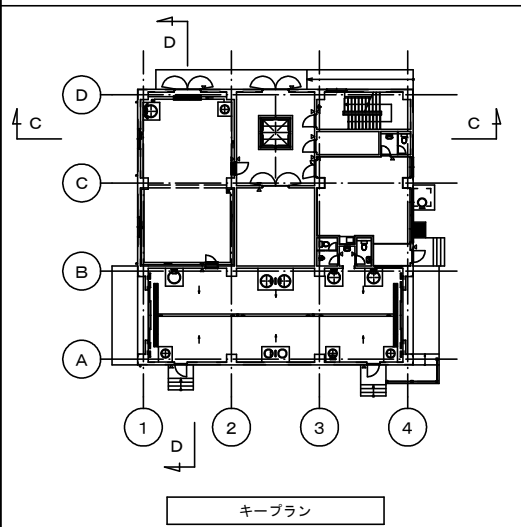
工事年度	令和 7 年 度起工 <del>従事年度</del>			第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)			工事
路 線 名	線 筋 地区 橋			
河 川 名	中間 (市) 町 村 大字中底井野 地内			
工事箇所	中間 (市) 町 村 大字中底井野 地内			
図 面 名	断面図 (2)			
縮 尺	S=1:100	図面番号	D-17	
事務所名	福岡県流域下水道事務所			
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>



C-C断面図 S=1/100

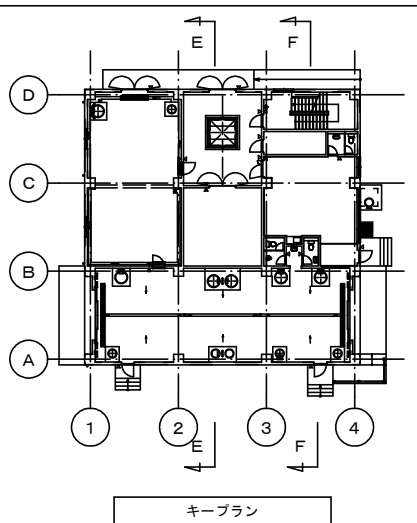
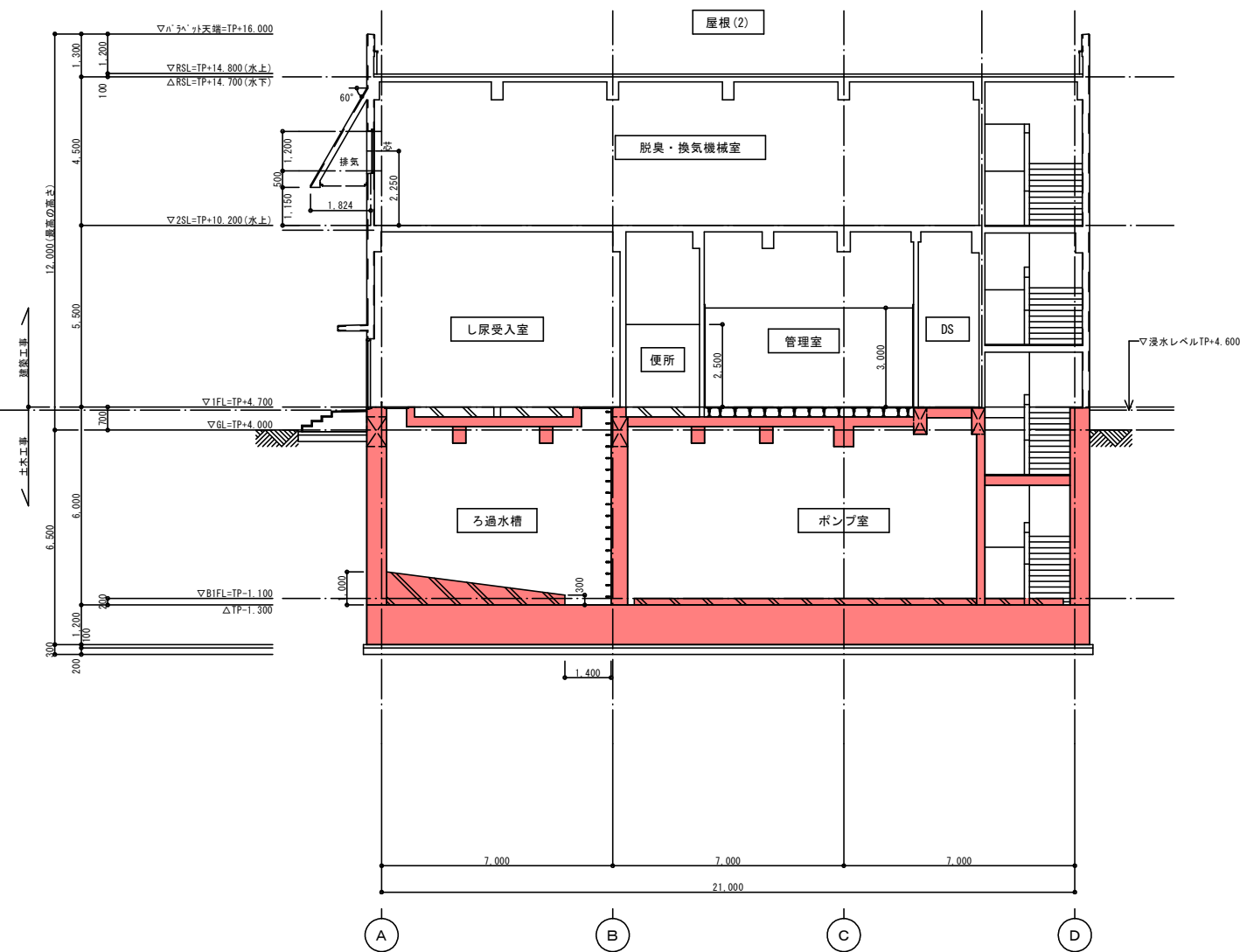
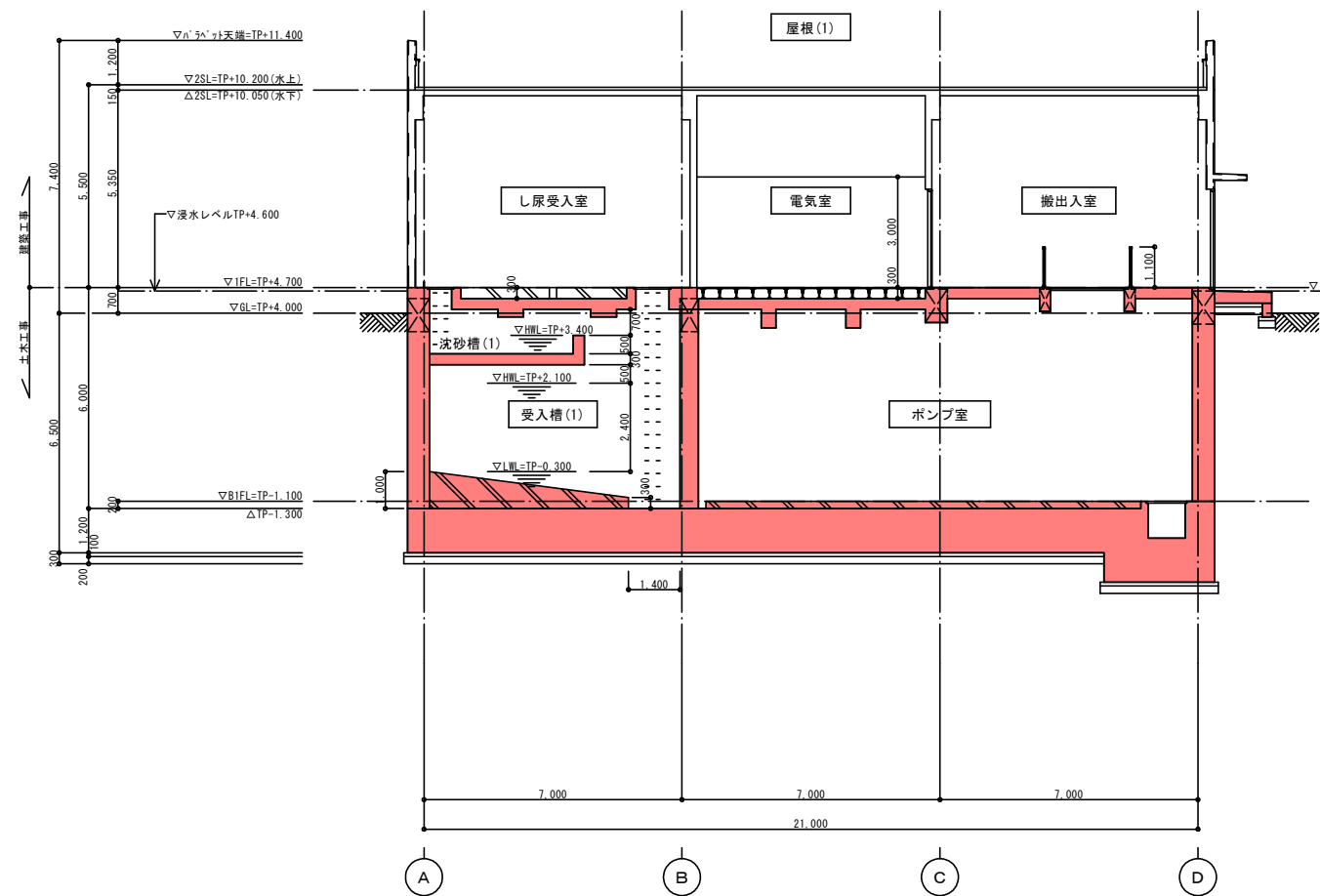


D-D断面図 S=1/100



凡 例  
土木工事範囲 (躯体) を示す

工事年度	令和 7 年		度起工 <del>従来</del>	第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)			工事
路 線 名	線			地区
河 川	筋			橋
工事箇所	中間 (市)	町	大字中底井野 地内	
図 面 名	断面図 (3)			
縮 尺	S=1:100	図面番号	D-18	
事務所名	福岡県流域下水道事務所			
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定



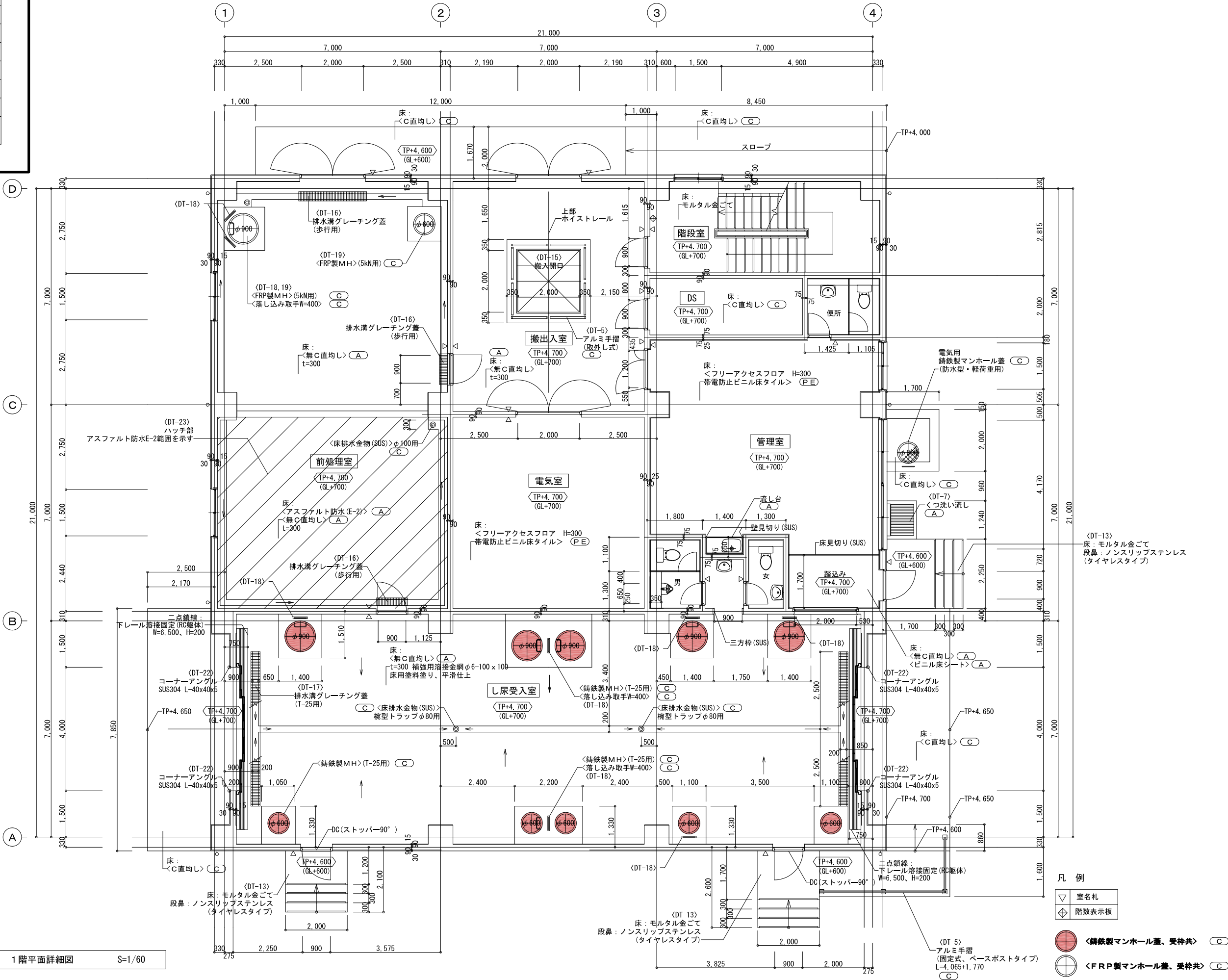
E-E断面図 S=1/100

F-F断面図 S=1/100

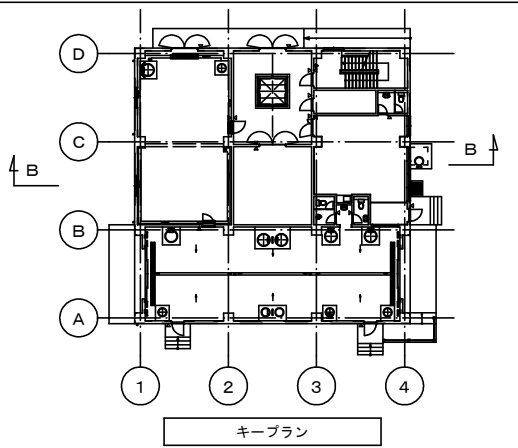
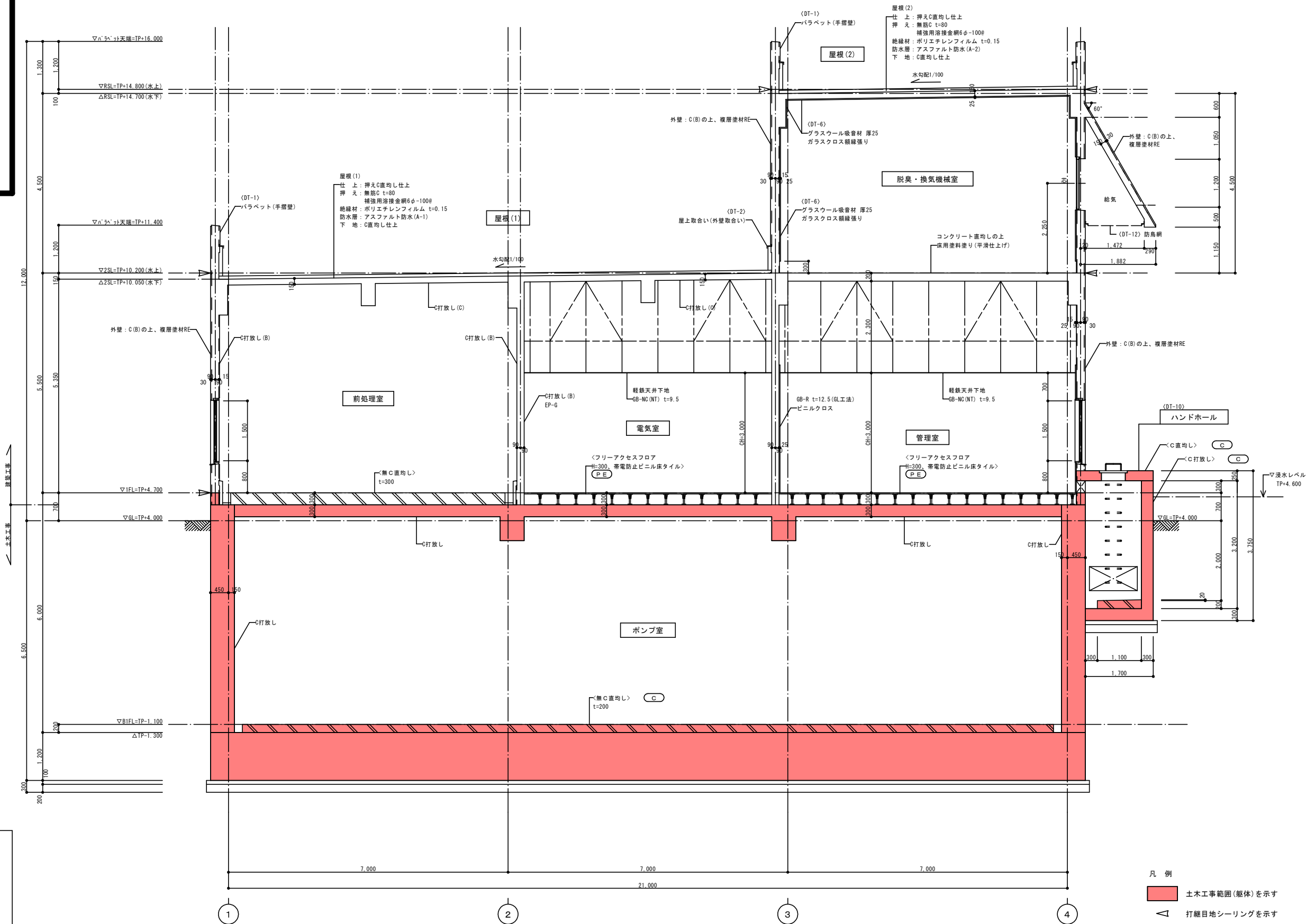
凡 例  
土木工事範囲 (躯体) を示す



工事年度	令和 7 年度起工 災害査定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事				
路 線 名	線 筋 地区				橋
河 川 名					
工事箇所	中間	市 郡	町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	1 階平面詳細図				
縮 尺	S=1:60	図面番号	D-20		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 1 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 2 回変更	<input type="checkbox"/> 査定 <input type="checkbox"/>	

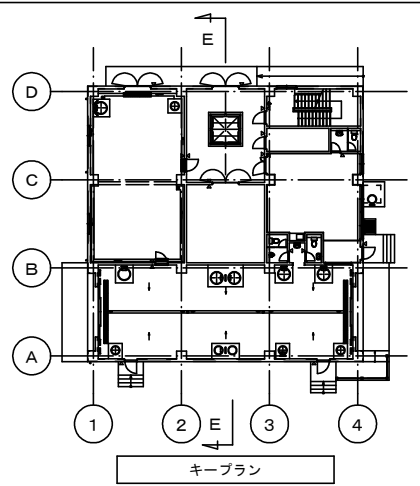
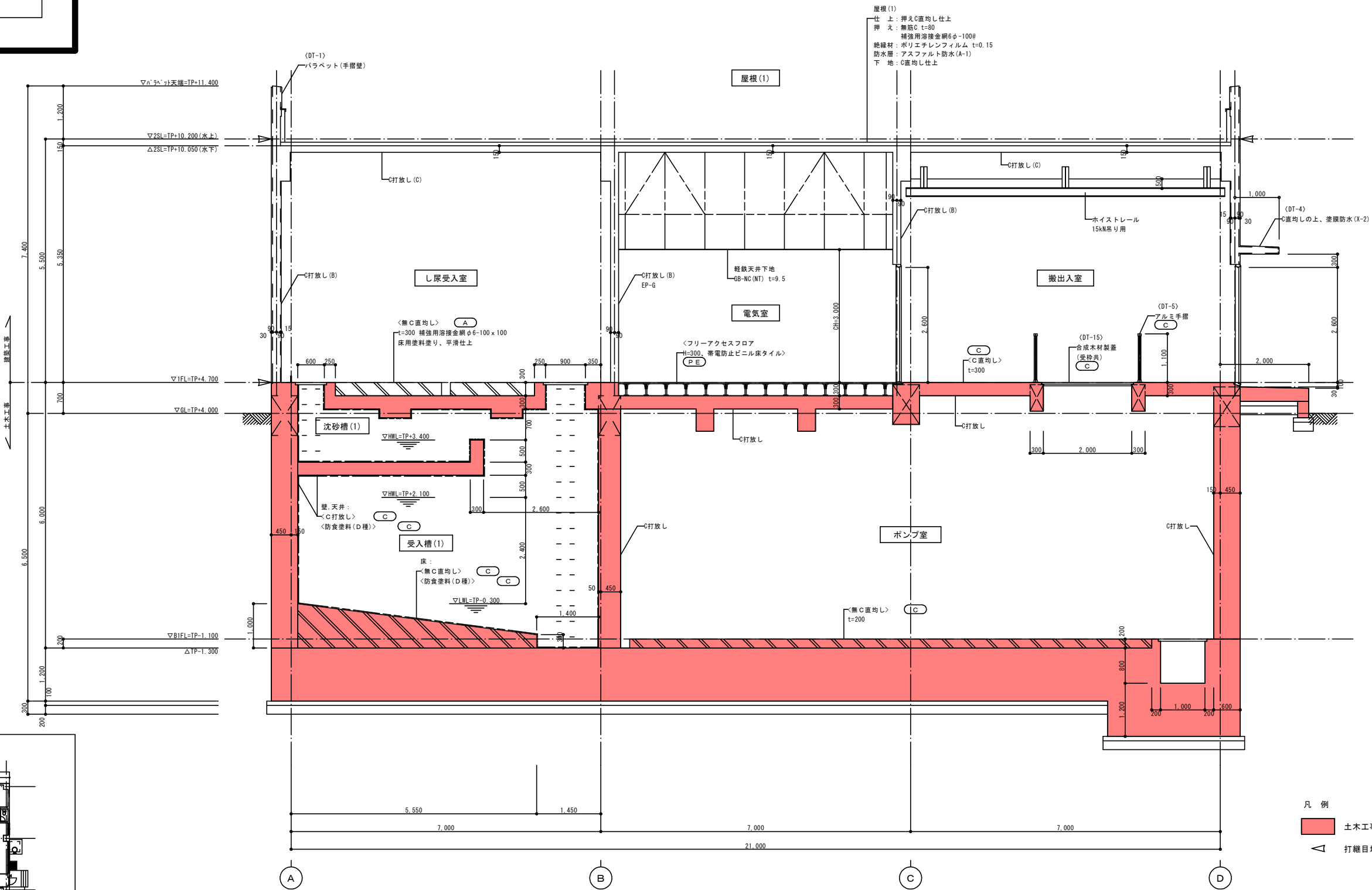


工事年度	令和 7 年	度起工	第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター	し尿等受入施設築造工事 (2工区)	工事
路 線 名	線 筋	地区	橋
工事箇所	中間 (市) 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	断面詳細図 (1)		
縮 尺	S=1:50	図面番号	D-22
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初
	<input type="checkbox"/> 第 回変更		<input type="checkbox"/> 第 回変更
			<input type="checkbox"/> 査 定



B-B断面詳細図 S=1/50

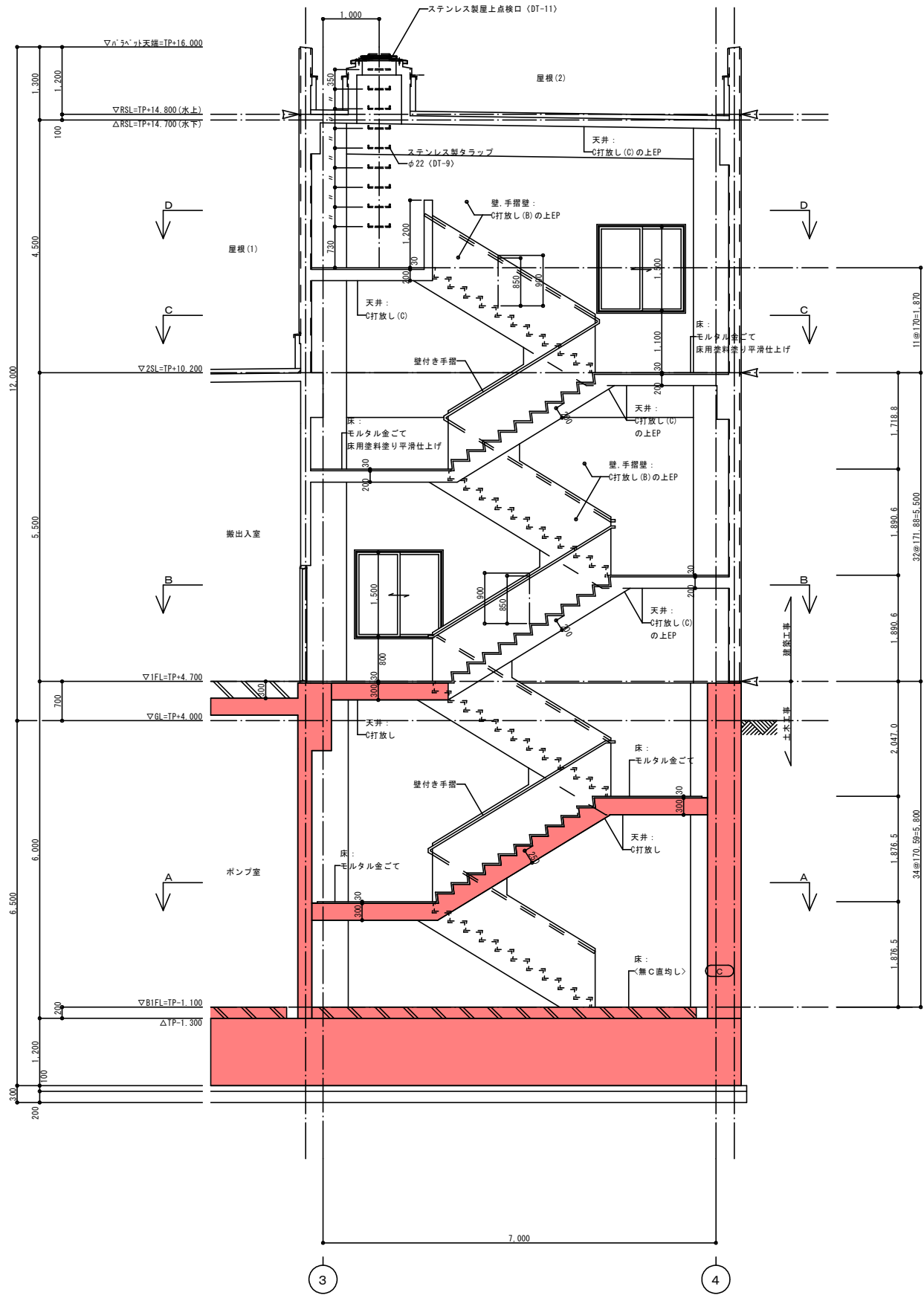
工事年度	令和 7 年 度起工 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)		工事
路 線 名	線 筋	地区	橋
河 川	中 間	町 村	大字中底井野 地内
工事箇所	福岡県流域下水道事務所		
図 面 名	断面詳細図 (2)		
縮 尺	S=1:50	図面番号	D-23
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更 <input type="checkbox"/> 査 定



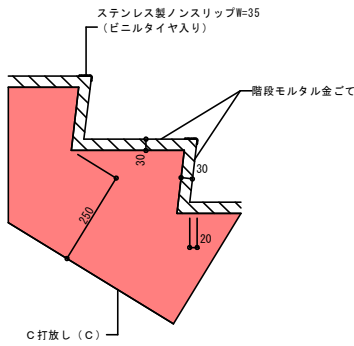
- 凡 例
- 土木工事範囲(躯体)を示す
  - 打継目地シーリングを示す

E-E断面詳細図 S=1/50

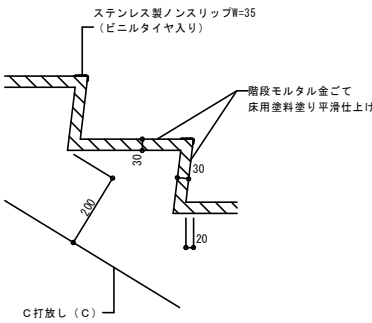
工事年度	令和 7 年 度起工 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)		
路 線 名	線 筋	地区	橋
工事箇所	中間 (市) 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	階段詳細図 (1)		
縮 尺	S=1:50	図面番号	D-24
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
	<input type="checkbox"/> 査 定		<input type="checkbox"/>



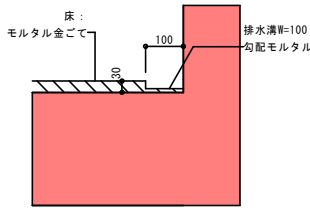
階段断面詳細図 S=1/50



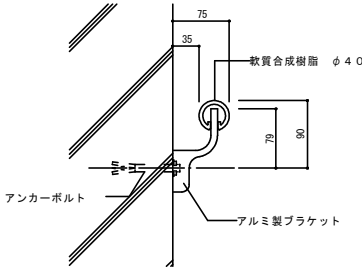
【地下階】段部詳細図 S=1/10



【地上階】段部詳細図 S=1/10



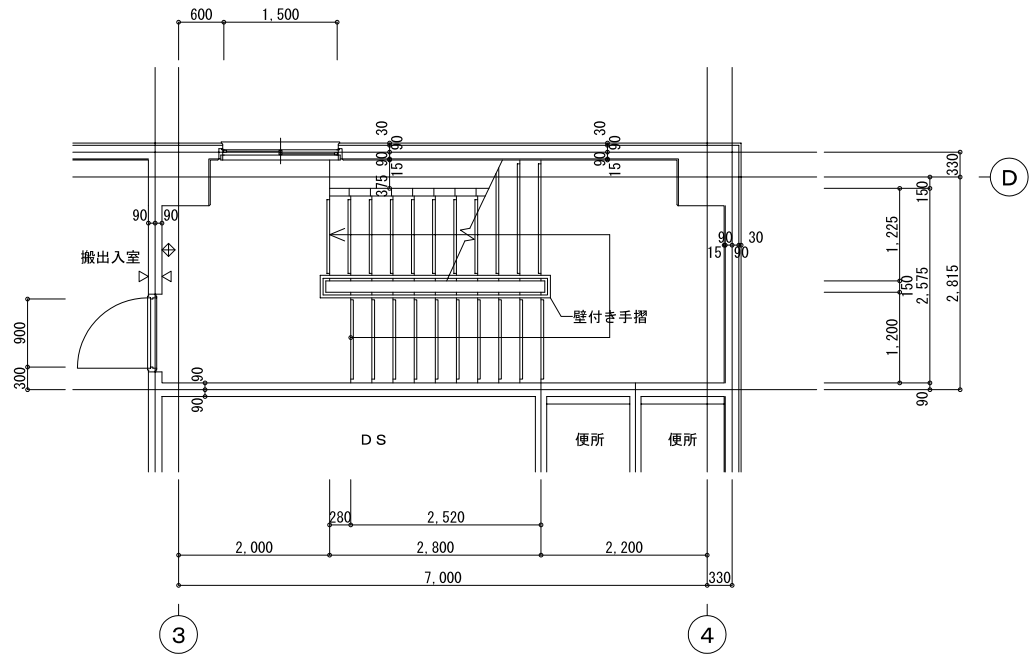
【地下階】側溝詳細図 S=1/10



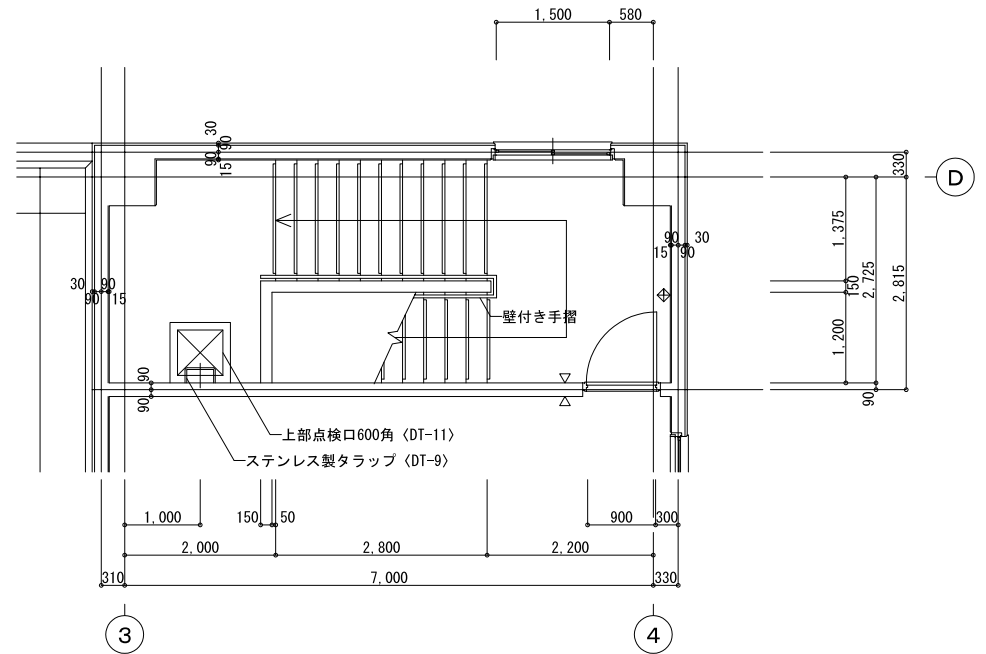
壁付き手摺詳細図 S=1/5

- 凡 例
- 土木工事範囲 (躯体) を示す
  - 打継目地シーリングを示す

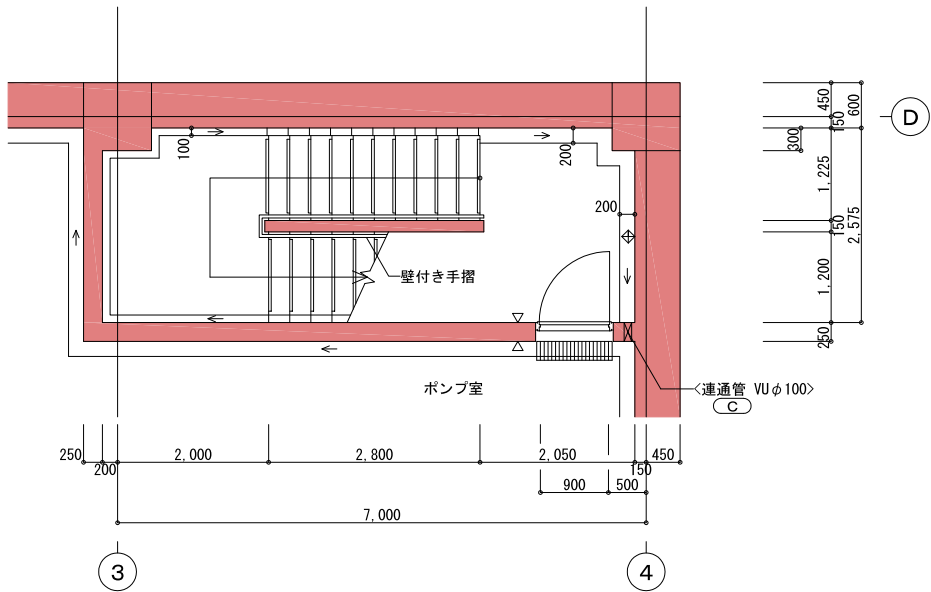
工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）				工事
路 線 名	線 筋 地区				橋
工事箇所	中間 市 郡	町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	階段詳細図（2）				
縮 尺	S=1:50	図面番号	D-25		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定	<input type="checkbox"/>



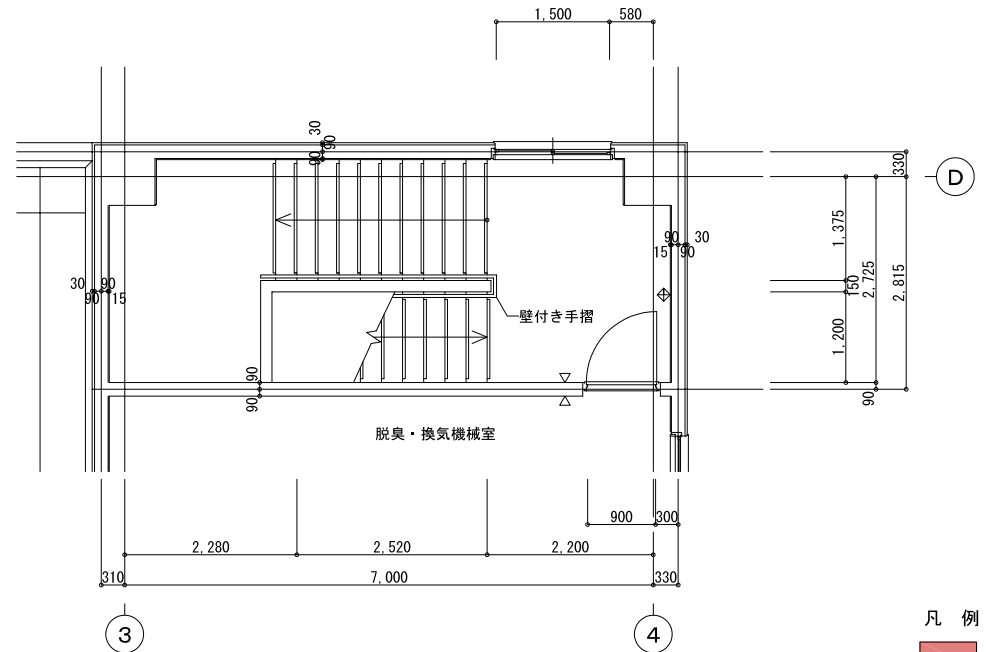
1階 平面詳細図(B-B) S=1/50



2階上部 平面詳細図(D-D) S=1/50



地下1階 平面詳細図(A-A) S=1/50



2階 平面詳細図(C-C) S=1/50

- 凡 例
- 土木工事範囲(躯体)を示す
  - 室名札
  - 階数表示板

工事年度令和 7 年度起工  
災害定第 82594-002 号

工事名遠賀川下流浄化センター  
し尿等受入施設築造工事（2工区）工事

路線名線  
河川筋地区橋

工事箇所中間市  
郡町村大字中底井野 地内

図面名部分詳細図（2）

縮尺-図面番号D-27

事務所名福岡県流域下水道事務所

認可  
当初  
実  
当  
初  
査  
定  
可  
第  
回変更  
施  
第  
回変更

設計条件

部材名	荷重方向	設計条件	
		設計耐力	1.5 k N/m
笠木	水平方向	たわみ量	500 N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
	垂直方向	設計耐力	1.0 k N/m
支柱	水平方向	たわみ量	500 N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
		設計耐力	2.7 k Nまたは3.0 k N
		たわみ量	局部荷重500Nで1/100以下

M12用メカニカルアンカー  
SUS304

M12用メカニカルアンカー  
SUS304

ベースポスト アルミ合金  
M12用メカニカルアンカー  
SUS304

100以上

1.100

SUS304プレート 厚2.0

W150W

W

W

取外し式

固定式

形状							単位 (mm)
	支柱間隔	笠 木	バスター 中心間隔	高 さ	下部の すき間	控 柱	
廊下・バルコニ	1,800 又は2,000	--	@150	1,100	100	--	
屋 上	1,800 又は2,000	--	@150	1,100	100	#3,600 又は--	
階 段	1,500内外	--	@125以上	900	50	--	
部材厚	3mm以上	3mm以上	--	--	--	3mm以上	

仕様

1) 材種は、JIS H4100によるA6063S-T5またはA6063S-T6またはA6061S-T6とし  
押し出し形材を使用する。

2) 表面処理は、建築工事標準仕様書（建築工事編）14章2節「表面処理」のB8-1種とする。

3) 支柱、笠木、控柱には補強材は使用しない。その他の部位に使用する補強材は  
JIS G3101によるSS400とし垂鉛めっきはJIS H8610の  
5級（クロメート被膜はJIS H8625のCM2C）以上とする。

4) 小ネジの類はステンレス製（SUS304、SUS305J1またはSUSXM7）とする。

〈DT-6〉

吸音材（グラスウール吸音材）ガラスクロス額縁張り詳細図

S=1/3、30

ステンレスファスナー

150

150

ステンレスファスナー  
（計8本）

壁・天井面 1/30

グラスウール吸音ボード 厚25  
（2号32K）ガラスクロス額縁張り  
（標準寸法 910 x 1,820）

見切目地材  
（アルミアングル L-30x30x2）

25

300

▽1FL

断面 1/3

ステンレス製グレーチング（ノリッパ 型）  
ステンレス製枠付, B=1000xL=700  
〈DT-16〉参照

120

1,000

120

150

600

100

120

30

平面

ブラシ掛けステンレス製SUS304  
フックφ6

打放し仕上（B）の上複層仕上塗材（RE）  
トップコートのみ（模様なし）

150

600

100

150

900

床排水金具VP100用

モルタル金ゴテ厚20

D13

モルタル

アンカー-D10φ500

D13

D13

D10φ200

排水管（AM工事）

断面

〈DT-7〉

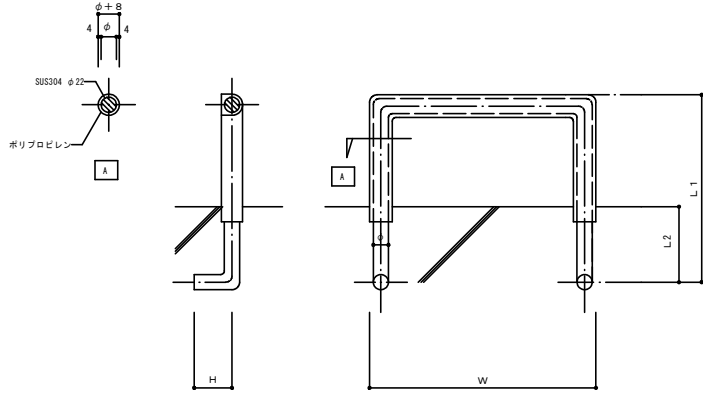
くつ洗い流し 詳細図<8-22-1>

S=1/20

工事年度	令和 7 年		度起工 <u>仮定</u>	第 82594-002 号
工 事 名	造賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)			工事
路 線 名	線		筋	地区
河 川 名	河		筋	地区
工事箇所	中間 (市) 郡	町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	部分詳細図 (3)			
縮 尺	-	図面番号	D-28	
事務所名	福岡県流域下水道事務所			
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>

取付場所	品 種	有効巾	壁用本数	床張り用本数	箇所数	総本数	備 考
貯留槽 (1)	ポリプロピレン	400	16	-	1	16	
貯留槽 (2)	ポリプロピレン	400	14	-	1	14	
受入槽 (1)	ポリプロピレン	400	17	-	1	17	
受入槽 (2)	ポリプロピレン	400	17	-	1	17	
沈砂槽 (1)	ポリプロピレン	400	5	-	1	5	
沈砂槽 (2)	ポリプロピレン	400	5	-	1	5	
ろ過水槽	ポリプロピレン	400	17	-	1	17	
希釈水槽	ポリプロピレン	400	17	-	1	17	
ハンドホール	ポリプロピレン	400	8	-	1	8	床張りはSUS

〈DT-8〉 足掛金物 (ポリプロピレン製) 詳細図 S=NONE

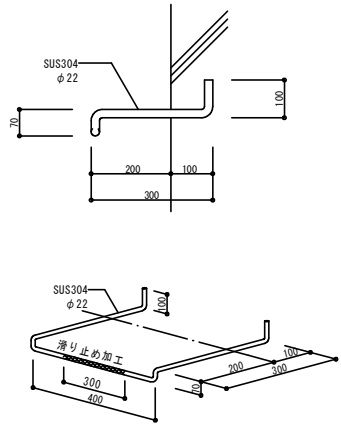


足掛金物 (ポリプロピレン製)

足掛金物選定表					
W	L1	L2	H	φ	
300	250	100	50	19	
400	300	150	50	22	

注 記  
壁に100mm以上埋め込む。  
足掛かり部のすべり止め加工は150mm以上とする。

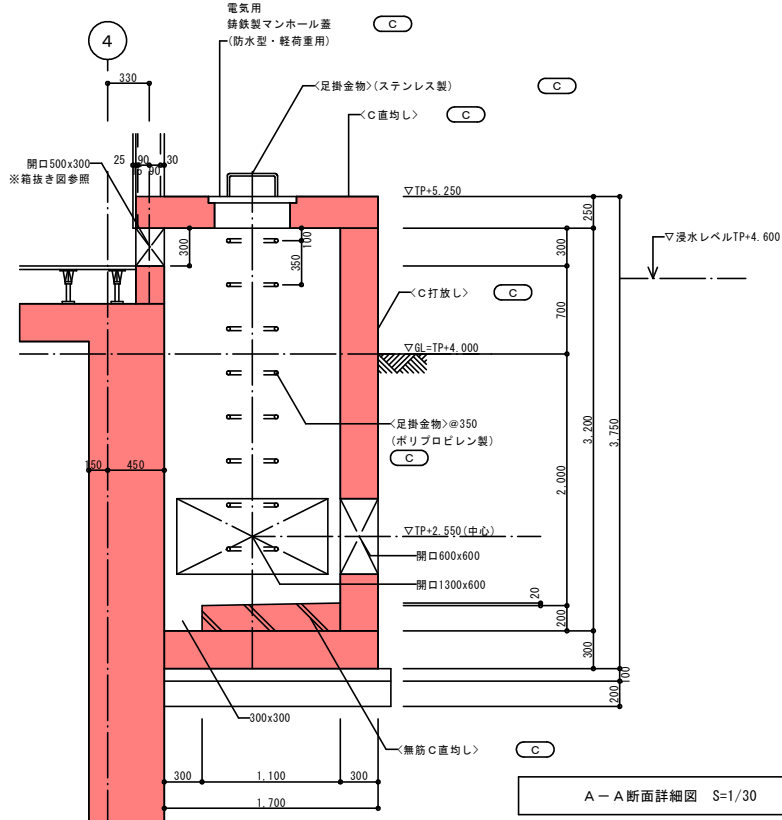
〈DT-9〉 足掛金物 (ステンレス製) 詳細図 S=NONE



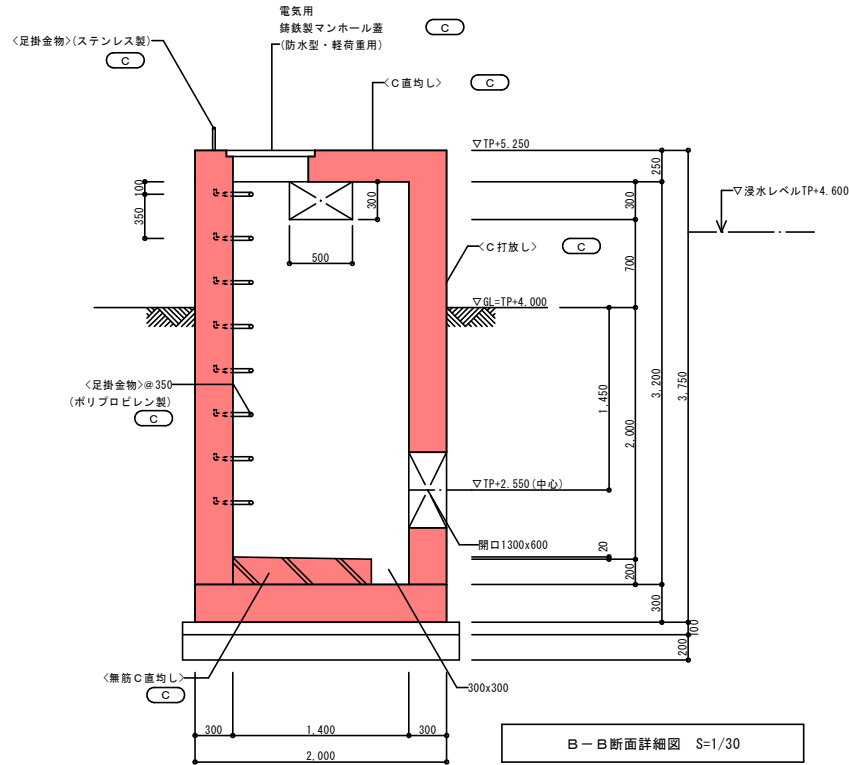
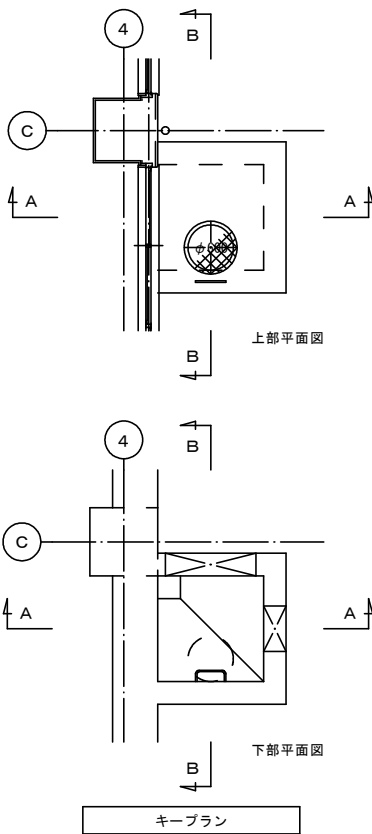
ステンレス足掛金物 (W=400) 詳細図

取付場所	品 種	W	壁用本数	床張り用本数	箇所数	総本数	備 考
屋上点検口	ステンレス	400	9	-	1	9	
ハンドホール	ステンレス	400	-	1	1	1	土木工事

〈DT-10〉 ハンドホール 詳細図 S=1/30



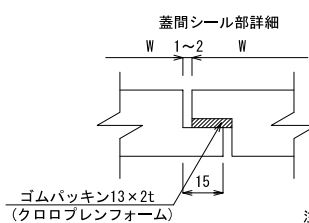
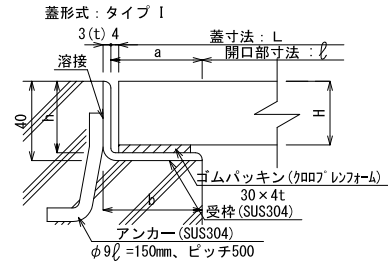
A-A断面詳細図 S=1/30



B-B断面詳細図 S=1/30

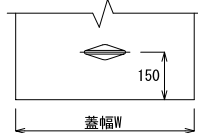
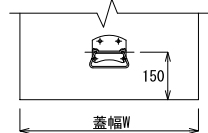
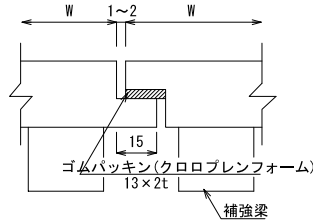
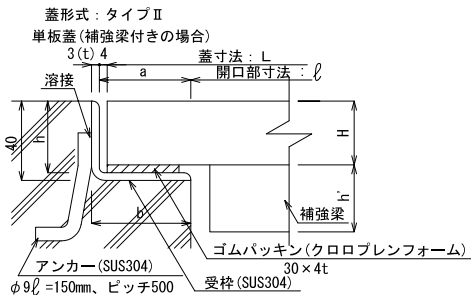
凡 例  
土木工事範囲 (躯体) を示す

工事年度	令和 7 年度起工 災害査定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）				工事
路 線 名	線 筋		地区	橋	
工事箇所	中間 市 郡	町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	部分詳細図（5）				
縮 尺	-	図面番号	D-30		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

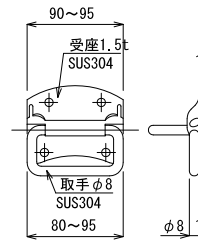
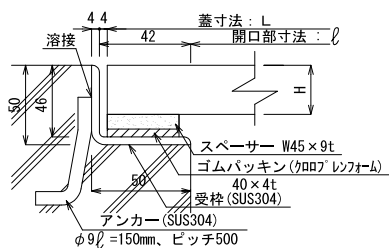


合成木材蓋(単板蓋タイプ)形式選定表									
タイプ 区分	蓋形式 (L×W×H)	開口部寸法 ℓ (mm)	受枠寸法				参考重量 (kg/m <sup>2</sup> )		
			a	h	h'	b	t		
Ⅰ	① ( ~1066) × 600 × 33.5	~1,000	33	37	-	40	3	20	
	② (1067~1266) × 600 × 33.5	1,001~1,200	33	37	-	40	3	22	
Ⅱ 補強梁付	③ (1267~1666) × 600 × 33.5	1,201~1,600	33	37	40	40	3	23	
	④ (1667~2066) × 600 × 33.5	1,601~2,000	33	37	60	40	3	24	

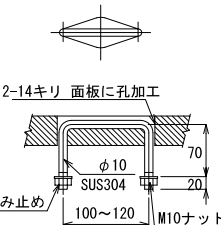
- 注1) 受枠寸法のhにはパッキン厚を含む。  
2) 蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300~600mmとする。  
3) 受枠がL50×50×4tの場合、蓋表面にスペーサー(W45×9t)を接着して対応する。(参考図-1参照)  
4) タイプ ② については、補強梁付きも可能とする。(タイプ Ⅱ 参照)



参考図-1  
単板蓋（受枠50mmの場合）



回転取手詳細図



落とし込み取手詳細図

記号	タイプ区分	開口寸法	蓋寸法	1ヵ所当り蓋数	箇所数	受枠工事区分	蓋工事区分
FU-Ⅰ	単板蓋Ⅱ-④	2000x2000	2066x2066	4枚	1	土木工事	土木工事

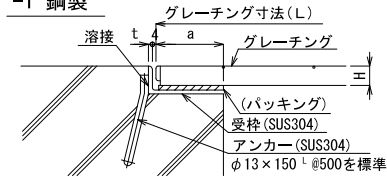
- 仕 様
- 受枠は、アンカー筋（φ9mm）で躯体の鉄筋に溶接して固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺に1点ずつ、辺については500mm以内の等間隔とする。
  - 蓋には荷重表示（N、T）を行う。
  - 蓋にはすべり止め加工を行う。

- 特記事項
- 蓋の選定は、形式選定表による。
  - 合成木材は、ガラス繊維強化硬質発泡ウレタン樹脂製の素材を示す。

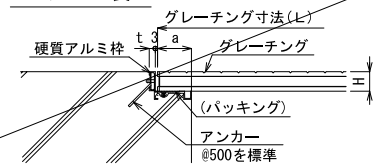
- 設計注意事項
- 設計荷重は、3.5kN/m<sup>2</sup> 又は中央部集中荷重1.0kN/枚のいずれか大きい荷重とする。
  - 許容たわみ量はL/200以下とする。
  - 板厚は、単板部分33.5mmを基本とする。
  - 可動式の場合は、中央線荷重1.0kN/mlにおいて、十分な破壊安全率を有し、脱輪を起こさないこと。
  - 強風による蓋の飛散を考慮する。（固定金具参照）
  - 開閉時の作業の安全性を確認する。
  - 受枠下のコンクリートの厚み等安全性を確認する。

## 〈DT-16〉 グレーチング（歩行用）詳細図

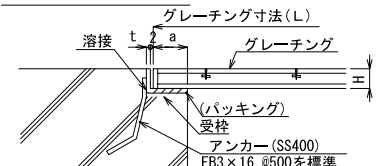
### -1 鋼製



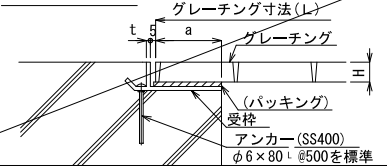
### -2 アルミ製



### -3 ステンレス製



### -4 FRP製



#### 仕 様

- グレーチング、枠は製造メーカーの仕様による。
- グレーチング、枠は同材質のものを使用する。
- ①の鋼製グレーチング及び受枠はJIS-H-8641の2種55の溶融亜鉛めっきとする。
- パッキングが必要な場合は受枠側に接着する。
- 蓋には荷重表示（N、T）を行う。（蓋への表示が困難な場合は、適切な箇所に荷重表示板を設置する。）
- 受枠はアンカー筋で躯体の鉄筋に溶解して固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺に1点ずつ、辺については、500mm以内の等間隔とする。

## S=NONE

グレーチング形式選定表（参考）

注）バーピッチ・H・a・tは床用（歩行用）の参考値である。

### A. 鋼製：設計荷重3.5kN/m<sup>2</sup>

L (mm)	バーピッチ (mm)	H (mm)	a (mm)	t (mm)	使用箇所	バーの種類
~ 500	30	19	50	4.5	排水溝（歩行用）	②
501~1200	30	25	50	6	排水ビット	①
1201~1500	30	32	50	6		
1501~1700	30	38	50	6		
1701~1900	30	44	50	6		
1901~2100	30	50	50	6		

### B. アルミ製：設計荷重3.5kN/m<sup>2</sup>

L (mm)	バーピッチ (mm)	H (mm)	a (mm)	t (mm)	使用箇所	バーの種類
~ 500	30	20	25	7		
501~ 900	30	25	25	7		
901~1000	30	30	25	7		
1001~1500	30	32	25	7		
1501~1700	30	38	25	7		

### C. ステンレス製：設計荷重3.5kN/m<sup>2</sup>

L (mm)	バーピッチ (mm)	H (mm)	a (mm)	t (mm)	使用箇所	バーの種類
~ 500	30	15	25	3		
501~ 900	30	20	25	3	くつ洗い流し	⑥
901~1000	30	25	25	3		
1001~1500	30	32	25	3		
1501~1700	30	38	25	3		

### D. FRP製：設計荷重3.5kN/m<sup>2</sup>

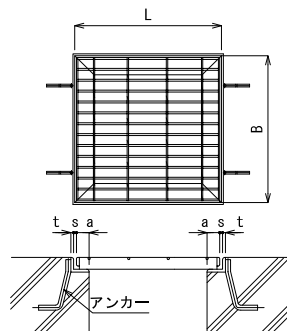
L (mm)	バーピッチ (mm)	H (mm)	a (mm)	t (mm)	使用箇所	バーの種類
~ 500	25	25	50	5		
501~ 750	25	25	50	5		
751~1000	25~40	36~40	50	5		

#### 特記事項

- 幅 L
- 長さ B
- 厚さ
- 荷重
- グレーチングの材質
- すべり止めの有無

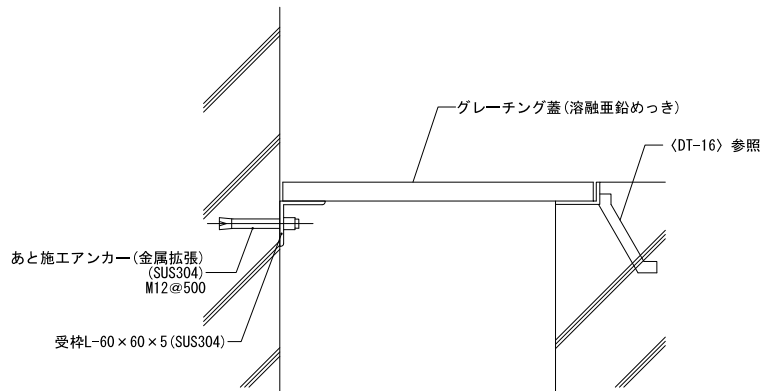
#### 設計注意事項

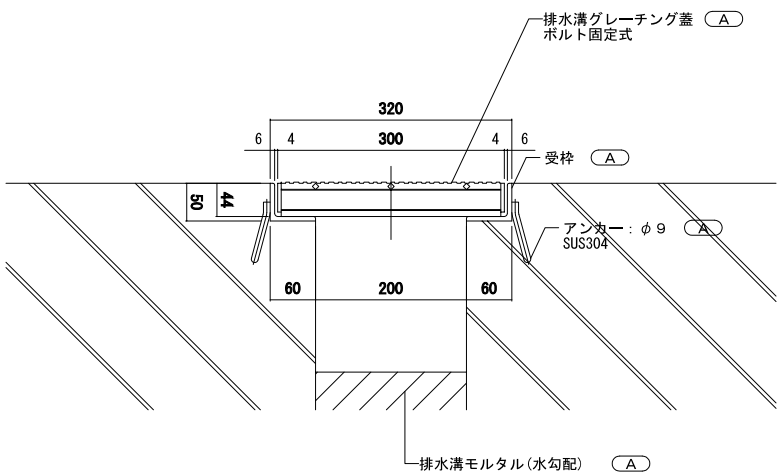
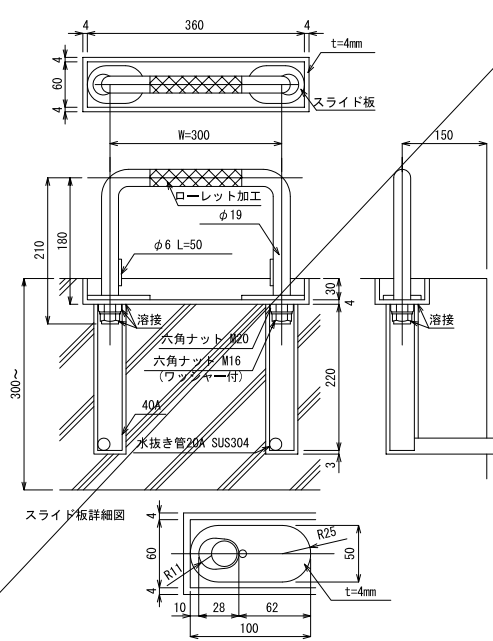
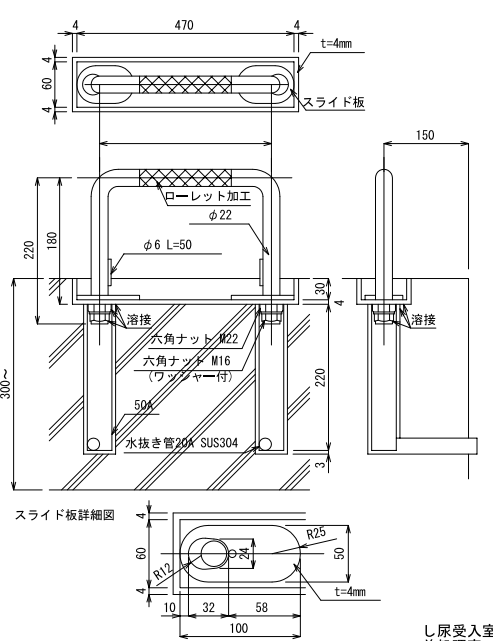
- 設計荷重は、歩行用3.5kN/m<sup>2</sup>とする。
- 許容たわみ量は、歩行用L/300以下（Lはスパン長）とする。
- 多雪地域は、ラバー付きの採用を検討する。
- 本図は歩行用に適用し、車両用は、別途T荷重仕様とする。
- すべり止めは、特別の配慮が必要な場合を除き、「有」を原則とする。



#### バーの種類

①	鋼製 すべり止め なし	⑤	ステンレス すべり止め なし
②	鋼製 すべり止め 付き	⑥	ステンレス すべり止め 付き
③	アルミ すべり止め なし	⑦	FRP ガラス繊維 強化アラック すべり止め 付き
④	アルミ すべり止め 付き		

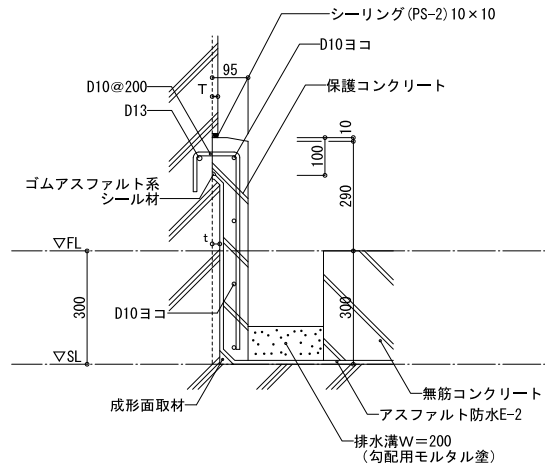


<div><div>工事年度令和 7 年度起工 災害査定第 82594-002 号</div><div>工事名遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事</div><div>路線名線筋地区橋</div><div>工事箇所中間市郡大字中底井野 地内</div><div>図面名部分詳細図（6）</div><div>縮尺-図面番号D-31</div><div>事務所名福岡県流域下水道事務所</div><div>認可当実当初初査定 可第回変更施第回変更</div></div>	<div>〈DT-17〉</div> <div>グレーチング (T-25) 詳細図（参考図）</div> <div>S=NONE</div>	<div>〈DT-19〉</div> <div>FRP製マンホール蓋 詳細図</div> <div>S=NONE</div>						
	<div><p>排水溝グレーチング蓋 (A) ボルト固定式</p><p>受枠 (A)</p><p>アンカー：φ9 SUS304 (A)</p><p>排水溝モルタル (水勾配) (A)</p><p>仕様 ※適用荷重：T-25（横断溝・側溝用） スチール製グレーチング 滑り止め模様付 横断溝・側溝用 材質：SS400 処理：溶融亜鉛めっき 定尺：995 スチール製受枠 材質：SUS304 定尺：2000 車両用グレーチングは、ボルト固定式とする。</p></div>	<div><p>蓋型式</p><p>丸枠タイプ</p><p>角枠タイプ</p><p>滑り止め</p><p>滑り止め</p><p>2-取手</p><p>丸枠</p><p>蓋</p><p>角枠</p><p>蓋</p><p>有効内径</p><p>有効内径</p><p>※ 上記のマンホール蓋のデザインは参考とする。</p><table><tr><td>仕様</td><td>特記事項</td><td>設計注意事項</td></tr><tr><td>1) 受枠施工側としてボイド管を取付けたスラブ打設用枠より受枠サポート用調整ボルトで所定位置に保持した後、スラブを打設して固定する。 2) 本施工方式以外の方法によるも可とする。 3) FRP（強化プラスチック）又はFRTP（可塑性強化プラスチック）とする。 4) 簡易防水用、簡易防臭用の場合は、パッキンおよびロック機構を内蔵したものとする。 5) 荷重表示 (N, T) をする。</td><td>1) 蓋の型式 2) 有効内径 3) 蓋のロック機能の有無</td><td>1) 安全荷重は破壊荷重の4分の1以下とする。 2) 荷重除去後の残留たわみは、マンホール枠内径の0.2%以下とする。</td></tr></table></div>	仕様	特記事項	設計注意事項	1) 受枠施工側としてボイド管を取付けたスラブ打設用枠より受枠サポート用調整ボルトで所定位置に保持した後、スラブを打設して固定する。 2) 本施工方式以外の方法によるも可とする。 3) FRP（強化プラスチック）又はFRTP（可塑性強化プラスチック）とする。 4) 簡易防水用、簡易防臭用の場合は、パッキンおよびロック機構を内蔵したものとする。 5) 荷重表示 (N, T) をする。	1) 蓋の型式 2) 有効内径 3) 蓋のロック機能の有無	1) 安全荷重は破壊荷重の4分の1以下とする。 2) 荷重除去後の残留たわみは、マンホール枠内径の0.2%以下とする。
仕様	特記事項	設計注意事項						
1) 受枠施工側としてボイド管を取付けたスラブ打設用枠より受枠サポート用調整ボルトで所定位置に保持した後、スラブを打設して固定する。 2) 本施工方式以外の方法によるも可とする。 3) FRP（強化プラスチック）又はFRTP（可塑性強化プラスチック）とする。 4) 簡易防水用、簡易防臭用の場合は、パッキンおよびロック機構を内蔵したものとする。 5) 荷重表示 (N, T) をする。	1) 蓋の型式 2) 有効内径 3) 蓋のロック機能の有無	1) 安全荷重は破壊荷重の4分の1以下とする。 2) 荷重除去後の残留たわみは、マンホール枠内径の0.2%以下とする。						
<div>〈DT-18〉</div> <div>落とし込み式取手 詳細図</div> <div>S=NONE</div>								
<div><p>落とし込み式取手 (W=300)</p><p>落とし込み式取手 (W=400)</p><p>仕様</p><p>1) 材質はすべてSUS304を用いる。</p><p>特記事項</p></div>	<div><p>設計注意事項</p><p>1) 原則として全ての足掛金物上部には、手掛け用取手を設ける。 2) 手掛け用取手は、壁付を原則とするが、やむを得ない場合、可倒型取手、回転式取手、又は落とし込み式取手とする。 3) 水抜き管は、原則として水路側又は池側へ設ける。排水対策の講じられていない配管・配線ピット側には原則として設けてはならない。</p></div>							

工事年度	令和 7 年度起工 災害定 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事		
路 線 名	線 筋	地区	橋
河 川 名			
工事箇所	中間 市 郡 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	部分詳細図（8）		
縮 尺	-	図面番号	D-33
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 <input type="checkbox"/> 第 回変更
初 査 定	<input type="checkbox"/> 初 <input type="checkbox"/> 査 定	初 査 定	<input type="checkbox"/> 初 <input type="checkbox"/> 査 定

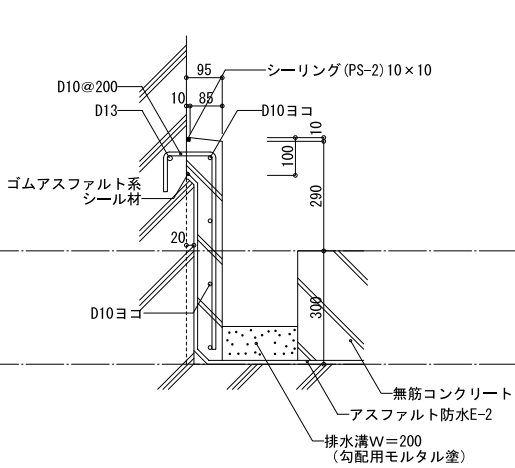
〈DT-23〉 室内防水廻り詳細図 S=1/10

増打（T）	増打（t）
15	20



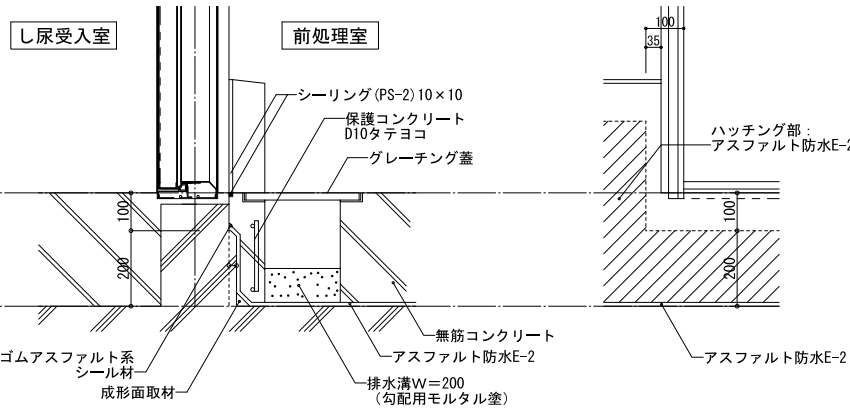
断面図 1/10

躯体に増打ちがある場合



断面図 1/10

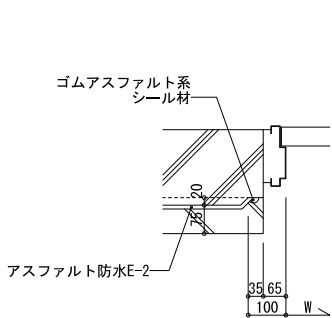
躯体に増打ちがない場合



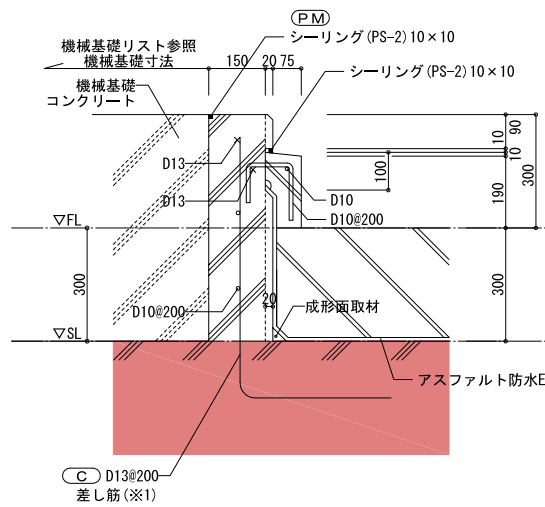
断面図 1/10

姿図 1/10

扉廻りとの取合い（内部）



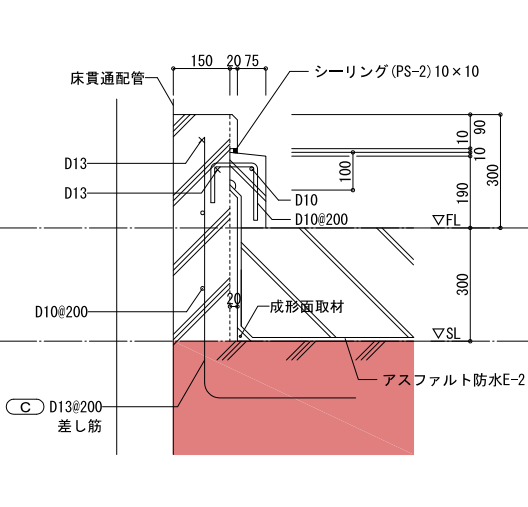
平面図 1/10



断面図 1/10

機械基礎との取合い

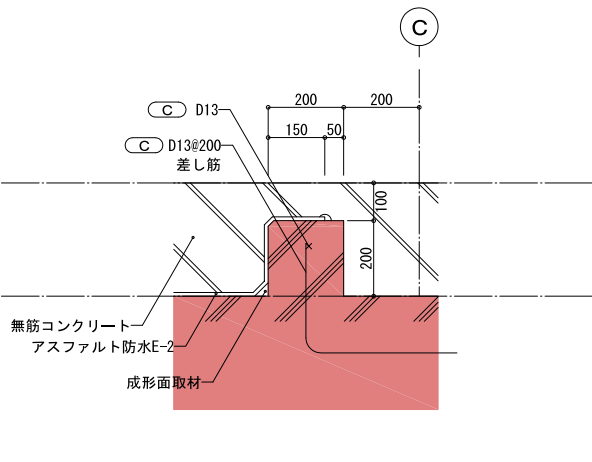
防水保護差筋：＜土木工事＞  
防水立上りコンクリート：＜建築工事＞  
防水保護鉄筋：＜建築工事＞  
防水保護コンクリート：＜建築工事＞  
機械基礎コンクリート：＜PM工事＞



断面図 1/10

床貫通配管部

防水立上り差筋：＜土木工事＞  
防水立上りコンクリート：＜建築工事＞  
防水保護鉄筋：＜建築工事＞  
防水保護コンクリート：＜建築工事＞



断面図 1/10

C通り立上り部

防水立上り鉄筋：＜土木工事＞  
防水立上りコンクリート：＜土木工事＞

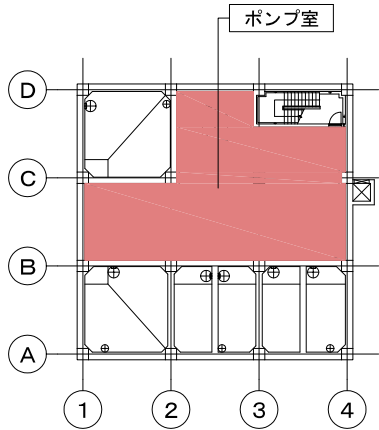
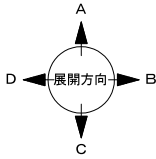
凡 例

（※1）： 貫通管・埋込管及び機器基礎仕様書 [B4] 参照  
及び部分詳細図〈DT-23〉参照

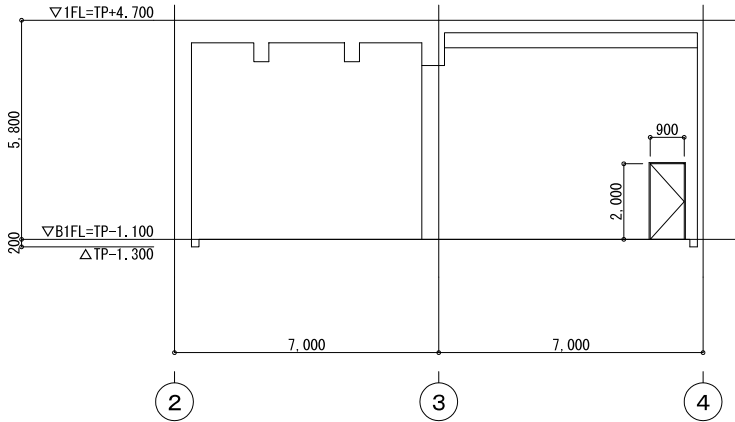
土木工事範囲（躯体）を示す

工事年度	令和 7 年度起工 工事年度 第 82594-002 号				
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事				
路 線 名	線 地区 橋				
河 川	筋 地区 橋				
工事箇所	中間 (市) 大字中底井野 地内				
郡 町 村					
図 面 名	展開図（1）				
縮 尺	S=1:100	図面番号	D-34		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更		
			<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>		

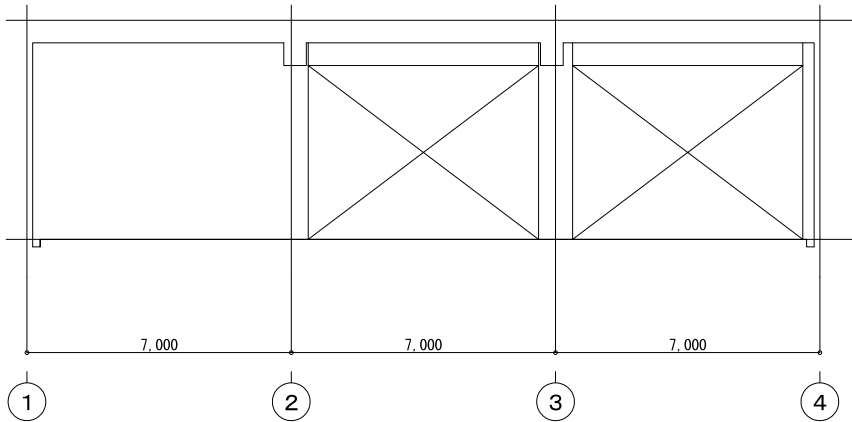
室名	地下1階 ポンプ室		
床	<無筋コンクリート直均し>t=200 (C)		
巾木	-		
腰壁	-		
壁	<コンクリート打放し> (C)		
天井	<コンクリート打放し> (C)		
備考	<排水溝 W=200> (C)		
	<排水溝グレーチング蓋、受枠> (C)		
	<排水ビットグレーチング受枠> (C)		
	<排水ビットグレーチング蓋> (PM)		



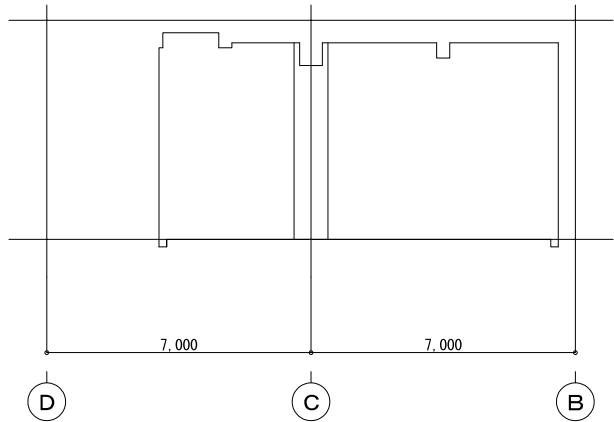
地下1階キープラン



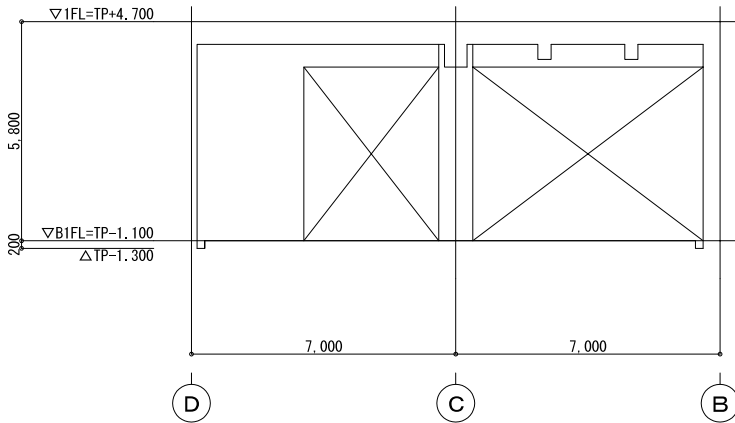
A面-01 (D通り)



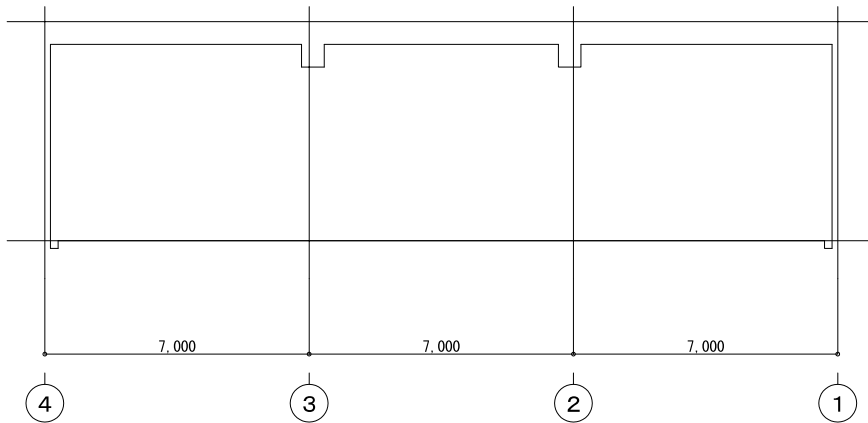
A面-02 (C通り)



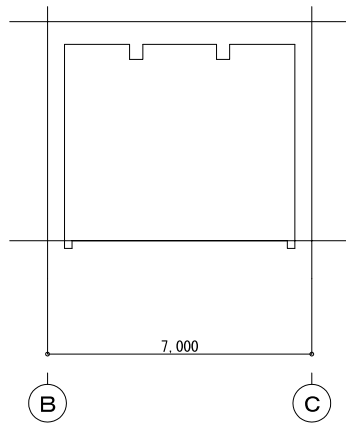
B面-01 (4通り)



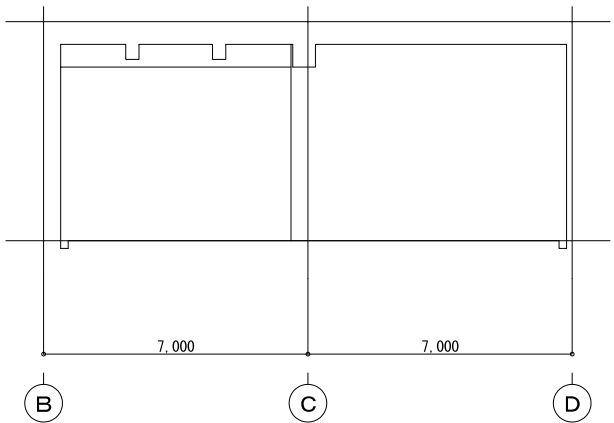
B面-02 (3通り)



C面 (B通り)



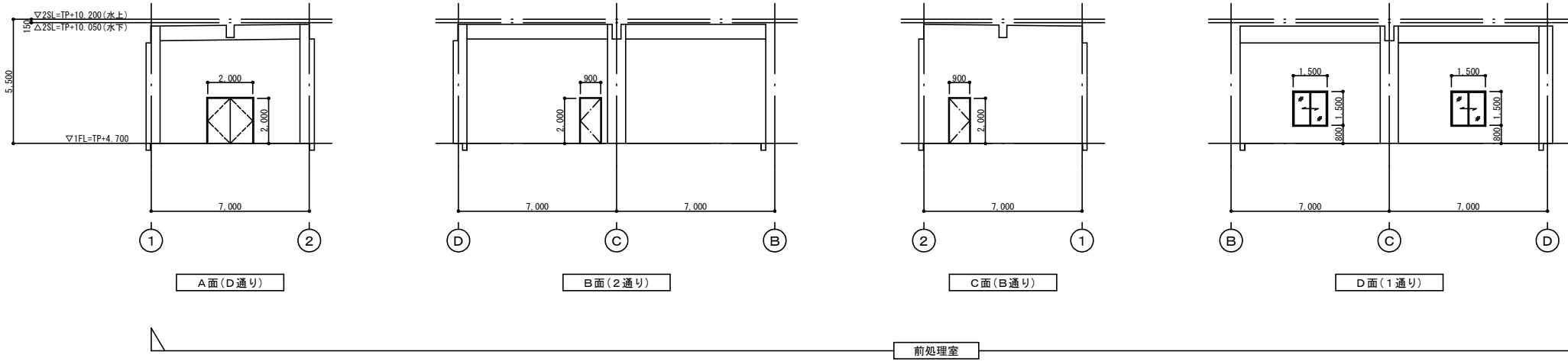
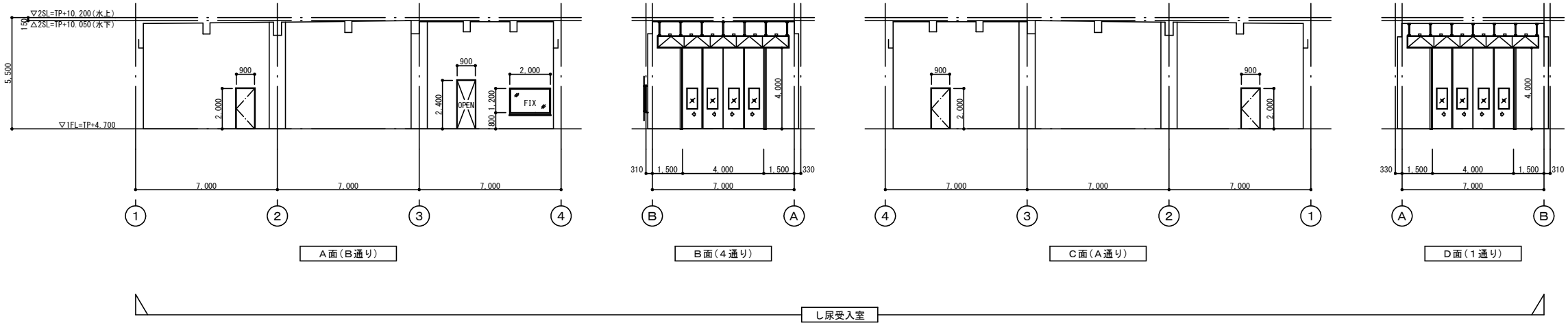
D面-01 (1通り)



D面-02 (2通り)

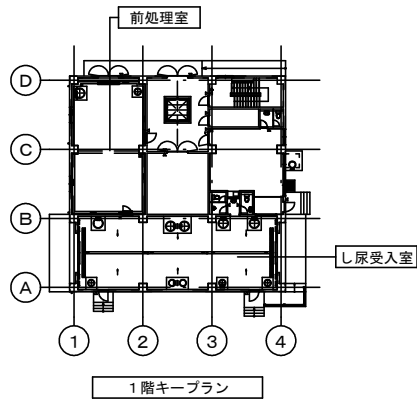
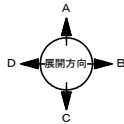


工事年度	令和 7 年		度起工 <del>災害定</del>		第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)				工事
路 線 名			線 筋	地区	橋
河 川					
工事箇所	中間	(市) 郡	町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	展開図 (2)				
縮 尺	-	図面番号	D-35		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

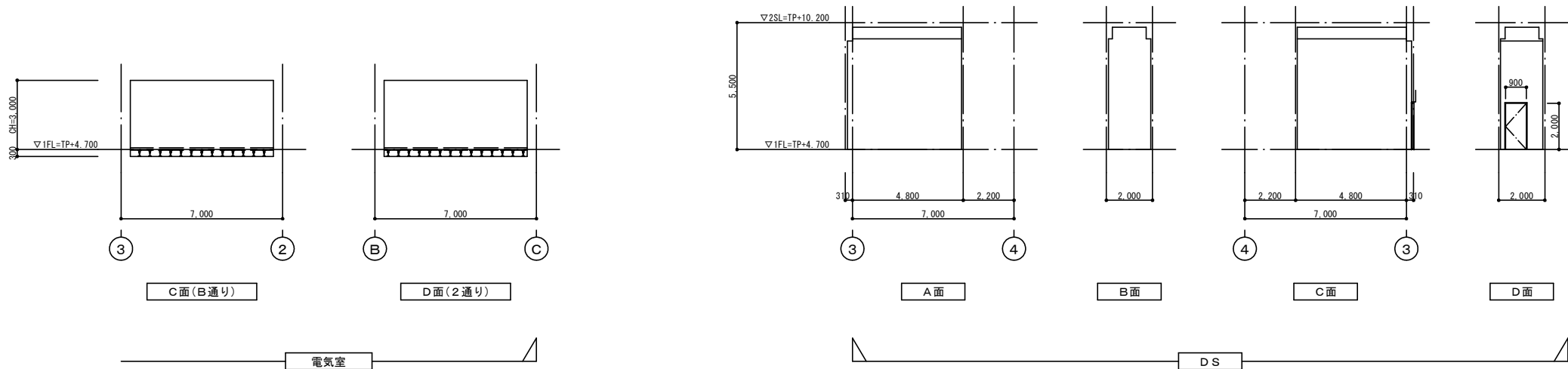
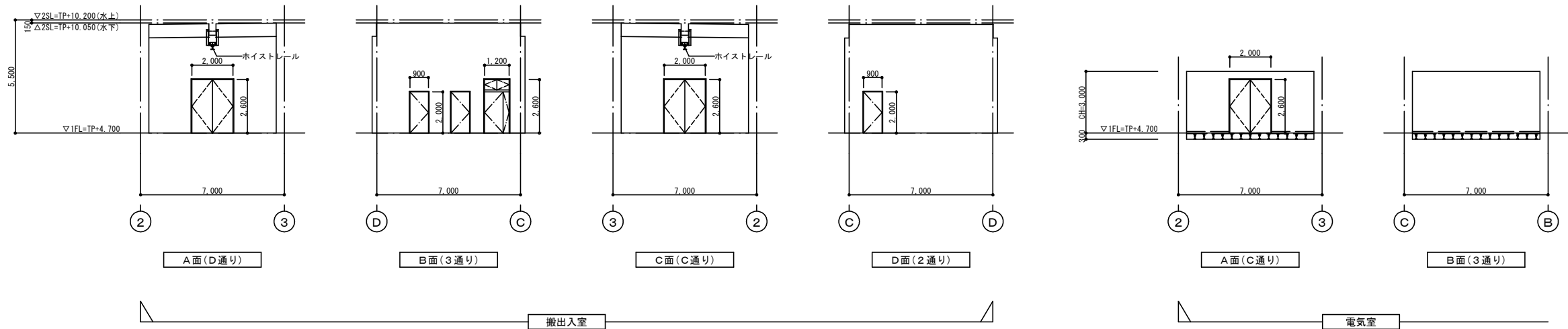


室名	1 階 し尿受入室
床	無筋コンクリート直均し t=300 補強用溶接金網、φ6-100 x 100 床用塗料塗り、平滑仕上
巾木	-
腰壁	-
壁	コンクリート打放し (B)
天井	コンクリート打放し (C)
備考	< 鋳鉄製排水ドレン φ100 > (C) < 落し込み取手 W=400 > (C) < 鋳鉄製マンホール蓋、受枠 (T-25車面荷重用、防臭型) φ900、φ600 > (C) 排水溝 W=200、排水グレーチング蓋、受枠 (T-25車面荷重用)

室名	1 階 前処理室
床	< 無筋コンクリート直均し > t=300
巾木	-
腰壁	-
壁	コンクリート打放し (B)
天井	コンクリート打放し (C)
備考	< 落し込み取手 W=400 > (C) < FRP製マンホール蓋、受枠 (歩行用、防臭型) φ900、φ600 > (C) 排水溝 W=200、排水グレーチング蓋、受枠 (歩行用)

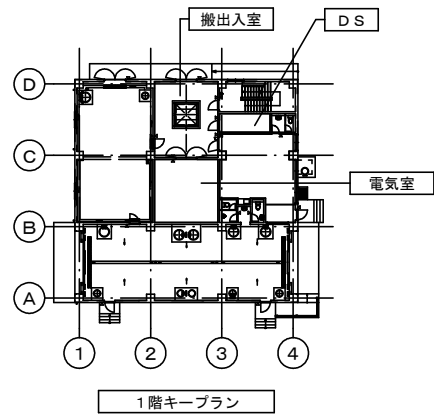
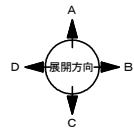


工事年度	令和 7 年度起工 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)		
路 線 名	線 筋	地 区	橋
工事箇所	中間 (市) 郡	町 村	大字中底井野 地内
図 面 名	展開図 (3)		
縮 尺	-	図面番号	D-36
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施 <input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>

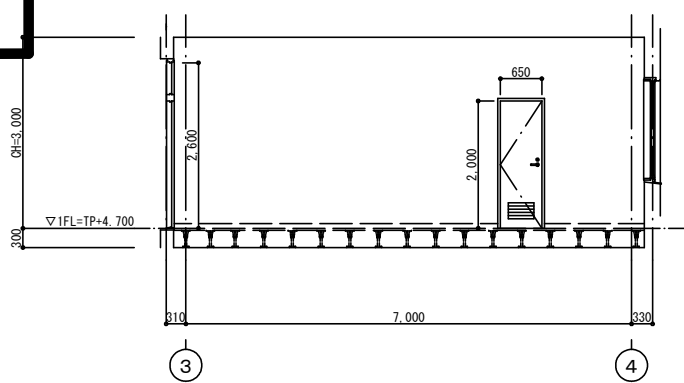


室名	1階 搬出入室
床	無筋コンクリート直均し t=300
巾木	-
腰壁	-
壁	コンクリート打放し (B)
天井	コンクリート打放し (C)
備考	<アルミ製手摺(取外し式)> (C) <合成木材製蓋> (C) ホイストレール

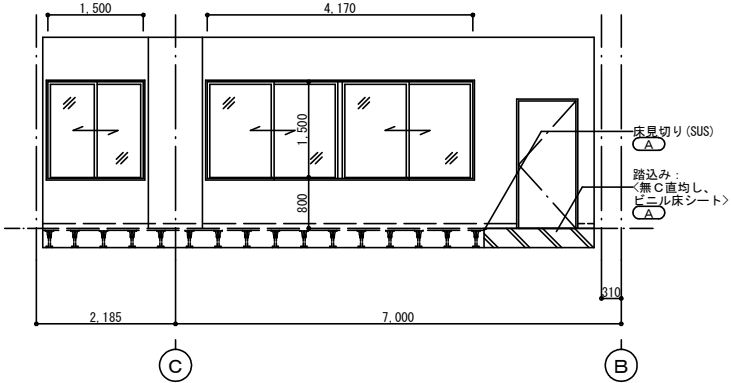
室名	1階 電気室
床	<フリーアクセスフロアH=300、帯電防止ビニル床タイル> (PE)
巾木	<ビニル巾木> H=75 (PE)
腰壁	-
壁	コンクリート打放し (B) EP-G
天井	GB-NC (NT) t=9.5
備考	天井点検口



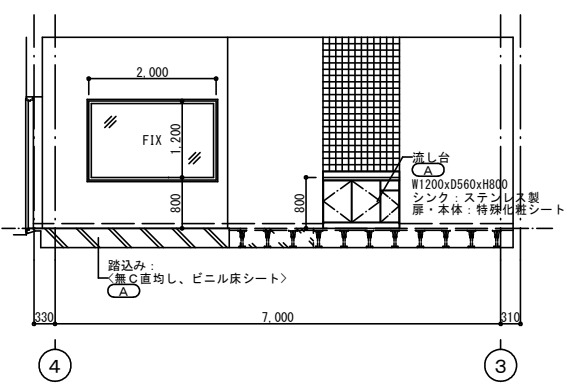
工事年度	令和 7 年 度起工 <u>計画年度</u>		第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事		
路 線 名	線 筋 地区 橋		
河 川 名			
工事箇所	中間 (市) 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	展開図 (4)		
縮 尺	-	図面番号	D-37
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施 <input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>



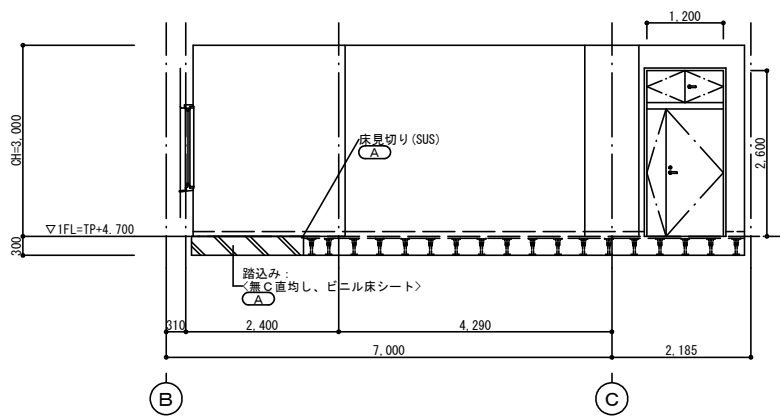
A 面



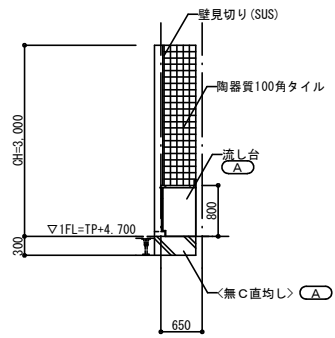
B 面 (4 通り)



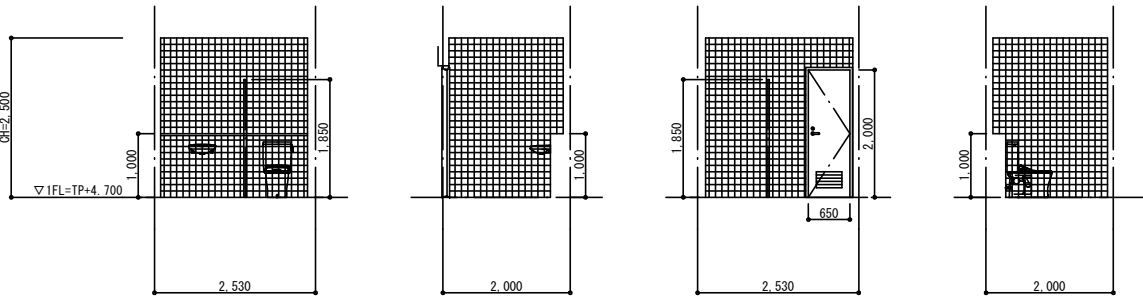
C 面 (B 通り)



D 面 (3 通り)



流し台 両側面



A 面

B 面

C 面

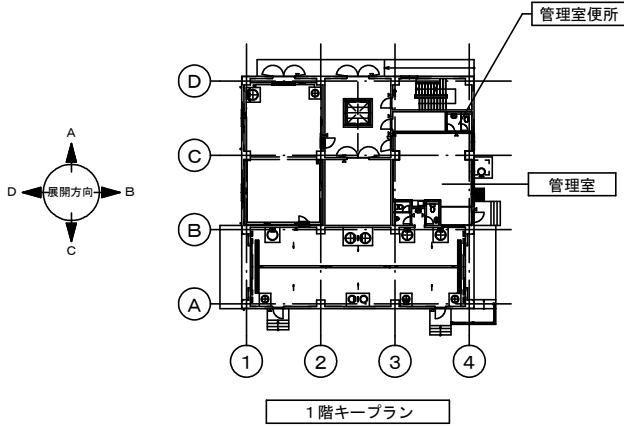
D 面

室名	1 階 管理室
床	<フリーアクセスフロアH=300、帯電防止ビニル床タイル> (P E)
巾木	<ビニル巾木> H=75 (P E)
腰壁	—
壁	GB-R t=12.5 (GL工法) ビニルクロス
天井	GB-R t=9.5 下地貼りの上 DR t=12
備考	天井点検口 アルミブラインドボックス

室名	1 階 管理室 (踏み)
床	<無筋コンクリート直均しt=300、ビニル床シート> (A)
巾木	管理室に同じ
腰壁	—
壁	管理室に同じ
天井	管理室に同じ

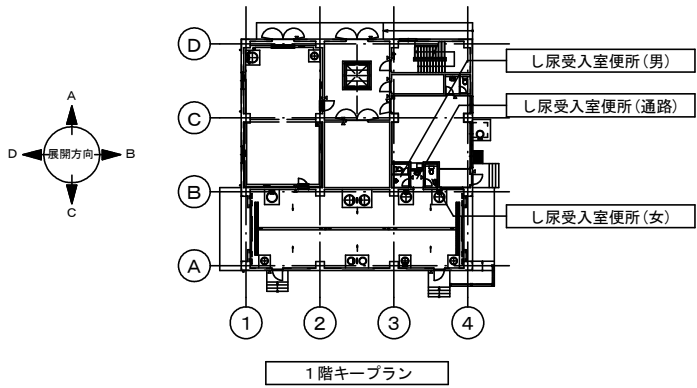
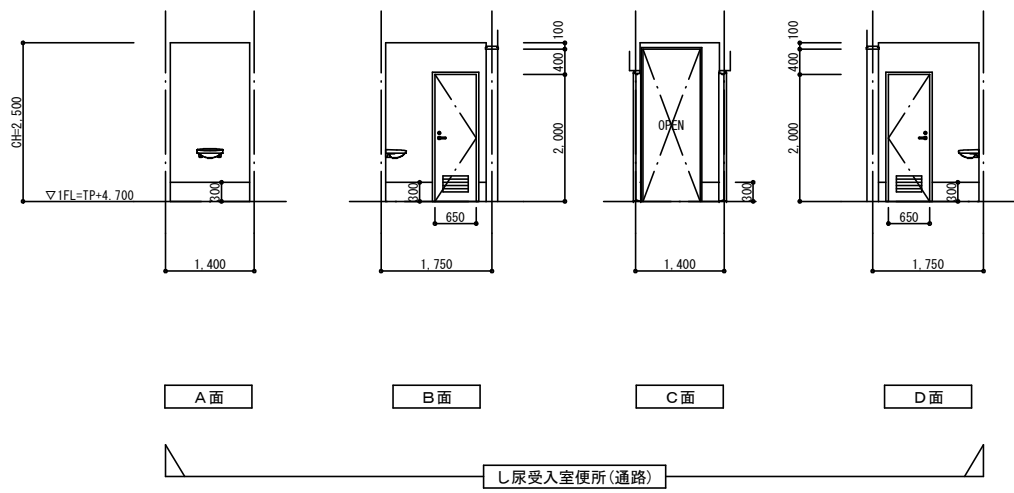
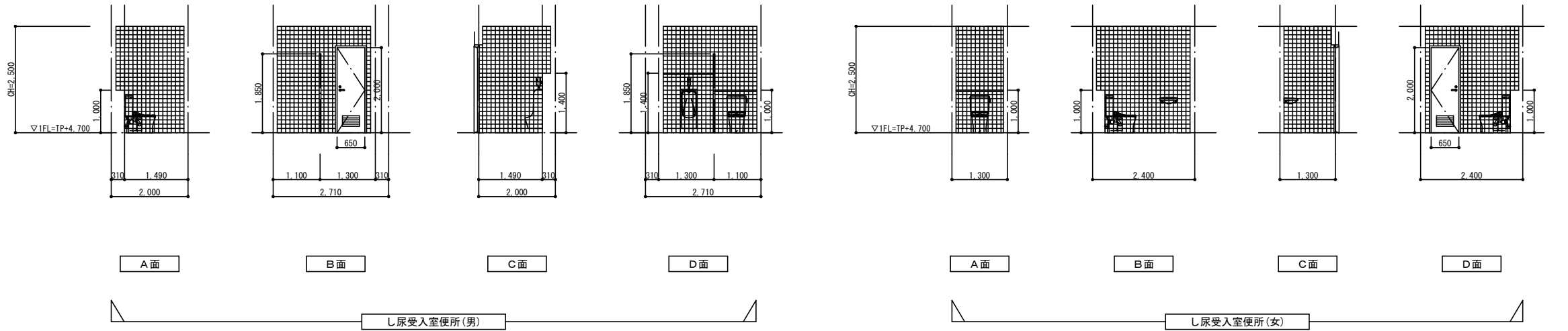
室名	1 階 管理室 (流し台部)
床	<無筋コンクリート直均しt=300、帯電防止ビニル床タイル> (A)
巾木	管理室に同じ
腰壁	—
壁	陶器質100角タイル
天井	管理室に同じ

室名	1 階 管理室 便所 (男女共)
床	モルタル塗り ビニル床シート
巾木	<ビニル巾木> H=75
腰壁	—
壁	陶器質100角タイル
天井	GB-N C (N T) t=9.5
備考	天井点検口



1 階キープラン

工事年度	令和 7 年		度起工 <u>従来年度</u>		第 82594-002 号	
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)				工事	
路 線 名			線 筋	地区	橋	
河 川						
工事箇所	中間 (市) 郡 町 村		大字中底井野 地内			
図 面 名	展開図 (5)					
縮 尺	-		図面番号	D-38		
事務所名	福岡県流域下水道事務所					
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>		

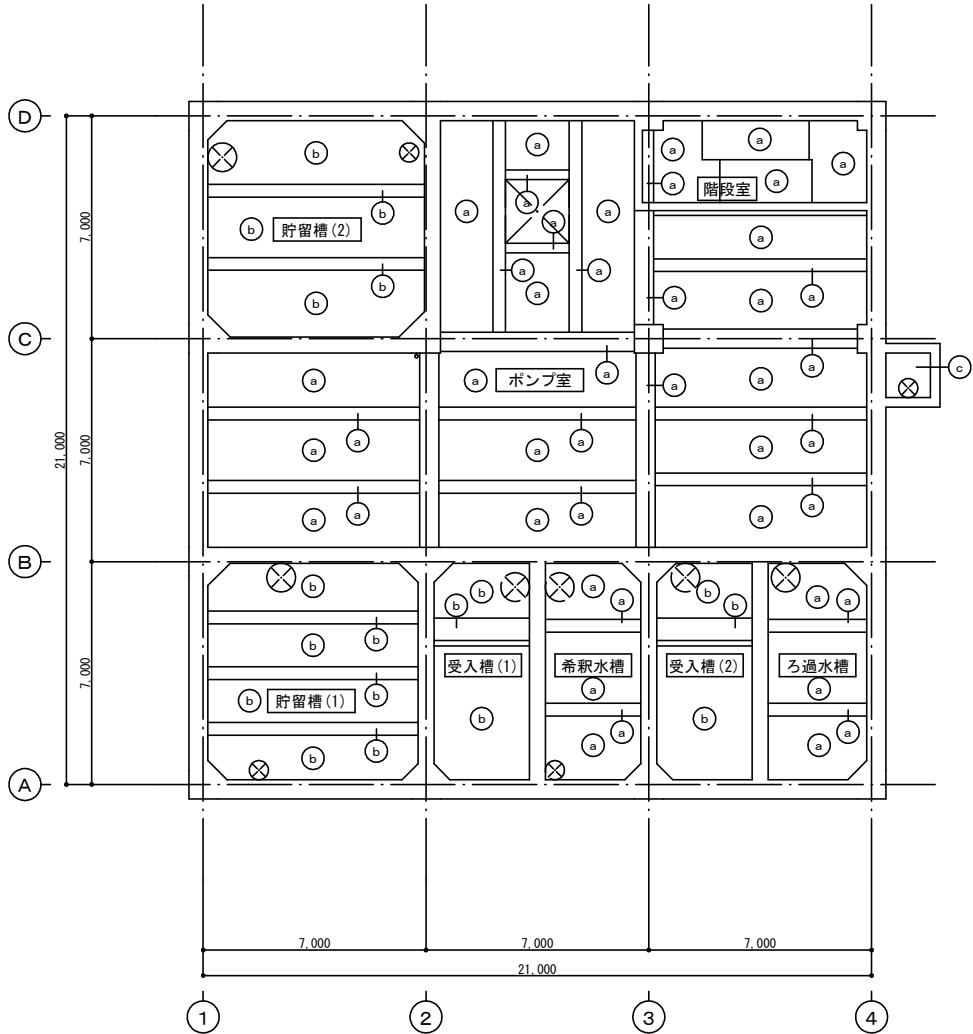


室名	1 階 し尿受入室便所 (男)
床	＜無筋コンクリート直均し＞ t=300 ビニル床シート
巾木	＜ビニル巾木＞ H=75
腰壁	－
壁	陶器質100角タイル
天井	ケイカル板 t=6の上EP-G
備考	天井点検口

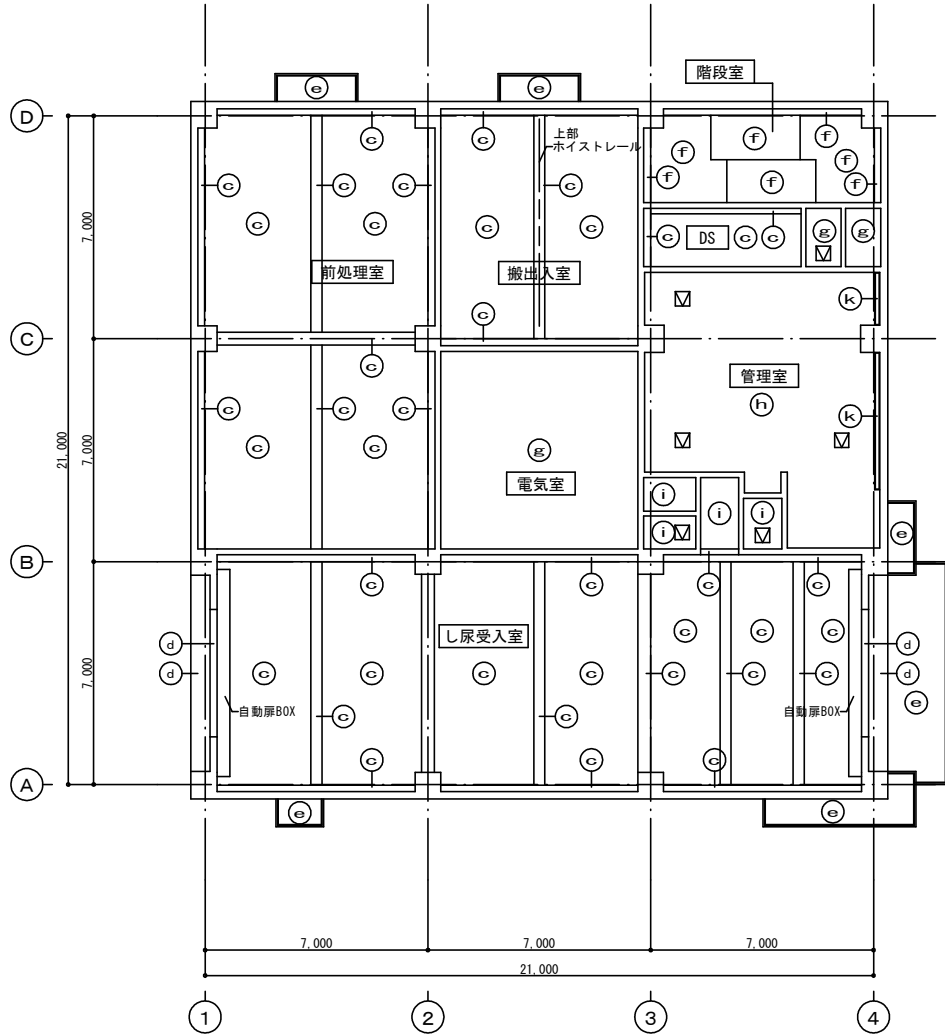
室名	1 階 し尿受入室便所 (女)
床	＜無筋コンクリート直均し＞ t=300 ビニル床シート
巾木	＜ビニル巾木＞ H=75
腰壁	－
壁	陶器質100角タイル
天井	ケイカル板 t=6の上EP-G
備考	天井点検口

室名	し尿受入室便所 (通路)
床	＜無筋コンクリート直均し＞ t=300 床用塗料塗り、平滑仕上
巾木	コンクリート打放し (B) 床用塗料塗り H=300
腰壁	－
壁	コンクリート打放し (B)
天井	ケイカル板 t=6の上EP-G
備考	天井点検口

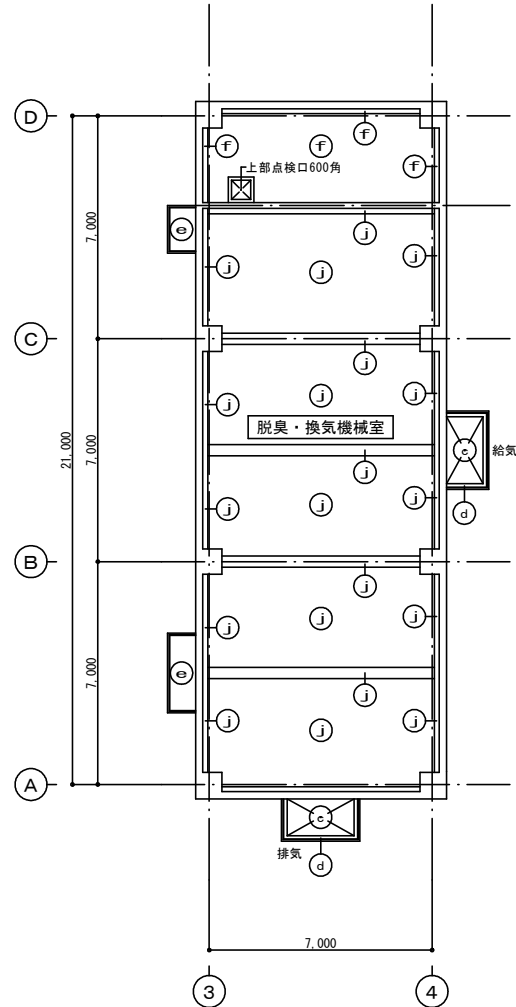
工事年度	令和 7 年	度起工	第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)		
路 線 名	線 筋	地区	橋
工事箇所	中間 (市) 郡 町 村	大字中底井野	地内
図 面 名	天井伏図		
縮 尺	-	図面番号	D-40
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施 <input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>



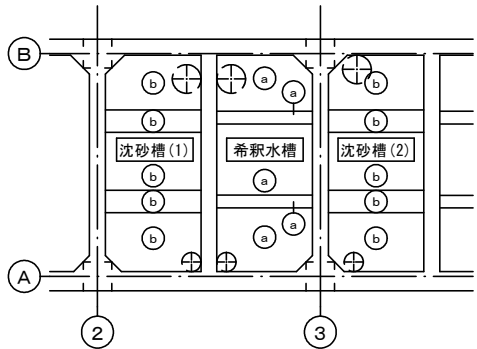
地下1階天井伏図 S=1/100



1階天井伏図 S=1/100



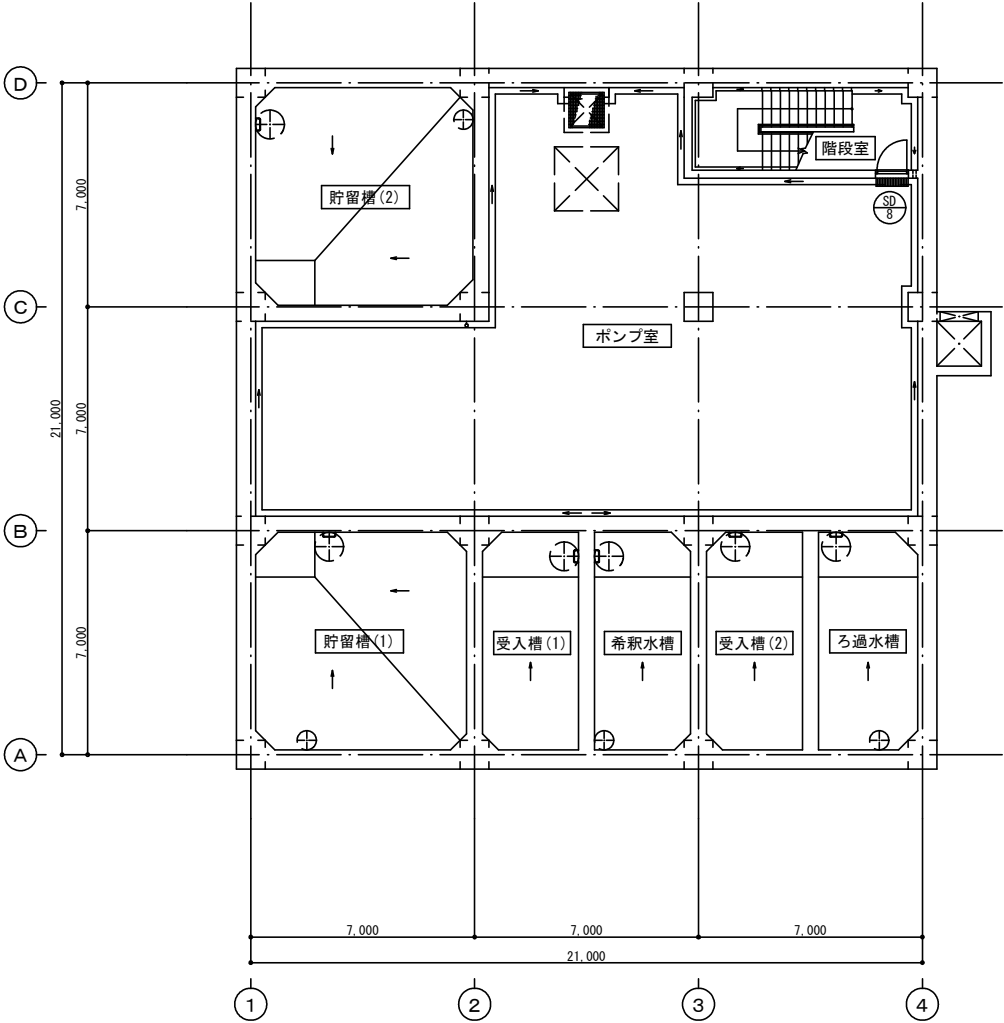
2階天井伏図 S=1/100



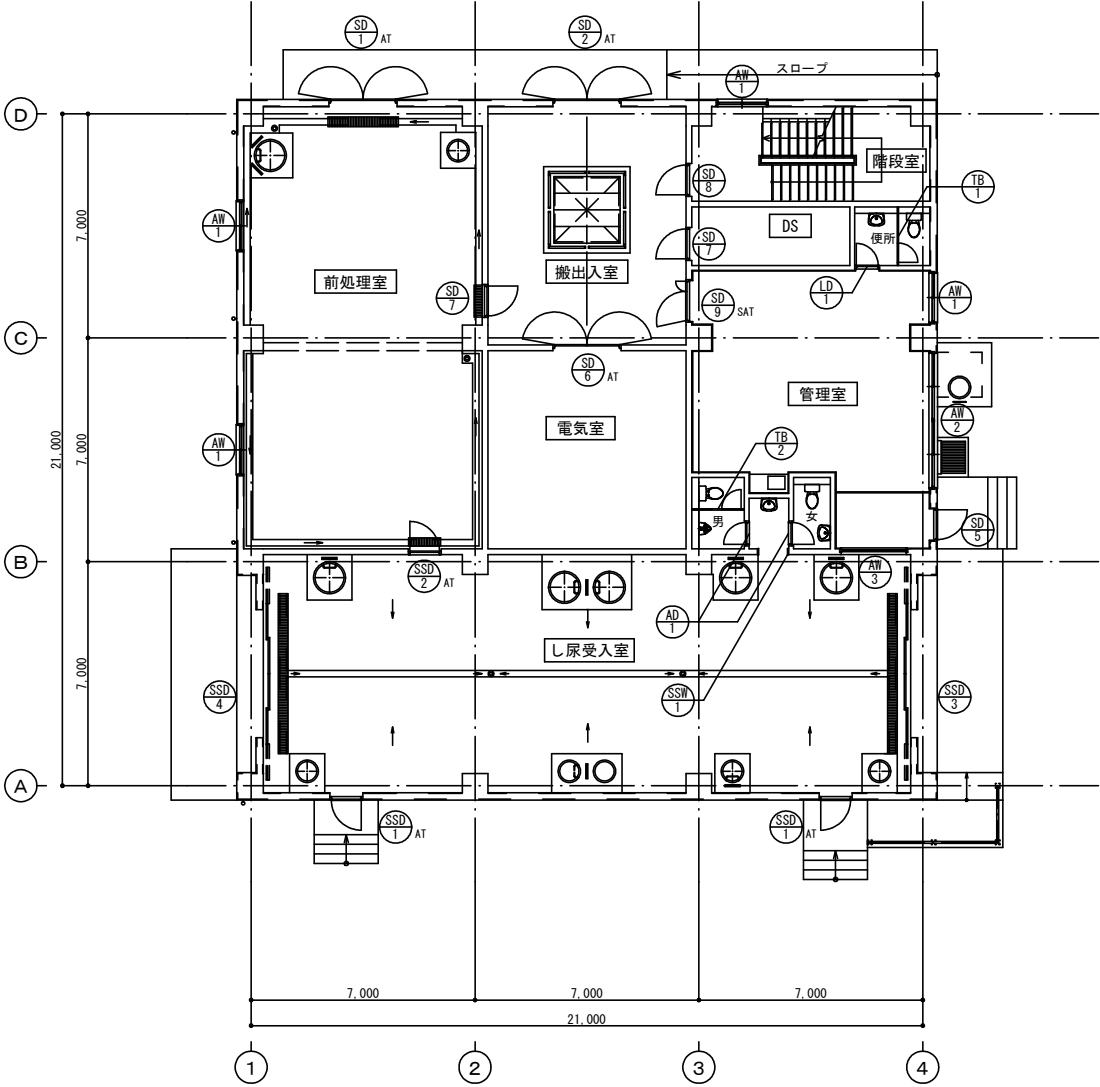
地下1階上部天井伏図 S=1/100

記号	天井仕上
a	<C打放し> (C)
b	<C打放し><防食塗料 (D種塗布型)> (C)
c	コンクリート打放し (C)
d	コンクリート打放し (B) の上、複層塗材RE
e	コンクリート打放し (C) の上、外装薄塗材E
f	コンクリート打放し (C) の上、EP塗り
g	GB-N C (NT) t=9.5
h	GB-R t=9.5下地貼りの上DR t=12
i	ケイカル板 t=6の上EP-G
j	グラスウール吸音材t=25、ガラスクロス顔縁張り、ステンレスファスナ留付
k	アルミブラインドボックス (3-31-3)
☑	アルミ製天井点検口450角

工事年度	令和 7 年度起工 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事		
路 線 名	線 筋	地区	橋
河 川 名			
工事箇所	中間 (市) 町 郡	大字中底井野 地内	
図 面 名	建具配置図 (1)		
縮 尺	-	図面番号	D-46
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
			<input type="checkbox"/> 査 定



地下1階建具配置図 S=1/100



1階建具配置図 S=1/100

工事年度	令和 7 年 度起工 仮決定		第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事		
路 線 名	線 地区		橋
河 川	筋		
工事箇所	中間 (市) 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	建具表 ( 1 )		
縮 尺	-	図面番号	D-48
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施 <input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>

符号 ・ 名称 ・ 個数			<div><div>SD 1</div>AT</div> 外部鋼製 両開き気密ドア	1箇所	<div><div>SD 2</div>AT</div> 外部鋼製 両開き気密ドア	1箇所	<div><div>SD 3</div></div> 外部鋼製 両開きドア	1箇所	<div><div>SD 4</div></div> 外部鋼製 片開きドア	1箇所	<div><div>SD 5</div></div> 外部鋼製 片開きドア	1箇所	<div><div>SD 6</div>AT</div> 内部鋼製 両開き気密ドア	1箇所	<div><div>SD 7</div></div> 内部鋼製 片開きドア	2箇所		
場所			1F前処理室		1F搬出入室		2F脱臭・換気機械室		2F脱臭・換気機械室		1F管理室		1F電気室		1F搬入室			
仕上 (特共)			D P		D P		D P		D P		D P		S O P		S O P			
建具	見込 (ランマ)	扉:50	扉:50		扉:60		扉:40		扉:40		扉:40		扉:60		扉:40			
	硝子 (ランマ)	――	――		――		――		――		NP6.8		――		――			
	ガラリ	――	――		――		――		――		――		――		――			
建具枠	見込取合 窓摺	160		170		120		120		120		170		120				
枠記号 窓摺 (水切) 記号			枠: AT-1 窓摺: k (SUS)		枠: AT-2 窓摺: k (SUS)		枠: S-17 窓摺: g (SUS)		枠: S-17 窓摺: g (SUS)		枠: S-17 窓摺: g (SUS)		枠: AT-4 窓摺: m (SUS)		枠: S-2 窓摺: d (SUS)			
建具金物			大型丁番3枚、戸当り、あおり止め 視膠 (面付3点両面締りハッド) 本締錠付) 子鎖 (面付2点片面締りハッド) 本 D C x 2、順位調整器		大型丁番3枚、大型戸当り、あおり止め 視膠 (面付3点両面締りハッド) 本締錠付) 子鎖 (面付2点片面締りハッド) 本 D C x 2、順位調整器		一般丁番、戸当り、あおり止め、レバーハンドル錠 D C x 2、順位調整器、フランス落し		一般丁番、戸当り、レバーハンドル錠 D C		一般丁番、戸当り、レバーハンドル錠 D C		大型丁番3枚、戸当り、あおり止め 視膠 (面付3点両面締りハッド) 本締錠付) 子鎖 (面付2点片面締りハッド) 本 D C x 2、順位調整器		一般丁番、戸当り、レバーハンドル錠 D C			
その他													特定防火設備					
形状・寸法																		
符号 ・ 名称 ・ 個数			<div><div>SD 8</div></div> 内部鋼製 片開きドア	3箇所	<div><div>SD 9</div>SAT</div> 内部鋼製 親子開き簡易気密ドア (ランマ付き)	1箇所	<div><div>LD 1</div></div> 内部軽量鋼製 片開きドア	1箇所	<div><div>SSW 1</div></div> 内部ステンレス製 三方枠	1箇所	<div><div>TB 1</div></div> 内部 アルミエッジ製 トイレブース	1箇所	<div><div>TB 2</div></div> 内部 アルミエッジ製 トイレブース	1箇所				
場所			階段室		1F搬出入室		1F管理室便所		1Fし尿受入室～便所通路		1F管理室便所		1Fし尿受入室男子便所					
仕上 (特共)			S O P		S O P		化粧鋼板		三方枠 (SUS) HL仕上げ		パネル:メラミン樹脂系化粧板、エッジ:アルミ製		パネル:メラミン樹脂系化粧板、エッジ:アルミ製					
建具	見込 (ランマ)	扉:40	扉:40		扉:40		扉:40		――		40		40		――			
	硝子 (ランマ)	――	――		――		――		――		――		――		――			
	ガラリ	――	――		――		イー-1 ガラリ 開口率 30%		――		――		――		――			
建具枠	見込取合 窓摺	120		120		100		200		――		――		――				
枠記号 窓摺 (水切) 記号			枠: S-2 窓摺: d (SUS)		枠: S-2 窓摺: d (SUS)		枠: L-1 窓摺: a (SUS)		枠: 三方枠 (SUS) HL仕上げ 窓摺: なし		――		――		――			
建具金物			一般丁番、戸当り、レバーハンドル錠 D C		一般丁番、戸当り、レバーハンドル錠 D C、フランス落し 無目: 取り外し式		丁番、戸当り、レバーハンドル錠、サムターン表示錠 D C				グレビティヒンジ、戸当り帽子掛け ロック (非常解錠付) 笠木: アルミ製、巾木: ステンレス (HL) H-60		グレビティヒンジ、戸当り帽子掛け ロック (非常解錠付) 笠木: アルミ製、巾木: ステンレス (HL) H-60					
その他																		
形状・寸法																		
共 通 事 項	1. 特記なき限り外部はシリング高錠 (内部サムターン) とし内部は本締り付きモノロックとする。 但し、押板、押棒の場合は、シリング本締りとする。			8. 特記なき限り内部建具のガラリはイ型とする。 (特選 詳細による。)														
	2. バイパスベース、ダクトベースの点検扉の鍵はシリング本締り錠 (特記なき限り同一キー) とする。 (内部はサムターン付)			9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。														
	3. 便所等の施設を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。			10. 防火戸の位置は建築配置図による。														
	4. A H、F Hを除きD Cの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め (防火戸を除く) をつける。 窓仕上げボード等の場合は床付とする。 (但し、通行に支障のあるものは除く。)			11. 特記なき限り気密部・簡易気密部の設置材の仕様は 行わないものとする。														
	5. 特記なき限り外部に面するガラリ戸は防鳥網付きとする。			12. 階段室の施設を必要としない箇所は空錠とする。														
	6. アルミニウム製窓の締り金物、修繕口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。			13. 特記なき限り両開きの防火戸は両側設置とする。														
	7. 大型、気密鋼製建具はシリング本締り錠付きとする。			14. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。														
				15. AT-2、AT-4の補強材はアングル (L-50 ×50×6) の通し物とする。														
建築標準 ガラス仕様	種 別		戸	窓	ガラリ	オーバー ヘッド?	紙障子	ふすま	シャッター	網戸								
	アルミニウム製		A D	A W	A G	A O D			A S	a W								
	鋼 製		S D	S W	S G	S O D			S S									
	鋼製軽量		L D						L S									
	ステンレス製		S S D	S S W	S S G				S S S									
	木 製		W D	W W	W G		P	H										
ガラス番号	F 型板ガラス				D C ドアクローザー													
	P フロート板ガラス				A H オートヒンジ													
	N 網入型板ガラス				F H フロアヒンジ													
	N P 網入みがき板ガラス				P H ビボットヒンジ													

工事年度令和 7 年度起工  
第 82594-002 号

工事名透賢川下流浄化センター  
し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事

路線名線筋地区橋  
河川

工事箇所中間(市)町大字中底井野 地内  
郡村

図面名貫通孔・埋込管及び機器基礎仕様書

縮尺- 図面番号 P-1

事務所名福岡県流域下水道事務所

認可  
当初  
第 1 回変更  
実  
第 1 回変更  
施  
第 1 回変更  
査  
定  
可

貫通孔、埋込管 及び 機器基礎仕様書

部 項 目

1. 1. 通 用 基 準

2. 2. 施 工 図 等

3. 3. 発 生 材 の 処 理

4. 4. 符 号

5. 5. 開 口 補 強

6. 6. 工 法

7. 7. 特 記 事 項

特 記 事 項

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）  
令和 年版」（以下、「標準仕様書」という）

配管・配線系統を打ち合せ、位置・寸法及び方向を検討し、施工図を  
速やかに監督員に提出し、承認を受ける。

工事特記仕様書による。

各設備に用いる符号は下記とする。  
(例) AM+5=1  
→ 通し番号  
→ 貫通孔の形状の符号  
S・・・貫通孔  
P・・・埋込管  
B・・・基礎  
→ 各設備の符号  
AM・・・建築機械設備  
AE・・・建築電気設備  
PM・・・プラント機械設備  
PE・・・プラント電気設備

a) 開口補強方法については、標準仕様書別図各部配筋による。  
1) 壁開口補強は、4. 2 による。 A 形 ※B 形  
但し、耐震壁は明示による。  
2) 床版開口部補強は、5. 3 による。  
3) 梁貫通孔の補強は特記による。特記がなければ、7. 1 により、  
配筋種別は特記による。

a) 貫通孔、埋込管は、寸法・位置に充分注意して堅固に取り付ける  
b) 埋込管を水槽・外壁に取付ける場合は、漏水のないように、充分  
考慮し施工する。

a) 印のついたものを適用する。印のない場合は※印のあるものを  
適用する。又、印は印のある場合は共に適用する。

部 項 目

1. 1. 材 料、材 質

2. 2. 次 期 工 事 の  
貫 通 孔 処 理

特 記 事 項

a) 貫通孔に用いる材料は下記による。

記号	S 1	S 2	S 3	S 4	S 5
材料	鋼管	硬質塩ビ管	溶融亜鉛めっき鋼板	つば付鋼板	紙スリーブ
					S 6 木 枠

a) 次期注注の外壁・床版貫通孔及び仮補強筋は、下記による。

壁 部

床版部

上部

下部

外側

内側

仮補強筋

1. 500未満

D13-200@シングル

構造体配筋に同じ

コンクリート強度 : 構造体強度に同じ

▽ : シーリング (10×10)

b) 土圧・水圧等を受ける場合は、B-04-1 を標準とし、その他は特記による。

部 項 目

1. 1. 材 料、材 質

特 記 事 項

a) 埋込管に用いる材料は、下記のものとする。

埋込管の材料	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5
材料	ステンレス 管	鋼 管	鉄 鉄 管	塩 ビ 管	亜鉛鉄管

b) 埋込管の材質については、下記による。  
1) ステンレス管・・・ JIS 0.98MPa  
(SUS304) 鋼管差し込み溶接フランジ規格  
※ C-1 sch 20S  
C-2 sch 40  
2) 鋼 管・・・ JIS G 3452 (SGP) ※3442 (SGPW)  
3) 鉄鉄管・・・ ※JWAS G-1 JDPAG 1025 1026  
4) 塩ビ管・・・ JIS K 6741 ※VP・VU  
5) 亜鉛鉄管・・・ JIS G 3302 ※4mm以上 6mm以上  
c) 埋込管の塗装は、「機械設備工事一般仕様書」の定めに準拠する。

部 項 目

2. 2. 埋込管の形式

3. フランジ穴の  
取付け位置

特 記 事 項

a) 鉄鉄管のバドル付規格管を使用する場合

[F 1]

[F 2]

b) 規格外のバドル付規格管を使用する場合

[F 3]

[F 4]

[F 5]

[F 6]

a) フランジ穴取付け位置は、下表による。  
(鉄鉄管：JIS R.5ステンレス管・鋼管：JIS 10Kの場合)

口 径	θ	ボルトの呼び径	ボルト数
φ75-100	4.5°	φ75-200	M16
φ150	3.0°	φ250-300	M20
φ200-250	2.2. 5°	φ350-400	M22
φ300-350	1.8°	φ450-600	M24
φ400-500	1.5°	φ700-1100	M30
φ600-700	1.1. 2.5°	10-20A	M12
φ800-900	9°	25-100A	M16
φ1000-1100	7. 5°	125-200A	M20
10-65A	4.5°	250-350A	M22
80-150A	2.2. 5°	400-500A	M24
200-250A	1.5°	550-900A	M30
300-400A	1.1. 2.5°	1000-1200A	M36
450-550A	9°		
600-750A	7. 5°		
800-1000A	6. 4. 2°		
1200A	5. 6. 2. 5°		

1. 分 類

a) 基礎の分類は下記による

記号	形 状
B 1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎
B 2	無筋コンクリート部分等の基礎
B 3	防水層部分の立ち上り基礎
B 4	土木・建築で差し筋のみを施す場合

[B 1]

[B 2]

[B 3]

部 項 目

4. 機 器 基 礎

5. 1. リスト記入  
方 法

特 記 事 項

[B 4]

a) 符号は 1. 一般事項 4. 符号による。  
b) 形状寸法  
1) 貫通孔については、形状寸法を記入する。  
L W  
(例) 400φ 300×500  
2) 埋込管については、形状寸法を記入する。  
L  
(例) 400φ × 800  
3) 基礎については、形状寸法及び仕上り面よりの立ち上り高さを  
記入する。又、B 4無筋コンクリートを抜く場合は、形状寸法  
及び無筋コンクリート厚さを記入する。  
W L H  
(例) 500×400×100  
c) 材料・形式は一印の側に材料を、後に形式を記入する。  
(例) S1- P1-F1 -B1  
d) 床・壁の区分  
1) 壁部分は壁印を、床部分の場合は床印を記入する。  
e) 位置の表示は、下記による。  
1) 壁部分の位置・・・平面は、最寄り通り芯よりの寸法を記入し  
高さは、基準面 (※ TP・YP) へΔA高さを表示とする。  
(例) ②-①B00 ①-①+B. 500  
2) 床部分の位置表示は、最寄り通り芯よりの寸法を記入する。  
(例) ①-②B. 400 ③-③B00  
3) 位置の表示は、それぞれの施工芯表示とする。  
f) 用途には配管系統 (汚水管、脱臭ダクト等) 等を記入する。  
g) 備考には、施工部位、工事区分、その他特記すべき事項を記入する。  
h) その他  
1) 埋込管にフランジを設ける場合は、備考欄に特記する。  
2) 埋込管にフランジ規格の呼び圧力は次の場合を示す。  
鉄鉄管 : JIS 7. 5K  
ステンレス管・鋼管 : JIS 10K  
上記以外は特記する。  
3) 貫通孔に仮壁を設ける場合は備考欄に特記する。  
4) 将来使用する開口については、仮壁、仮壁等を施すものとし、  
備考欄に特記する。

工事年度	令和 7 年	度起工 度完成	第 82594-002 号
工 事 名	速賀川下流浄化センター し原等受入施設築造工事 (2工区) 工事		
路線 河 川 名	線 地区 橋		
工事箇所	中間 市 町 村 郡	大字中底井野 地内	
図 面 名	貫通孔・埋込管・機械基礎リスト (AM・AE)		
縮 尺	S-NONE	図面番号	P-2
事務所名	福岡県流下水下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
			<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>

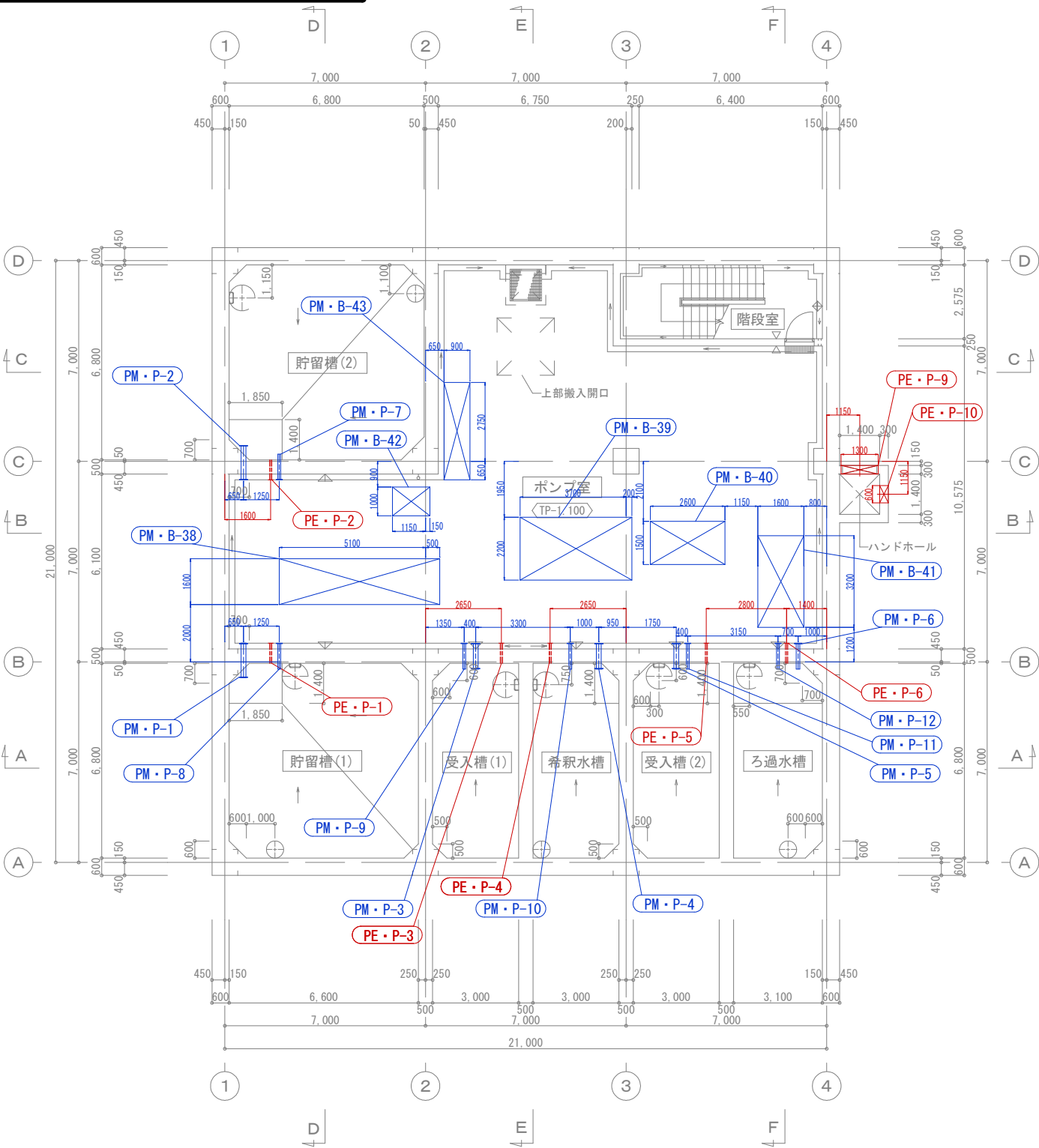
貫通孔、埋込管 及び 機器基礎リスト																			
符 号	形 状 寸 法	壁	床	用 途	材料－形式	位 置			備 考	符 号	形 状 寸 法	壁	床	用 途	材料－形式	位 置			備 考
AM・P- 1	100A × 900L	○	・	排水管	P1 - F3	○→○		③→④	1600	COP▽+2.45						○→○	○→○		
AM・S- 2	500 × 500	・	○	FE-1系統ｸﾞｸﾞ		①→②	3525	③→④	3125							○→○	○→○		
AM・S- 3	500 × 500	・	○	FS-1系統ｸﾞｸﾞ		①→②	3525	③→④	3825							○→○	○→○		
AM・S- 4	350 × 350	○	・	FS-2系統ｸﾞｸﾞ		①→②	4495	③→②	310	COP▽+8.75						○→○	○→○		
AM・S- 5	350 × 350	○	・	FE-2系統ｸﾞｸﾞ		①→②	3420	③→②	310	COP▽+8.75						○→○	○→○		
AM・S- 6	400 × 400	○	・	FS-3系統ｸﾞｸﾞ		②→③	310	①→②	1130	COP▽+8.85						○→○	○→○		
AM・S- 7	400 × 400	○	・	FE-3系統ｸﾞｸﾞ		②→③	310	②→①	650	COP▽+8.85						○→○	○→○		
AM・S- 8	200φ	○	・	HEU-1系統OAｸﾞｸﾞ	S5	②→③	5500	○→○		COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 9	200φ	○	・	HEU-1系統EAｸﾞｸﾞ	S5	②→③	3000	○→○		COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 10	200φ	○	・	HEU-2系統OAｸﾞｸﾞ	S5	○→○		②→③	2000	COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 11	200φ	○	・	HEU-2系統OAｸﾞｸﾞ	S5	③→②	310	②→③	2000	COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 12	200φ	○	・	HEU-2系統EAｸﾞｸﾞ	S5	③→②	310	③→②	2000	COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 13	200φ	○	・	HEU-2系統EAｸﾞｸﾞ	S5	○→○		③→②	2000	COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 14	200φ	○	・	便所EAｸﾞｸﾞ	S5	③→②	2700	○→○		COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 15	125φ	○	・	便所(女)EAｸﾞｸﾞ	S5	②→③	1200	③→④	4190	COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 16	125φ	○	・	便所(女)EAｸﾞｸﾞ	S5	②→③	1200	○→○		COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 17	125φ	○	・	便所(男)EAｸﾞｸﾞ	S5	②→③	800	③→④	1490	COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 18	125φ	○	・	便所(男)EAｸﾞｸﾞ	S5	②→③	800	③→④	2840	COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 19	125φ	○	・	便所(男)EAｸﾞｸﾞ	S5	②→③	800	③→④	4190	COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 20	125φ	○	・	便所(男)EAｸﾞｸﾞ	S5	②→③	800	○→○		COP▽+8.1						○→○	○→○		
AM・S- 21	500 × 500	・	・	FS-1系統ｸﾞｸﾞ		①→②	3525	③→④	3825							○→○	○→○		
AM・S- 22	500 × 500	・	・	FE-1系統ｸﾞｸﾞ		①→②	3525	③→④	3125							○→○	○→○		
AM・S- 23	350 × 350	・	○	FS-2系統ｸﾞｸﾞ		①→②	3450	③→④	2500							○→○	○→○		
AM・S- 24	350 × 350	・	○	FE-2系統ｸﾞｸﾞ		①→②	3450	③→④	1950							○→○	○→○		
AM・S- 25	400 × 400	・	○	FS-3系統ｸﾞｸﾞ		②→③	2000	④→③	1130							○→○	○→○		
AM・S- 26	400 × 400	・	○	FE-3系統ｸﾞｸﾞ		②→③	600	③→④	450							○→○	○→○		
AM・S- 27	550 × 550	・	○	FS-4系統ｸﾞｸﾞ		②→③	1325	④→③	1205							○→○	○→○		
AM・B- 28	400 × 1000	・	○	FS-1送風機	B1	③→②	1400	④→③	2100							○→○	○→○		
AM・B- 29	400 × 1000	・	○	FE-1送風機	B1	②→③	4300	③→④	1750							○→○	○→○		
AM・B- 30	300 × 600	・	○	FS-2送風機	B1	③→②	100	④→③	2200							○→○	○→○		
AM・B- 31	300 × 600	・	○	FE-2送風機	B1	③→②	300	③→④	1850							○→○	○→○		
AM・B- 32	400 × 800	・	○	FS-3送風機	B1	②→③	600	④→③	2100							○→○	○→○		
AM・B- 33	500 × 900	・	○	FE-3送風機	B1	②→③		③→④	1650							○→○	○→○		
AM・B- 34	400 × 1000	・	○	FS-4送風機	B1	②→③	2300	④→③	2100							○→○	○→○		
AM・B- 35	400 × 1000	・	○	FS-5送風機	B1	②→③	3900	④→③	2100							○→○	○→○		
AM・B- 36	400 × 1000	・	○	FE-5送風機	B1	②→③	2500	③→④	1750							○→○	○→○		
						○→○		○→○								○→○	○→○		
AE・S- 1	100φ	・	○	電灯	S5	②→③	475	③→②	750							○→○	○→○		
AE・S- 2	100φ	・	○	コンセント	S5	②→③	475	③→②	950							○→○	○→○		
AE・S- 3	100φ	・	○	動力	S5	②→③	475	③→②	1150							○→○	○→○		
AE・S- 4	100φ	・	○	構内交換	S5	②→③	700	③→②	1700							○→○	○→○		
AE・S- 5	100φ	・	○	拡声	S5	②→③	700	③→②	1900							○→○	○→○		
AE・S- 6	100φ	・	○	火災報知	S5	①→②	1000	③→②	475							○→○	○→○		
AE・S- 7	100φ	・	○	火災報知	S5	①→②	2650	③→④	600							○→○	○→○		

工事年度	令和 7 年 度起工 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）		
路 線 名	線 地区 橋		
工事箇所	中間 大字中底井野 地内		
図 面 名	貫通孔・埋込管・機械基礎リスト (PM)		
縮 尺	S=NONE	図面番号	P-3
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
		査 定	<input type="checkbox"/>

貫通孔、埋込管 及び 機器基礎リスト																				
符 号	形 状 寸 法	壁	床	用 途	材料－形式	位 置			備 考	符 号	形 状 寸 法	壁	床	用 途	材料－形式	位 置			備 考	
PM・P- 1	150A × 1200L	○	・	汚泥引抜管	P1 - F4	○→○	①→②	650	COP▽-0.55	PM・S- 53	φ400	○	・	洗浄排水管		○→○	1450	①→②	500	
PM・P- 2	150A × 1200L	○	・	汚泥引抜管	P1 - F4	○→○	①→②	650	COP▽-0.55	PM・S- 54	φ400	・	○	洗浄排水管		○→○	1450	①→②	1000	
PM・P- 3	150A × 900L	○	・	汚泥引抜管	P1 - F4	○→○	②→③	1750	COP▽-0.5	PM・S- 55	φ100	・	○	ファンドレン管		○→○	2700	②→①	300	
PM・P- 4	150A × 900L	○	・	希釈水管	P1 - F4	○→○	③→②	950	COP▽-0.1	PM・S- 56	φ100	・	○	ファンドレン管		○→○	300	②→①	1000	
PM・P- 5	150A × 900L	○	・	汚泥引抜管	P1 - F4	○→○	③→④	1750	COP▽-0.5	PM・S- 57	φ400	・	○	脱臭ダクト		○→○	2200	②→①	300	
PM・P- 6	125A × 900L	○	・	ろ過水管	P1 - F3	○→○	④→③	1000	COP▽-0.7	PM・S- 58	φ400	・	○	脱臭ダクト		○→○	250	②→①	2800	
PM・P- 7	100A × 900L	○	・	ドレン管	P1 - F3	○→○	①→②	1900	COP▽-0.7	PM・S- 59	φ400	・	○	受入口		○→○	500	②→③	1200	
PM・P- 8	100A × 900L	○	・	ドレン管	P1 - F3	○→○	①→②	1900	COP▽-0.7	PM・S- 60	φ400	・	○	受入口		○→○	500	③→④	2900	
PM・P- 9	100A × 900L	○	・	ドレン管	P1 - F3	○→○	②→③	1350	COP▽-0.7	PM・S- 61	φ500	○	・	脱臭ダクト		○→○		②→①	700	COP▽+8.2
PM・P- 10	100A × 900L	○	・	ドレン管	P1 - F3	○→○	③→②	1950	COP▽-0.7	PM・S- 62	500 × 300	○	・	揚砂管他		○→○		②→①	700	中心▽+7.2
PM・P- 11	100A × 900L	○	・	ドレン管	P1 - F3	○→○	③→④	2150	COP▽-0.7	PM・B- 63	3000 × 1300	・	○	夾雑物除去装置		○→○	500	②→①	1400	シンダー箱抜き
PM・P- 12	100A × 900L	○	・	ドレン管	P1 - F3	○→○	④→③	1700	COP▽-0.7	PM・B- 64	2200 × 2100	・	○	沈砂洗浄機		○→○	1900	①→②	150	シンダー箱抜き
PM・P- 13	125A × 900L	○	・	攪拌管	P1 - F3	○→○	①→②	2300	COP▽+2.7	PM・B- 65	1800 × 1000	・	○	真空ポンプ		○→○	1600	①→②	200	シンダー箱抜き
PM・P- 14	125A × 900L	○	・	攪拌管	P1 - F3	○→○	①→②	2300	COP▽+2.7	PM・B- 66	2500 × 1300	・	○	制御盤		○→○	1900	②→③	20	シンダー箱抜き
PM・P- 15	200A × 900L	○	・	汚泥管	P1 - F3	○→○	①→②	2700	COP▽+2.7	PM・S- 67	φ900	・	○	脱臭ダクト		○→○	900	③→④	3200	
PM・P- 16	200A × 900L	○	・	汚泥管	P1 - F3	○→○	①→②	2700	COP▽+2.7	PM・S- 68	φ900	○	・	脱臭ダクト		○→○	850	○→○		COP▽+12.9
PM・P- 17	150A × 900L	○	・	戻り管	P1 - F3	○→○	①→②	3100	COP▽+2.7	PM・S- 69	φ150		○	空気管		○→○	1200	②→①	200	
PM・P- 18	150A × 900L	○	・	戻り管	P1 - F3	○→○	①→②	3100	COP▽+2.7	PM・S- 70	φ200		○	ろ過水管		○→○	900	②→①	200	
PM・P- 19	80A × 900L	○	・	床排水管	P1 - F3	○→○	①→②	3400	COP▽+2.7							○→○		○→○		
PM・P- 20	80A × 900L	○	・	床排水管	P1 - F3	○→○	①→②	3400	COP▽+2.7							○→○		○→○		
PM・P- 21	200A × 900L	○	・	排水管	P1 - F3	○→○	②→③	2450	COP▽+2.2							○→○		○→○		
PM・P- 22	200A × 900L	○	・	排水管	P1 - F3	○→○	③→④	2800	COP▽+2.2							○→○		○→○		
PM・P- 23	100A × 900L	○	・	戻り管	P1 - F3	○→○	②→③	2850	COP▽+2.2							○→○		○→○		
PM・P- 24	100A × 900L	○	・	戻り管	P1 - F3	○→○	③→④	2400	COP▽+2.2							○→○		○→○		
PM・P- 25	150A × 900L	○	・	希釈水移送管	P1 - F3	○→○	③→②	2050	COP▽+2.7							○→○		○→○		
PM・P- 26	100A × 900L	○	・	希釈水戻り管	P1 - F3	○→○	③→②	2450	COP▽+2.7							○→○		○→○		
PM・P- 27	100A × 900L	○	・	ろ過水移送管	P1 - F3	○→○	③→④	5300	COP▽+2.7							○→○		○→○		
PM・P- 28	150A × 900L	○	・	オーバーフロー管	P1 - F3	○→○	②→①	2200	COP▽+2.7							○→○		○→○		
PM・P- 29	150A × 900L	○	・	オーバーフロー管	P1 - F3	○→○	②→①	2200	COP▽+2.7							○→○		○→○		
PM・P- 30	150A × 900L	○	・	オーバーフロー管	P1 - F3	○→○	②→③	1150	COP▽+2.2							○→○		○→○		
PM・P- 31	150A × 900L	○	・	オーバーフロー管	P1 - F3	○→○	③→②	1150	COP▽+2.7							○→○		○→○		
PM・P- 32	150A × 900L	○	・	オーバーフロー管	P1 - F3	○→○	③→④	2000	COP▽+2.2							○→○		○→○		
PM・P- 33	150A × 900L	○	・	オーバーフロー管	P1 - F3	○→○	③→④	4900	COP▽+2.7							○→○		○→○		
PM・P- 34	150A × 1000L	○	・	希釈汚泥管	P1 - F4	○→○	③→②	3400	COP▽+3.2							○→○		○→○		
PM・P- 35	100A × 1000L	○	・	ろ過水移送管	P1 - F4	○→○	③→②	3000	COP▽+3.2							○→○		○→○		
PM・P- 36	150A × 1000L	○	・	希釈水移送管	P1 - F4	○→○	③→②	2600	COP▽+3.2							○→○		○→○		
PM・P- 37	65A × 1000L	○	・	ろ過水管	P1 - F4	○→○	③→②	2200	COP▽+3.2							○→○		○→○		
PM・B- 38	5100 × 1600	・	○	攪拌ポンプ、汚泥移送ポンプ		○→○	②→③	500	シンダー箱抜き							○→○		○→○		
PM・B- 39	3900 × 2200	・	○	破砕ポンプ		○→○	③→②	3700	シンダー箱抜き							○→○		○→○		
PM・B- 40	2600 × 1500	・	○	希釈水移送ポンプ		○→○	④→③	3550	シンダー箱抜き							○→○		○→○		
PM・B- 41	3200 × 1600	・	○	給水装置		○→○	④→③	800	シンダー箱抜き							○→○		○→○		
PM・B- 42	1300 × 1000	・	○	ブロワ		○→○	②→③	150	シンダー箱抜き							○→○		○→○		
PM・B- 43	2750 × 900	・	○	空気圧縮機		○→○	②→③	650	シンダー箱抜き							○→○		○→○		
PM・S- 44	φ400	・	○	脱臭ダクト		○→○	②→③	850								○→○		○→○		
PM・S- 45	φ400	・	○	脱臭ダクト		○→○	③→④	2250								○→○		○→○		
PM・S- 46	φ300	・	○	揚砂管		○→○	②→③	1900								○→○		○→○		
PM・S- 47	φ300	・	○	揚砂管		○→○	③→④	1800								○→○		○→○		
PM・S- 48	φ400	・	○	し尿管		○→○	②→①	1100								○→○		○→○		
PM・S- 49	φ450	・	○	汚泥管		○→○	①→②	2700								○→○		○→○		
PM・S- 50	φ450	・	○	汚泥管		○→○	①→②	2700								○→○		○→○		
PM・S- 51	φ450	・	○	し尿戻り管		○→○	①→②	3100								○→○		○→○		
PM・S- 52	φ450	・	○	し尿戻り管		○→○	①→②	3100								○→○		○→○		

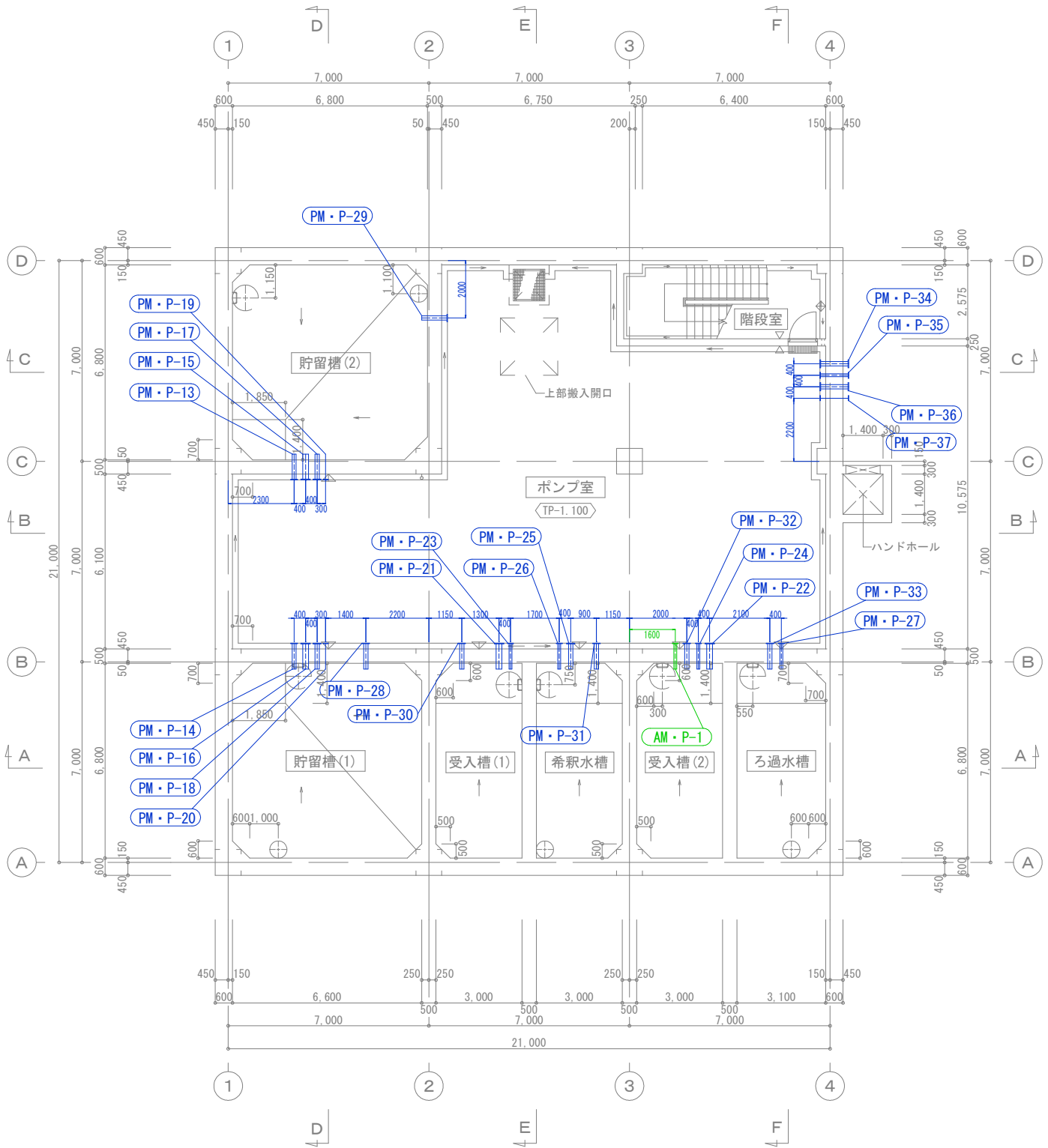
工事年度	令和 7 年	度起工 平成 30 年度	第 82594-002 号
工 事 名	池沼下流浄化センター 池沼系突入施設築造工事（2工区）		
工 務 種	線	地区	橋
路線名	河川	町	内
工事箇所	中間	大字中井野	地
図 面 名	貫通孔・埋込管・機械基礎リスト（PE）		
船 尺	S=NONE	図面番号	P=4
事務所名	福岡県流境下水道事務所		
<input type="checkbox"/> 当 <input type="checkbox"/> 前 <input type="checkbox"/> 次回家受	<input checked="" type="checkbox"/> 当 <input type="checkbox"/> 前 <input type="checkbox"/> 次回家受	<input type="checkbox"/> 当 <input type="checkbox"/> 前 <input type="checkbox"/> 次回家受	<input type="checkbox"/> 査 <input type="checkbox"/> 定

工事年度	令和 7 年		度起工 <del>計画書</del>	第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)			
路 線 名	河 川		線 地区	橋
工事箇所	中間 (市) 町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	地下1階平面図			
縮 尺	S=1:100	図面番号	P-5	
事務所名	福岡県流域下水道事務所			
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>



地下1階平面図 S=1/100

下部

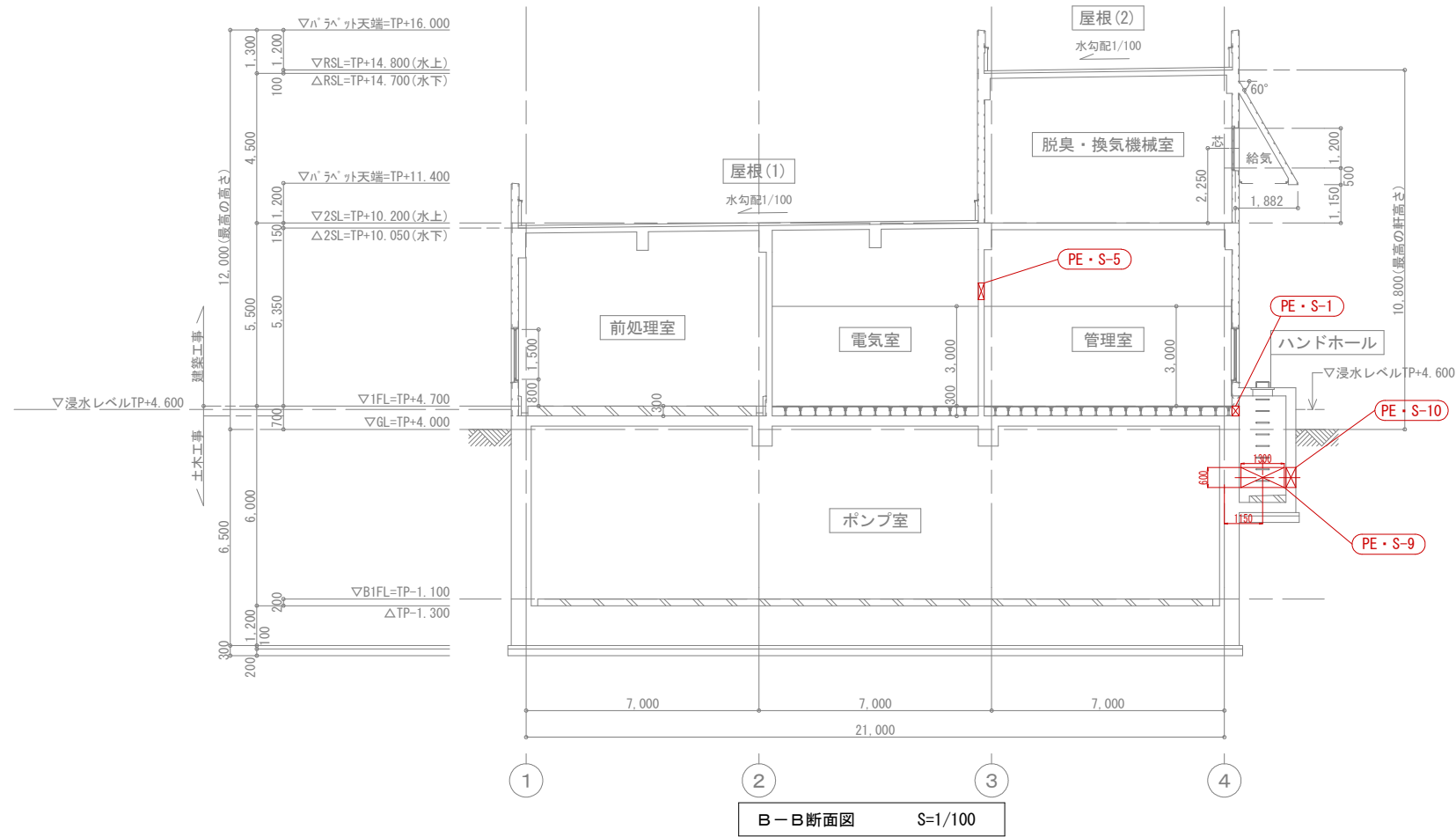
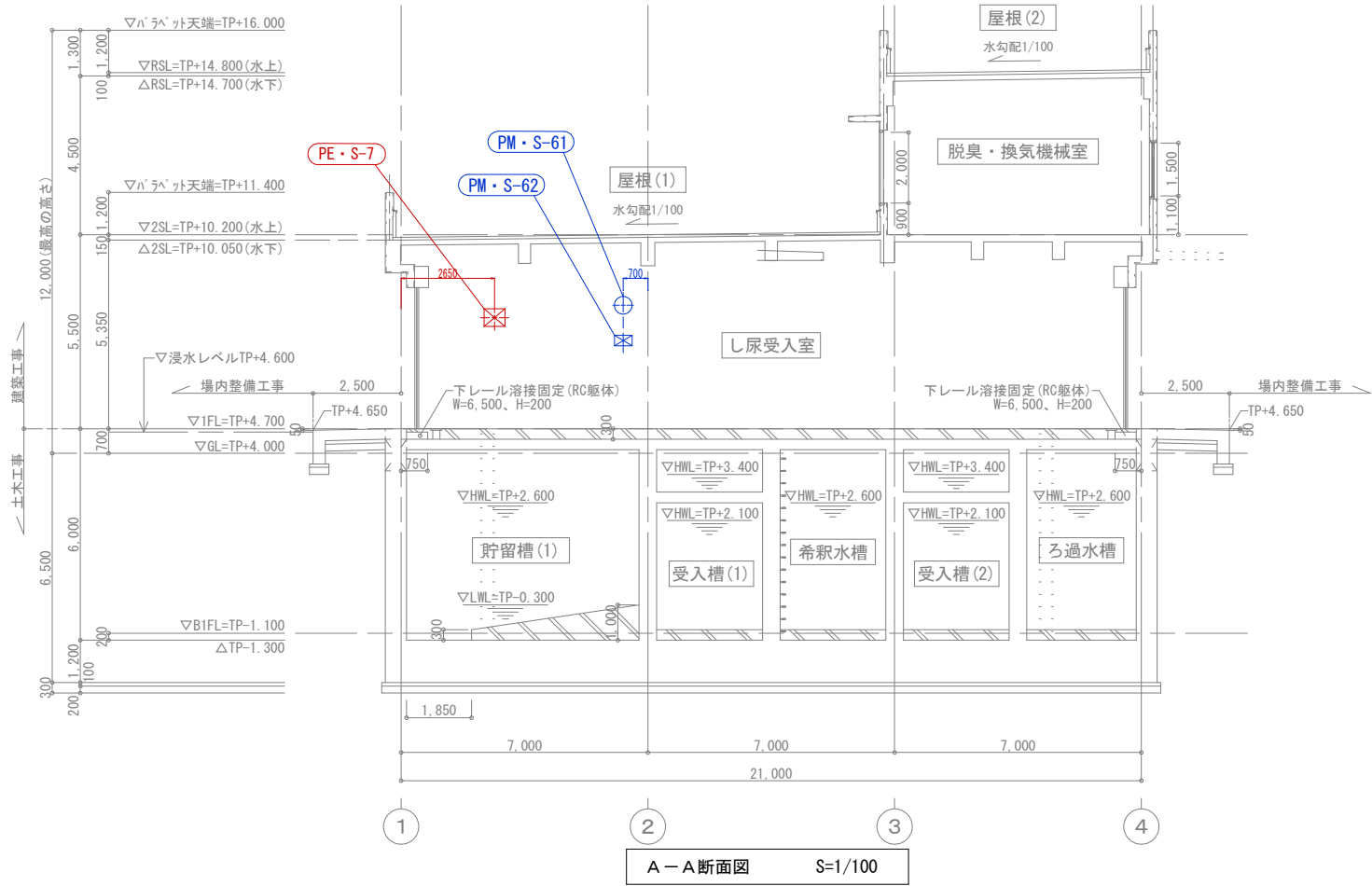


地下1階平面図 S=1/100

上部



工事年度	令和 7 年		度起工 <u>作業</u>	第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）			
路 線 名	線 筋		地区	橋
河 川	市 町 村		大字中底井野 地内	
工事箇所	中間	市 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	A-A B-B断面図			
縮 尺	S=1:100	図面番号	P-7	
事務所名	福岡県流域下水道事務所			
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>



工事年度

令和 7 年

度起工  
※査定

第 82594-002 号

工 事 名

遠賀川下流浄化センター  
し尿等受入施設築造工事（2工区）工事

路 線 名

線 地区 橋

工事箇所

中間(市) 大字中底井野 地内

図 面 名

構造細目共通図（複合構造物）（1）

縮 尺

-

図面番号

S-1

事務所名

福岡県流域下水道事務所

認 可

当 初

実 施

当 初

査 定

可

第 回変更

第 回変更

構 造 細 目 共 通 図（複合構造物）

< 令和4年版 >




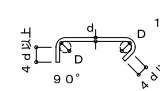
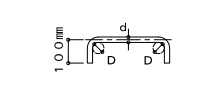
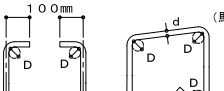




※本図面は（一社）全国上下水道コンサルタント協会が著作権を有するものである。  
使用にあたっては、上記協会への使用願いの提出と、配布番号の記載が必要である。  
枠外右下の【協会員番号】と【配布番号】の記載が無い図面は無効とする。

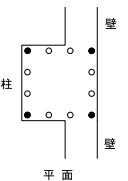
1 特記事項		
1. 1 適用範囲		
(1) 本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の複合構造物に適用する。		
(2) 土木工事と建築工事の区分は図面による。		
(3) 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。		
土木工事	1) 土木工事特記仕様書 2) 土木工事共通仕様書 3) コンクリート標準示方書・施工編 4) コンクリート標準示方書・設計編	全国上下水道コンサルタント協会 国土交通省**地方整備局 土木学会 土木学会 (別紙による。) (令和 年版) ( 2017年版 ) ( 2017年版 )
建築工事	1) 建築工事特記仕様書 2) 建築改修工事特記仕様書 3) 建築工事一般仕様書 4) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 5) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）	(別紙による。) (別紙による。) (令和 年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部 国土交通省大臣官房官庁営繕部 (令和 4 年版) (令和 4 年版)
(4) 項目は、○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※ 印のあるものを適用する。○印と※印のある場合は、共に適用する。		

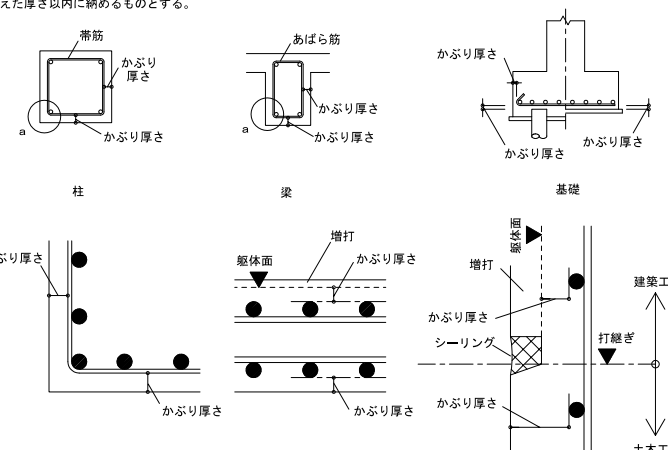
1. 2 鉄筋の仕様			
土木の鉄筋の種類及び継手は1. 2. 1表による。			
建築の鉄筋の種類及び継手は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。			
1. 2. 1表 鉄筋の種類及び継手			
鉄筋の種類	種 別	径	
		土 木	建 築
	SD295		※ D16以下
	※ SD345 ・ SD390 ・ SD490	※ D13以上 ・	
鉄筋の継手	SD345		※ D19以上
	重ね継手	下記以外	
	ガス圧接	※ D19以上の柱、梁主筋 ※ D16以上の増設端の床、壁鉄筋 ・	※ D19以上、D29以下の柱、梁主筋
	機械式継手	・ 図面による。	

1. 3 コンクリートの仕様					
土木のコンクリートの仕様は1. 3. 1表による。					
建築のコンクリートの仕様は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。					
1. 3. 1表 コンクリートの仕様					
分 類		コンクリート種別	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	セメントの種類
土木	鉄筋コンクリート	※ 普通コンクリート ・	※ 24 ・ 30 ・	※ 12 ・	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント
建築	鉄 筋 コン クリ ート	地上	※ 24	※ 18	※ 普通ポルトランドセメント
		地下基礎、基礎梁	※ 24	※ 15	※ 普通ポルトランドセメント
土木	無筋コンクリート	※ 普通コンクリート ・	※ 18 ・	※ 12 ・	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント ・
建築	無筋コンクリート	※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 普通ポルトランドセメント
注1：無筋コンクリートには均しコンクリート、捨てコンクリートを含む。					
1. 4 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリート					
砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの厚さは1. 4. 1表による。					
1. 4. 1表 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの仕様					
部 位		種 別		厚 さ (mm)	
土 木 工 事		砂利または砕石		※ 200 ・	
		均しコンクリート		※ 100	
建 築 工 事		砂利または砕石		※ 60	
		捨てコンクリート		※ 50	

2 共通事項		
2. 1 記号及び符号		
設計図中で使用する記号及び符号は、2. 1. 1表及び2. 1. 2表を標準とする。		
2. 1. 1表 鉄筋の断面表示		
区分	径	D10 D13 D16 D19 D22 D25 D29 D32
建 築	●	× ∅ ● ○ ⊙ ⊗ ⊙
土 木		● 又は建築による。
2. 1. 2表 一般凡例		
記 号 符 号	内 容	※印の説明及び注意事項
F※	フーチング断面種別	※ 番号
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向1、2、3 - - - Y方向A、B、C - - -
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする ※2 階別区分はしない 地中小梁を除く
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1W※2	壁配筋種別	※1 E：耐震壁、K：階段壁 D：土圧、水圧を受ける壁 階別区分はしない ※2 壁厚 (cm)
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 片持床版のみCとする ※2 床版厚 (cm) ※3 配筋種別（英大文字） 階別区分はしない
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A：片持床版形 B：二辺固定床版形 ※2 配筋種別（数字） 階別区分はしない
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚 (cm)
	打ち増し範囲	
	梁・床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの＋、－に 応じた凡例により表示
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値 (kN/m <sup>2</sup> )
STP	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱
S、HOOP	スパイラル筋、らせん筋	柱
幅止め筋	幅止め筋	柱、梁、壁
組立筋	組立て筋	床版、底版

(用語の定義)				
・床版とは、常時荷重及び地震時荷重を負担する主部材をいう。壁式構造のボックスカルバートやラーメン構造の頂版や底版がある。				
・スラブとは、常時荷重のみを負担する梁に支持される副部材をいう。				
2. 2 一般注意事項				
(1) 設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。 変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。				
3 土木工事				
3. 1 鉄筋の折曲げ加工				
鉄筋の折曲げ加工は、3. 1. 1表及び3. 1. 2表を標準とする。				
(1) Dは、折曲げ内法直径を示す。				
(2) dは、鉄筋直径（呼び名）を示す。				
3. 1. 1表 鉄筋曲げ加工（1）				
位 置	曲げ 角度	折曲げ図及び 折曲げ後の余長	曲げ内法 直径	使 用 箇 所
末端部	180°		5d以上	定着末端部
	135°		5d以上	スターラップ、 帯鉄筋、 フープ筋 等
	90°		5d以上	
	90° 135°		5d以上	梁  壁  床版 底版
	90°		5d以上	
	90°		5d以上	幅止め鉄筋
中間部	90°		5d以上	あばら筋、帯筋 スパイラル筋
	θ<90°		10d以上	折曲げ鉄筋
3. 1. 2表 鉄筋曲げ加工（2）				
位 置	曲げ 角度	折曲げ図	曲げ内法 直径	使 用 箇 所
最上階	90°		20d以上	ラーメン隅角部
一般階	90°		5d以上	

3. 2 異形鉄筋の末端部				
異形鉄筋の末端部には、3. 2. 1表によりフックを設ける。				
3. 2. 1表 フックを設ける位置				
部 位		継手方式		備 考
		重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	—	1) 最上階の柱頭	3. 2. 1図の●印 3. 8. 1図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	—	1) 下階の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部	3. 2. 1図の●印 3. 8. 2図参照
	帯筋(HOOP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	3. 9. 1図参照
梁	あばら筋(STP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	3. 12. 1図参照
杭基礎	独立フーチング基礎の底版筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	3. 25. 1図参照
煙突の鉄筋		1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋		—	—	3. 1. 1表参照
				
3. 2. 1図 異形鉄筋の末端部				

3. 3 鉄筋のかぶり及び間隔				
3. 3. 1 かぶり厚さ				
かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋（幅止め筋を除く）の外面から躯体面までの距離（3. 3. 1図）をいう。				
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。				
				
3. 3. 1図 鉄筋のかぶり厚さ				

3. 3. 2 最小かぶり厚さ				
最小かぶり厚さは、3. 3. 1表による。				
床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。				
3. 3. 1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)				
※ 通常の施工の場合				
環境	部 位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底版・フーチング
	大気中	50	50	—
		水中・土中等	50	70
・ 塩害対策地域の施工の場合				
対策区分	環境	部 位	床版・スラブ・梁	柱・壁
	大気中		70	70
I	水中・土中等		70	70
	大気中		70	70
II、III	水中・土中等		70	70
1：部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を得る。				
2：杭基礎の底版・フーチング下端筋のかぶり厚さは、7. 杭基礎の補強を参照する。				
(注)梁：大梁、小梁、基礎梁、片持梁をいう。				

工事年度	令和 7 年度起工 災害査定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事				
路 線 名	線 筋 地 区				橋
工事箇所	中間 市 郡	町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	構造細目共通図（複合構造物）（2）				
縮 尺	-	図面番号	S-2		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

### 3 土木工事

#### 3. 4 鉄筋相互のあき

##### 3. 4. 1 梁・壁・床版

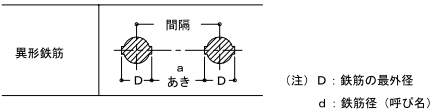
鉄筋相互のあきは、下記（１）、（２）、（３）の最大値以上とする。

- （１）粗骨材の最大寸法の 4/3 倍
- （２）最小のあき 2 5 mm
- （３）隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の 1. 5 倍

##### 3. 4. 2 柱

鉄筋相互のあきは、下記（１）、（２）、（３）の最大値以上とする。

- （１）粗骨材の最大寸法の 4/3 倍
- （２）最小のあき 4 0 mm
- （３）隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の 1. 5 倍



3. 4. 1 表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径（mm）		鉄筋相互のあき：a			最小鉄筋芯間隔	
鉄筋径 d	最外径 D	（１） 粗骨材径×4/3倍	（２） 最小あき	（３） 鉄筋径×1.5	（梁） a＋D	（柱） a＋D
D 13	14	3 3 mm 粗骨材 最大径 2 5 mm の場合	梁：2 5 mm 柱：4 0 mm	2 0 mm	4 7 mm	5 4 mm
D 16	18			2 4 mm	5 1 mm	5 8 mm
D 19	2 1			2 9 mm	5 4 mm	6 1 mm
D 2 2	2 5			3 3 mm	5 8 mm	6 5 mm
D 2 5	2 8			3 8 mm	6 6 mm	6 8 mm
D 2 9	3 3			4 4 mm	7 7 mm	7 7 mm

#### 3. 5 鉄筋の継手及び定着

##### 3. 5. 1 継手長及び定着長の基本

（１）鉄筋の重ね継手長さは 3. 5. 1 表、定着の長さは 3. 5. 2 表による。

- ① 本表の適用は、鉄筋種類 S D 3 4 5、鉄筋径 D 13～D 3 2 とする。
- ② 定着長は折曲げ加工後の直線部分で確保する。
- ③ 壁、床版、底版の主鉄筋の中心間隔が 1 0 0 mm 未満の場合は、別途図示による。

3. 5. 1 表 鉄筋の重ね継手長さ

鉄筋の 種 類	鉄筋径	設計基準強度	S <sub>1</sub> ：重ね継手長			
			鉄筋中心間隔 2 0 0 mm 以上	1 0 0 mm 以上 2 0 0 mm 未満	フックなし	フックあり
S D 3 4 5	D 1 6 以下	2 4 以上 2 7 未満 (N/mm <sup>2</sup> )	4 0 ・ d	3 0 ・ d	5 0 ・ d	4 0 ・ d
	D 1 9 ～ D 2 2		4 5 ・ d	3 5 ・ d	6 0 ・ d	5 0 ・ d
	D 2 5 ～ D 3 2		5 0 ・ d	4 0 ・ d	6 5 ・ d	5 5 ・ d

3. 5. 2 表 鉄筋の定着長さ

鉄筋の 種 類	鉄筋径	設計基準強度	S <sub>2</sub> ：定着長		S <sub>3</sub> ：定着長		S <sub>4</sub> ：定着長	
			フックなし	フックあり	フックなし	フックあり	フックなし	フックあり
S D 3 4 5	D 1 6 以下	2 4 以上 2 7 未満 (N/mm <sup>2</sup> )	4 0 ・ d	3 0 ・ d	3 5 ・ d	2 5 ・ d	3 5 ・ d	2 5 ・ d
	D 1 9 ～ D 2 2		5 0 ・ d	4 0 ・ d	4 0 ・ d	3 0 ・ d	3 5 ・ d	2 5 ・ d
	D 2 5 ～ D 3 2		6 0 ・ d	5 0 ・ d	4 5 ・ d	3 5 ・ d	3 5 ・ d	2 5 ・ d

（２）S<sub>2</sub>・S<sub>3</sub>・S<sub>4</sub> の適用区分を以下に記す。

S<sub>2</sub>：（最上層）大梁上端、基礎梁上端、床版（壁構造）、床版上端（ラーメン構造）、底版。

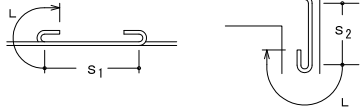
S<sub>3</sub>：柱、壁、（中間層）大梁上端、大梁下端、床版下端（ラーメン構造）、基礎梁下端。

S<sub>4</sub>：小梁、スラブ（地震力を受けない部材）。

（３）径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。

（４）継手は相互にずらすことを原則とする。

（５）フックのある場合の継手長及び定着長には、3. 5. 1 図に示すようにフック部分 L を含まない。

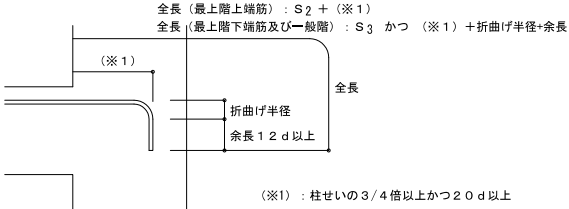


3. 5. 1 図 フックのある場合の継手及び定着要領

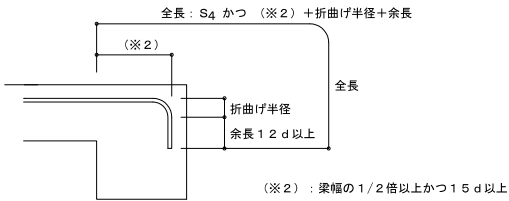
##### 3. 5. 2 継手の特記事項

- （１）継手は極力応力の小さい位置に設ける。
- （２）異なる径の鉄筋をガス圧接する場合、鉄筋径の差が 5 mm を超える圧接をしてはならない。

##### 3. 5. 3 梁主筋の柱内定着



3. 5. 2 図 梁主筋の柱内定着要領



3. 5. 3 図 小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ定着要領

#### 3. 6 隣り合う継手の位置

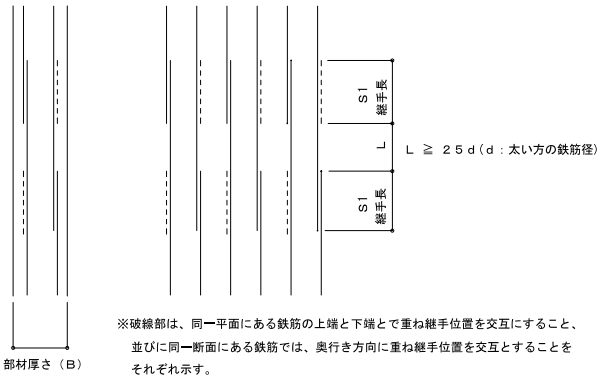
##### 3. 6. 1 鉄筋の重ね継手

（１）同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。

（２）ずらす距離（L）は、太いほうの鉄筋径の 2 5 倍以上とする。

（３）前記（２）を確保できない場合等は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。

（４）継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。



3. 6. 1 図 重ね継手工法

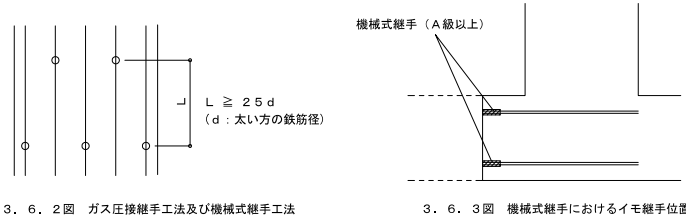
##### 3. 6. 2 鉄筋のガス圧接および機械式継手

鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」（土木学会）による。

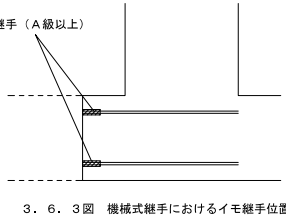
機械式継手は、ねじふし鉄筋継手工法とする。また、ねじふし鉄筋工法以外の機械式継手を

採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。

- （１）同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。
- （２）ガス圧接の場合のずらす距離（L）は、太い方の鉄筋径の 2 5 倍以上とする。
- （３）機械式継手の場合のずらす距離（L）は、太いほうの鉄筋径の 2 5 倍以上とする。
- （４）機械式継手をイモ継ぎ部に使用する場合は、構造計算等により当該箇所に塑性ヒンジが発生しないことを確認する必要がある。施工上やむを得ず機械式継手によるイモ継ぎとなる場合は、継手部が所要の耐震性を有していることを、適切な実験や解析等で照査しなければならない。詳細は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」（土木学会）」による。



3. 6. 2 図 ガス圧接継手工法及び機械式継手工法



3. 6. 3 図 機械式継手におけるイモ継手位置

#### 3. 7 継手及び圧接中心位置（柱、大梁）

継手及び圧接中心位置は図面でない場合は、3. 7. 1 図による。

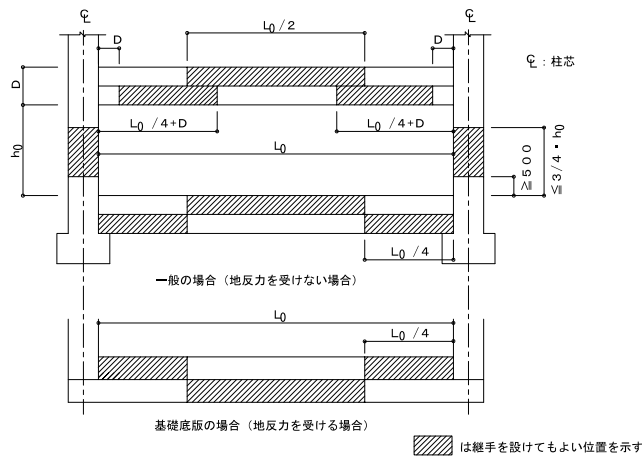
（１）柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から 5 0 cm 以上、1 5 0 cm 以下かつ

（２）梁の継手及び圧接中心位置は下記による。

上端筋 中央：L<sub>0</sub>/2 以内

下端筋 両端：柱面より梁せい（D）以上離し、L<sub>0</sub>/4 を加えた範囲以内

（３）通常の応力と異なる場合の継手位置は、3. 7. 1 図によらず図面による。



3. 7. 1 図 継手及び圧接中心位置

#### 3. 8 柱筋の継手及び定着

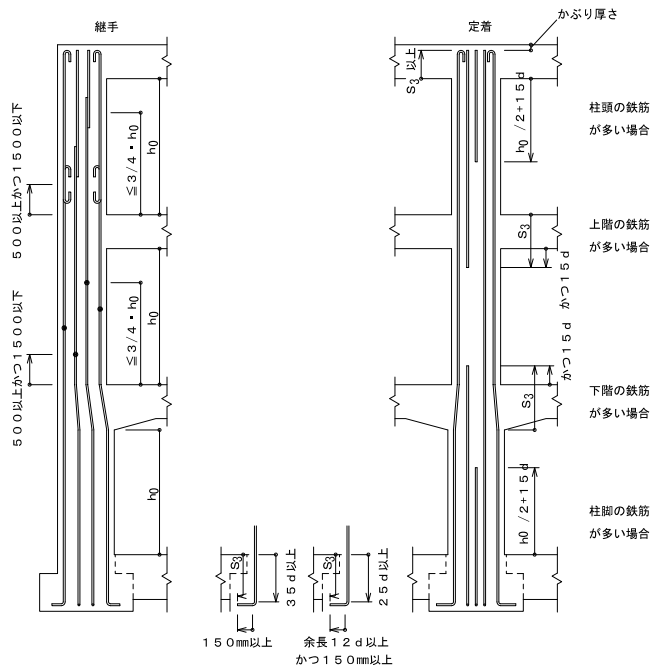
##### 3. 8. 1 一般事項

（１）継手長さは S<sub>1</sub> とし、定着及び余長は、3. 8. 1 図による。

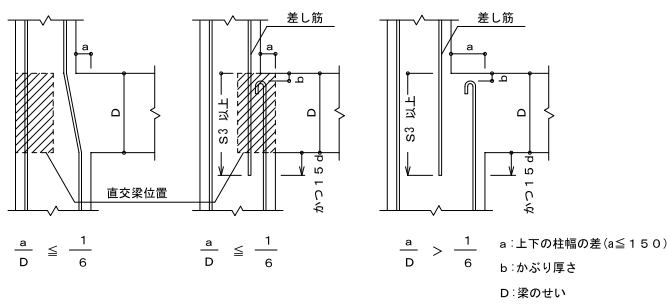
（２）柱頭定着長さ S<sub>3</sub> が確保出来ない場合は、図面による。

（３）上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、3. 8. 2 図による。

（４）柱脚定着長さ 2 5 d（余長 1 2 d 以上）または 3 5 d が確保出来ない場合は、図面による。



3. 8. 1 図 柱主筋の継手、定着及び余長

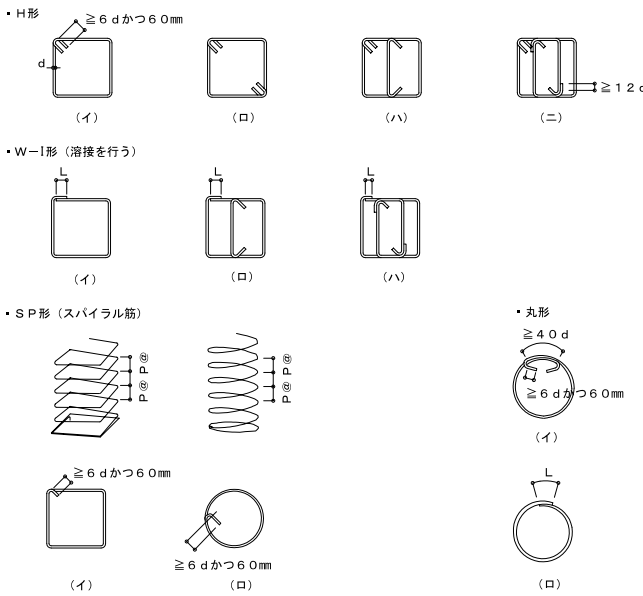


3. 8. 2 図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

#### 3. 9 帯筋の形状

（１）帯筋の形状は、3. 9. 1 図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。

- H 形とする。
- H 形の 1 3 5° 曲げのフックが困難な場合は、W-1 形とする。
- 溶接する場合の溶接長さ L は、両面フレア溶接の場合は 5 d 以上、片面フレア溶接の場合は 1 0 d 以上とし、組立前に行う。
- S P 形において、柱頭及び柱脚の端部は、1. 5 巻以上の添巻きを行う。



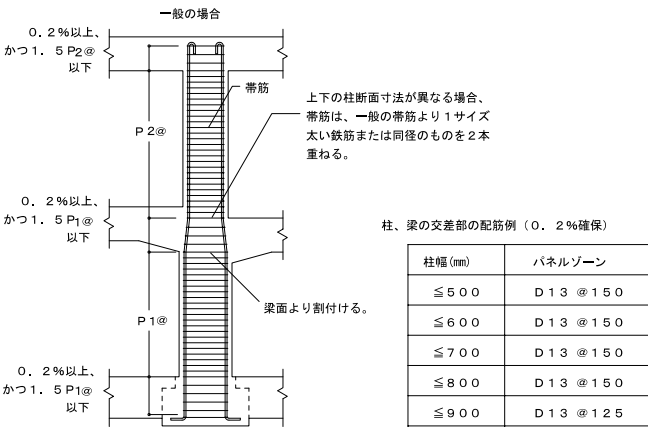
3. 9. 1 図 帯筋組立の形

#### 3. 10 帯筋の割付け

（１）フック及び継手の位置は交互とする。

（２）帯筋の割付けは、3. 1 0. 1 図による。ただし、図面にある場合は図面による。

（３）柱、梁の交差部（パネルゾーン）の帯筋のせん断補強比は、0. 2 % 以上を確保し、補強筋間隔は 1. 5 P 以下とする。



3. 1 0. 1 図 帯筋の割付け

柱、梁の交差部の配筋例（0. 2 % 確保）

柱幅（mm）	パネルゾーン
≤ 5 0 0	D 1 3 @ 1 5 0
≤ 6 0 0	D 1 3 @ 1 5 0
≤ 7 0 0	D 1 3 @ 1 5 0
≤ 8 0 0	D 1 3 @ 1 5 0
≤ 9 0 0	D 1 3 @ 1 2 5
≤ 1 0 0 0	D 1 3 @ 1 2 5
≤ 1 1 0 0	D 1 3 @ 1 0 0
≤ 1 2 0 0	D 1 3 @ 1 0 0

※ 1. 5 P<sub>1</sub>、1. 5 P<sub>2</sub> のピッチは 1 5 0 mm 以下とする。

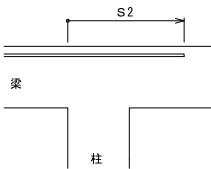
工事年度	令和 7 年度起工 災害査定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事				
路 線 名	緑 地 区				橋
河 川					
工事箇所	中間 市 郡	町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	構造細目共通図（複合構造物）（3）				
縮 尺	-	図面番号	S-3		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

### 3 土木工事

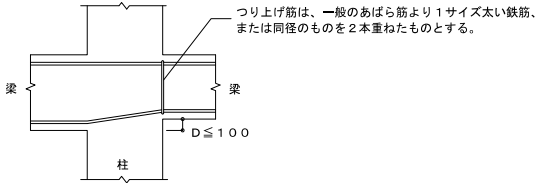
#### 3. 1. 1 大梁筋の継手及び定着

##### 3. 1. 1. 1 一般事項

- （1）継ぎ手長さ、定着長さ及び余長は、3. 1. 1. 1 図から3. 1. 1. 10 図による。
- （2）梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数のときは柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、3. 5. 2 図のように柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、3. 1. 1. 1 図による。
- （3）梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。  
下端筋：原則として曲げ上げる。  
上端筋：曲げ下ろす  
梁主筋のみ込み長さは、柱せいの3/4倍以上かつ20d以上を確保する。（※1）  
梁主筋の柱内定着は、3. 5. 2 図による。
- （4）梁にハンチをつける場合、その傾斜は図面による。図面になければ1：4とする。
- （5）印は、継ぎ手及び余長を示す。
- （6）破線は柱内定着の場合を示す。
- （7）3. 2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋にはフックをつける。
- （8）段違い梁は3. 1. 1. 2 図による。



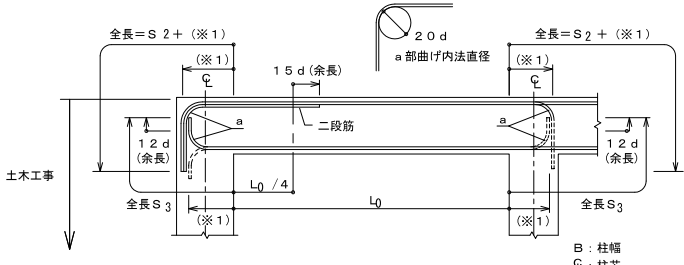
3. 1. 1. 1 図 梁主筋を梁内定着



3. 1. 1. 2 図 段違い梁

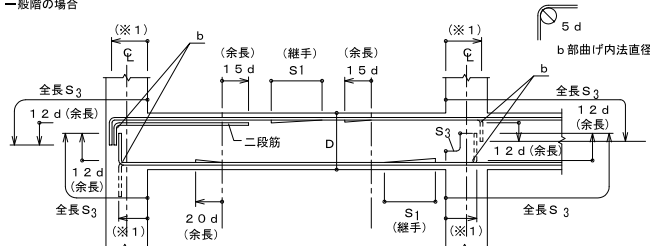
##### 3. 1. 1. 2 ハンチのない場合

###### （1）最上階の場合

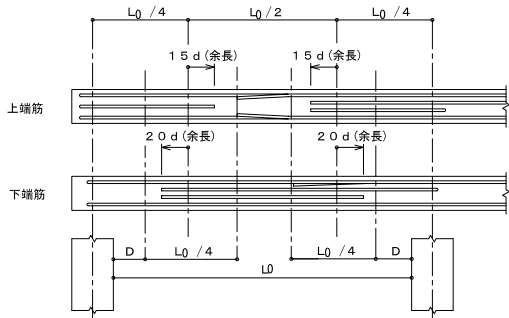


3. 1. 1. 3 図 大梁の重ね継手、定着及び余長（最上階）

###### （2）一般階の場合



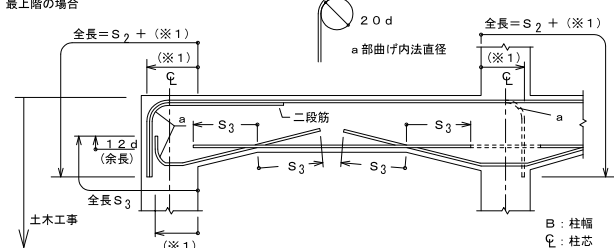
3. 1. 1. 4 図 大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その1）



3. 1. 1. 5 図 大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その2）

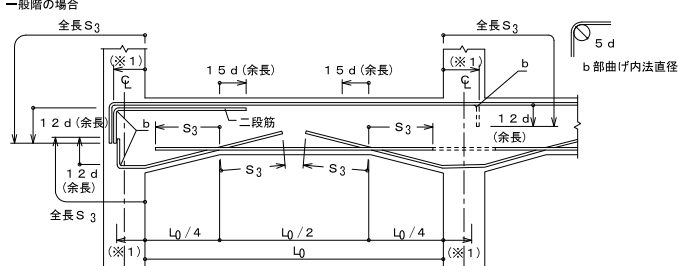
##### 3. 1. 1. 3 ハンチのある場合

###### （1）最上階の場合



3. 1. 1. 6 図 ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階）

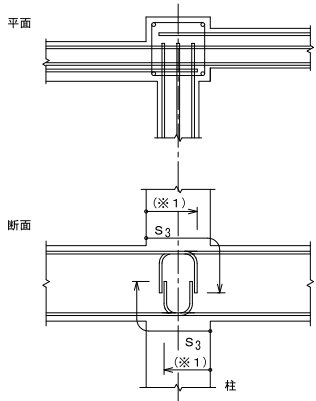
###### （2）一般階の場合



3. 1. 1. 7 図 ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階）

##### 3. 1. 1. 4 水平段差のある場合

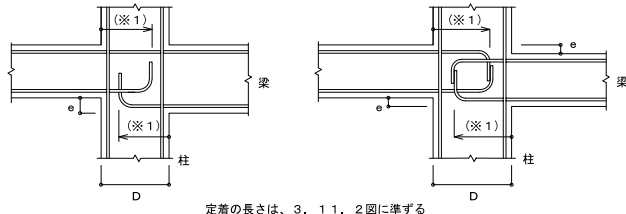
###### （1）水平段差のある場合



3. 1. 1. 8 図 大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

##### 3. 1. 1. 5 鉛直段差（e）のある場合

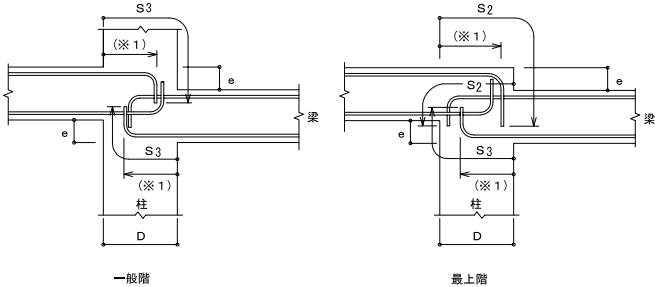
###### （1）e/D ≤ 1/6 の場合



定着の長さは、3. 1. 1. 2 図に準ずる

3. 1. 1. 9 図 鉛直段差梁（その1）

###### （2）e/D > 1/6 の場合



3. 1. 1. 10 図 鉛直段差梁（その2）

#### 3. 1. 2 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

##### 3. 1. 2. 1 一般事項

- （1）腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- （2）壁梁の場合、腹筋の継手長さはS<sub>1</sub>、定着長さをS<sub>3</sub>とする。
- （3）土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- （4）幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D13～1000mmピッチ程度とする。
- （5）破線は柱内定着の場合を示す。

##### 3. 1. 2. 2 あばら筋組立の形及びフックの位置

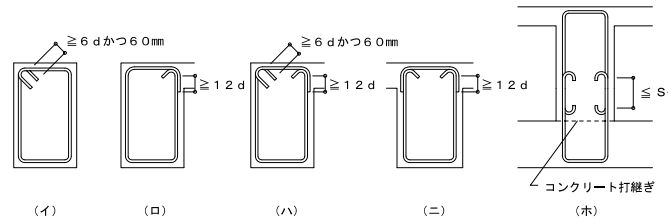
###### （1）形は、3. 1. 2. 1 図（イ）を標準とする。

ただし、（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。

- a. 床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ）
- b. 床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ）

###### （2）フックの位置

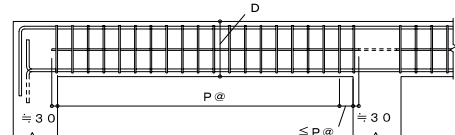
- a. （イ）の場合は交互とする。
- b. （ロ）の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側、床版が両側に付く場合は交互
- c. （ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げる。
- d. （ホ）は梁の上下にスラブが付く場合で、かつ梁せいが1.5m以上の場合に適用することが出来る。（基礎梁）



3. 1. 2. 1 図 あばら筋組立の形及びフックの位置

##### 3. 1. 2. 3 あばら筋の割付け

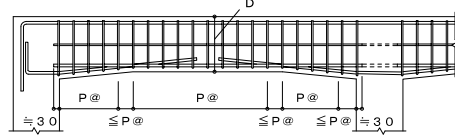
###### （1）間隔が一樣でハンチのない場合



※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3. 1. 2. 2 図 あばら筋の割付け（その1）

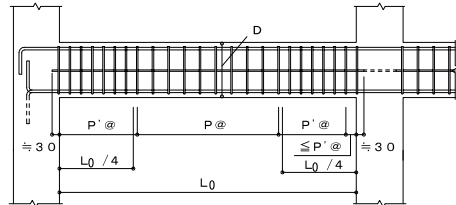
###### （2）間隔が一樣でハンチのある場合



※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3. 1. 2. 3 図 あばら筋の割付け（その2）

###### （3）梁の端部で間隔の異なる場合



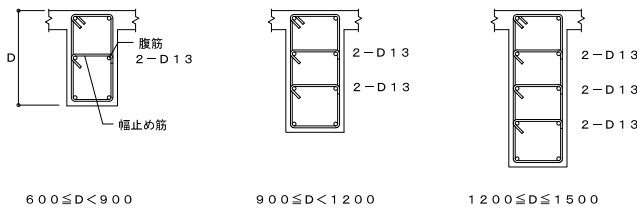
※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3. 1. 2. 4 図 あばら筋の割付け（その3）

##### 3. 1. 2. 4 腹筋及び幅止め筋

###### （1）一般の梁

###### a) 腹筋及び幅止め筋



3. 1. 2. 5 図 腹筋及び幅止め筋

###### （2）特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

工事年度	令和 7 年度起工 災害査定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事				
路 線 名	緑 筋		地区	橋	
工事箇所	中間 市 郡	町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	構造細目共通図（複合構造物）（4）				
縮 尺	-	図面番号	S-4		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

### 3 土木工事

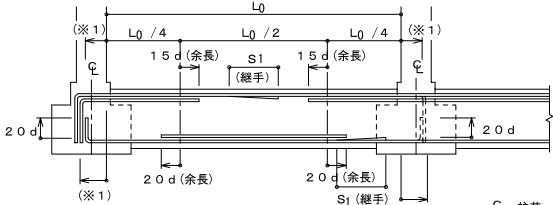
#### 3. 1 3 基礎梁及び底版の継手及び定着

##### 3. 1 3. 1 一般事項

- 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は柱内に定着する。やむを得ず梁内に定着する場合は、3. 1 1. 1 図に準ずる。
- 梁筋を柱内に定着する場合は、3. 1 1. 1（3）による。
- 柱幅＜梁幅の場合の定着は、3. 1 3. 3 図による。
- 印は、継ぎ手及び余長を示す。
- 破線は柱内定着の場合を示す。
- 図内（※1）は、3. 1 1. 1 による。

##### 3. 1 3. 2 基礎梁の場合

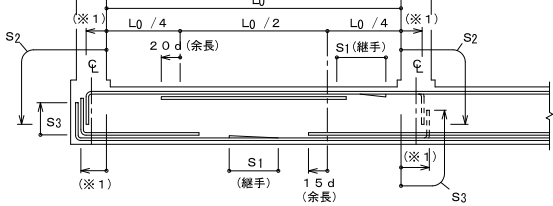
###### （1）基礎梁の継手及び定着



3. 1 3. 1 図 主筋の継手、定着及び余長（その1）

##### 3. 1 3. 3 連続基礎及びべた基礎の場合

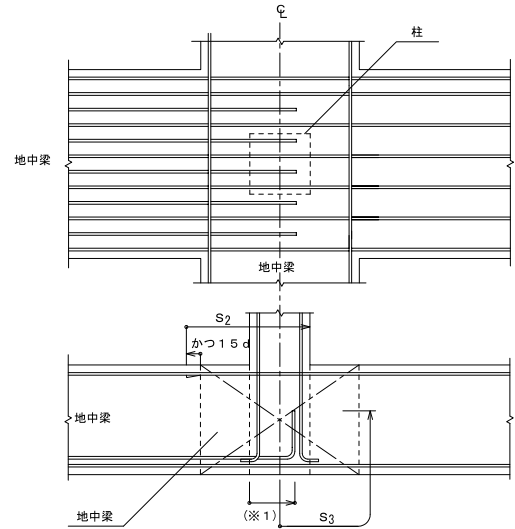
###### （1）柱幅≧梁幅の場合



3. 1 3. 2 図 主筋の継手、定着及び余長（その2）

###### （2）柱幅＜梁幅の場合

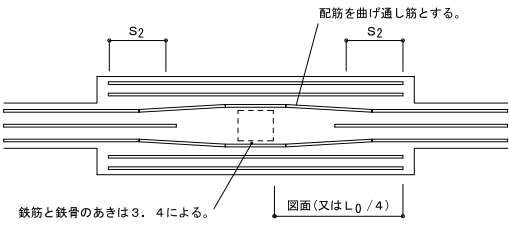
- 交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。



3. 1 3. 3 図 主筋の継手、定着及び余長（その3）

#### 3. 1 3. 4 梁形を設けない場合の基礎底版

- 鉄骨造のB〇X柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



3. 1 3. 4 図 主筋の継手、定着及び余長（その4）

#### 3. 1 4 小梁及び片持梁の配筋要領

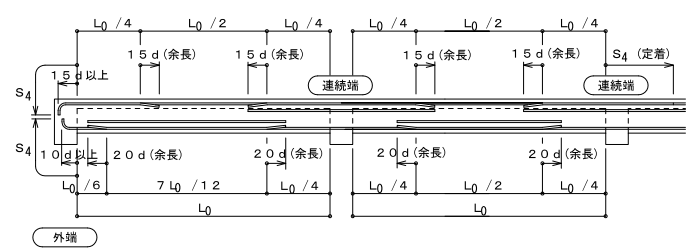
##### 3. 1 4. 1 一般事項

- 図面にはない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
- 印は、余長位置を示す。

##### 3. 1 4. 2 小 梁

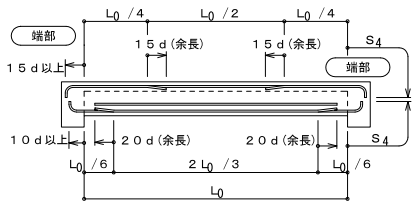
梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長が取れない場合、斜めにしてもよい。

###### （1）連続小梁の場合



3. 1 4. 1 図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1）

###### （2）単独小梁の場合

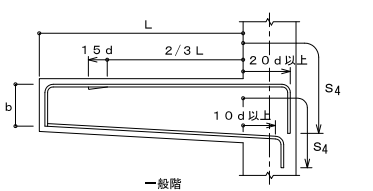


3. 1 4. 2 図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2）

##### 3. 1 4. 3 片持梁筋の定着

###### （1）先端に小梁のない場合

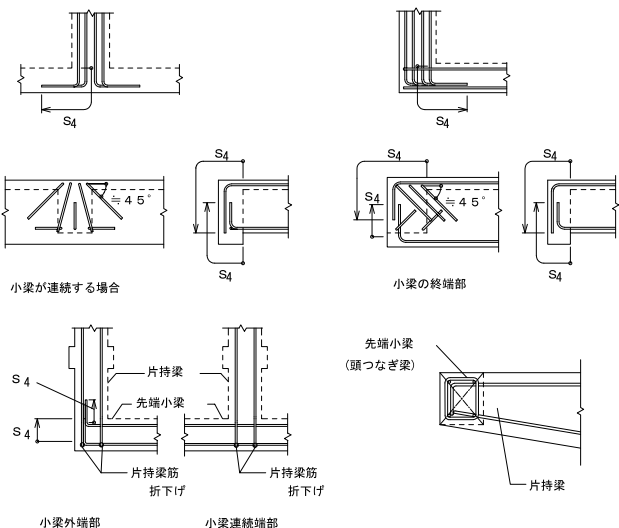
- 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



3. 1 4. 3 図 片持梁主筋の定着及び余長（先端に小梁がない場合）

###### （2）先端に小梁がある場合

- 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
- 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

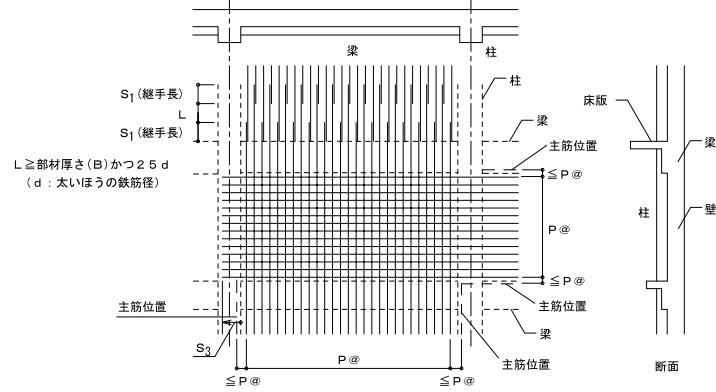


3. 1 4. 4 図 片持梁主筋の定着

#### 3. 1 5 壁の配筋要領

##### 3. 1 5. 1 一般事項

- 壁配筋の継手長さをS1、定着の長さは、S3とする。
- 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さをS1、定着長さをS2とする。
- 幅止め筋は、縦、横ともD13～φ1000mmを標準とする。
- 一般部壁筋は、3. 1 5. 1 図によることとし、隣接する壁の鉄筋と重ね継手を設ける場合は、3. 6 項に従うものとする。



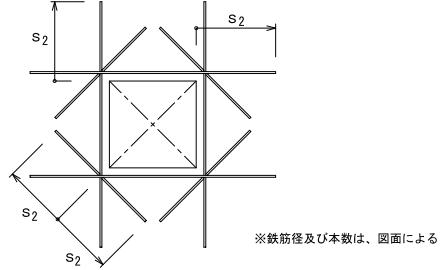
3. 1 5. 1 図 壁の配筋

##### 3. 1 5. 2 耐震壁の開口

- 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
- やむを得ず開口をあける場合は、構造上安全であることを構造計算によって確認すること。

##### 3. 1 5. 3 壁開口部の補強

- 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、3. 1 5. 2 図を標準とする。



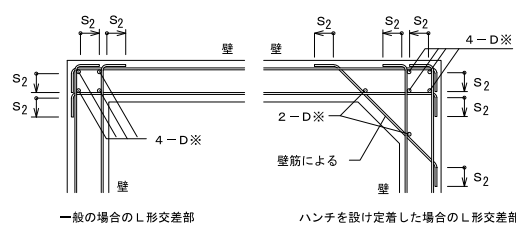
3. 1 5. 2 図 壁開口部の補強要領

- 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

#### 3. 1 5. 4 壁の交差部及び端部

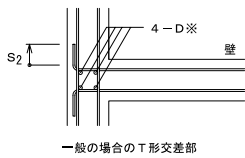
- 壁と壁の交差部は3. 1 5. 3 図による。

- 交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配力筋と同径とする。



一般の場合のL形交差部

ハンチを設け定着した場合のL形交差部



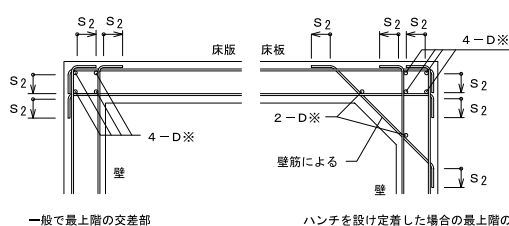
一般の場合のT形交差部

※ハンチ筋を設ける場合の配筋は、図面に指示がない場合はS2を省略し、ハンチ筋は直筋とすることができる。図面に指示がある場合は、曲げ加工後に定着長S2を確保する。定着長S2は、いずれの場合も曲げ加工後の直線部にて確保する。

3. 1 5. 3 図 壁と壁の交差部及び端部の配筋

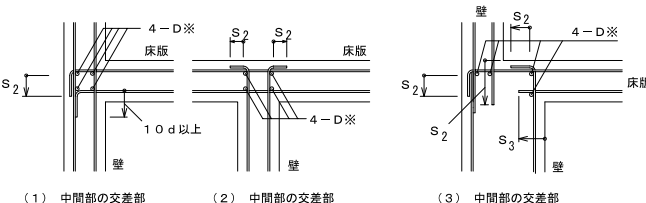
- 壁と床版の交差部は3. 1 5. 4 図による。

- 交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配力筋と同径とする。



一般で最上階の交差部

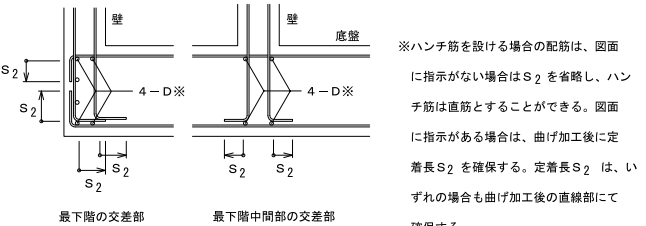
ハンチを設け定着した場合の最上階の交差部



（1）中間部の交差部

（2）中間部の交差部

（3）中間部の交差部



最下階の交差部

最下階中間部の交差部

※ハンチ筋を設ける場合の配筋は、図面に指示がない場合はS2を省略し、ハンチ筋は直筋とすることができる。図面に指示がある場合は、曲げ加工後に定着長S2を確保する。定着長S2は、いずれの場合も曲げ加工後の直線部にて確保する。

3. 1 5. 4 図 壁と床の交差部及び端部の配筋

※3. 1 5. 4 図は、柱梁構造の場合である。地下階が壁式構造の場合は、構造細目共通図（土木構造物）（2）の「6. 1. 4 壁と床版・底版の交差部」を参照のこと。

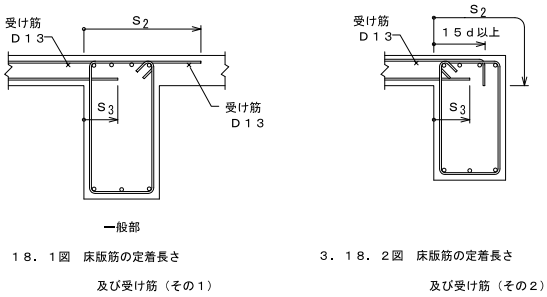
工事年度	令和 7 年度起工 災害査定 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事		
路 線 名	緑 地 区 橋		
河 川			
工事箇所	中間 市 郡 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	構造細目共通図（複合構造物）（5）		
縮 尺	-	図面番号	S-5
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更

### 3 土木工事

#### 3.18 床の配筋要領

##### 3.18.1 一般事項

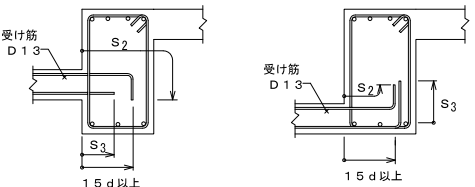
- 鉄筋の継手長さは、 $S_1$  とする。
- ラーメン構造の床版の定着長さ及び受け筋は、3.18.1図による。ただし、引き通すことができない場合は、3.18.2図、3.18.3図により梁内に定着する。  
なお、スラブ筋の場合は、3.18.1図～3.18.3図の定着長さ $S_2$ 、 $S_3$  を、 $S_4$  と読み替える。
- 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。  
図面になければ3.20.5図による。



一般部

3.18.1図 床版筋の定着長さ  
及び受け筋（その1）

3.18.2図 床版筋の定着長さ  
及び受け筋（その2）

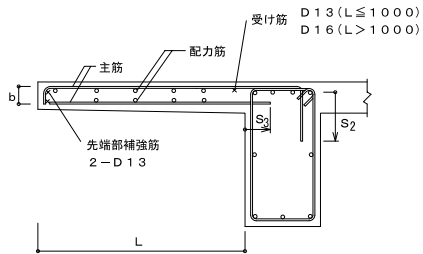


一般床版

3.18.3図 床版筋の定着長さ及び受け筋（その3）

##### 3.18.2 片持床版

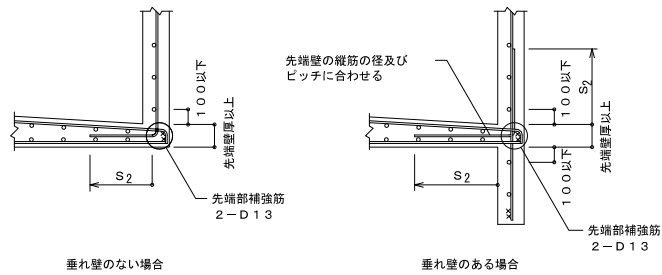
###### (1) 片持床版の配筋



※片持スラブの場合は、3.18.4図及び3.18.5図の定着長さ $S_2$ 、 $S_3$  を、 $S_4$  と読み替える。  
※先端の折り曲げ長さらは、片持部材の厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。  
※床版に段差のない場合は、主筋を引き通して床版またはスラブに定着してもよい。

3.18.4図 片持床版の配筋

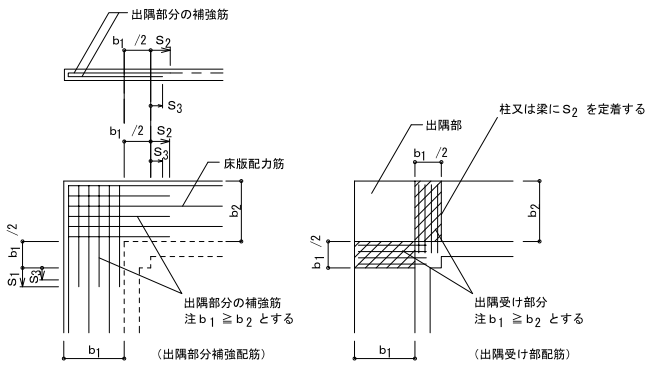
###### (2) 先端に小梁がなく壁が取り付く場合



3.18.5図 先端に壁が付く場合の配筋

##### 3.18.3 出隅部の配筋方法

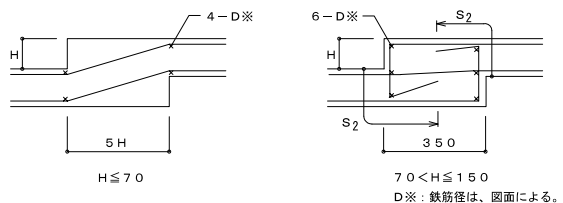
- 補強の配筋は図面による。配筋方法は、3.18.6図による。特記にない場合は、 $D13@100$ ダブル程度とする。
- 出隅受け部分（図のハッチ部分）の配筋は、図面（幅は $b_1/2$ とする）による。
- 片持スラブの場合は、3.18.6図の定着長さ $S_2$ 、 $S_3$  を、 $S_4$  と読み替える。



3.18.6図 片持床版出隅部の補強配筋

##### 3.18.4 段差床版の補強

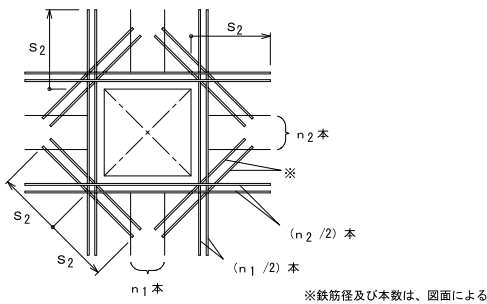
- 同一床版に段差がある場合、3.18.7図の補強を行う。ただし、 $H>150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。
- 段差スラブの場合は、3.18.7図の定着長さ $S_2$ 、 $S_3$  を、 $S_4$  と読み替える。



3.18.7図 段差のある床版の補強配筋

##### 3.18.5 床版及びスラブ開口部の補強

- 開口の最大径 $\leq 700$ の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する（3.18.8図）。  
開口の最大径 $> 700$ の場合は図面による。

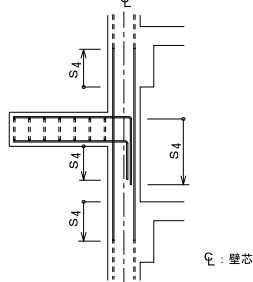


3.18.8図 床版及びスラブ開口部の補強配筋

- 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋を出来る場合は、補強筋を省略することができる。

#### 3.19 階段の配筋要領

- 壁配筋は、図面による。
- 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。



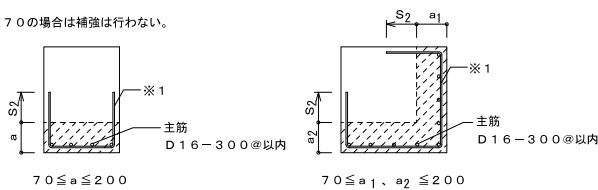
3.19.1図 片持スラブ形階段配筋の定着

#### 3.20 柱及び梁の増し打ち要領

##### 3.20.1 柱

- 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.1図による。

ただし、 $a<70$ の場合は補強は行わない。



※1. 帯筋と同径・同ピッチとする。

3.20.1図 柱の増し打ち補強配筋

- 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。

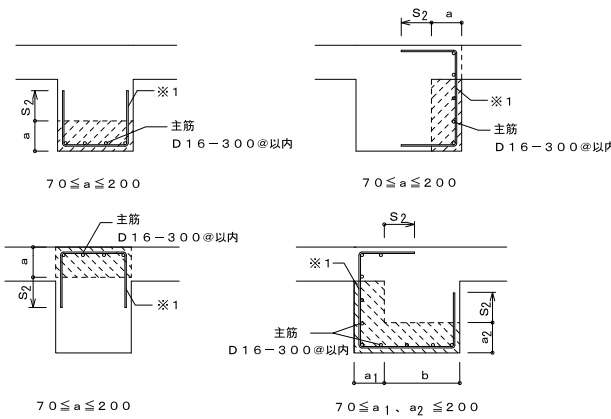
- 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、 $S_2$  以上とする。

- 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

##### 3.20.2 梁

- 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.2図による。ただし、 $a<70$ の場合、補強は

行わない。



※1. あばら筋と同径・同ピッチとする。

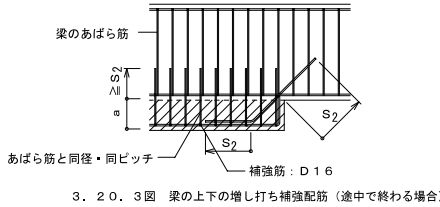
3.20.2図 梁の増し打ち補強配筋

- 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。

- 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 $S_2$  以上とする。

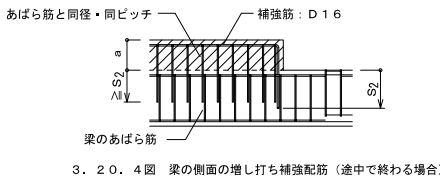
- 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。

- 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.3図 梁の上下の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）

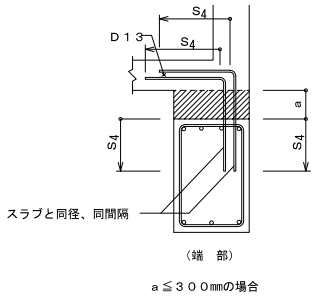
- 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.4図 梁の側面の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）

##### 3.20.3 土間スラブの打継ぎ補強

- 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合。



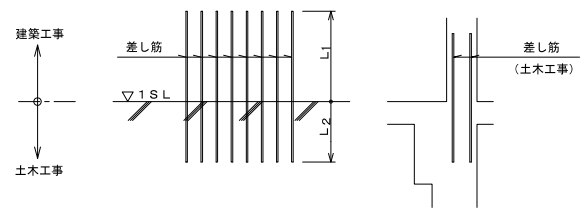
3.20.5図 土間スラブの打継ぎ補強配筋（ダブル）

#### 3.21 土木部分と建築部分の取り合い

##### 3.21.1 壁縦筋の取り合い

- 差し筋の仕様は建築工事仕様とする。（径は図面による）

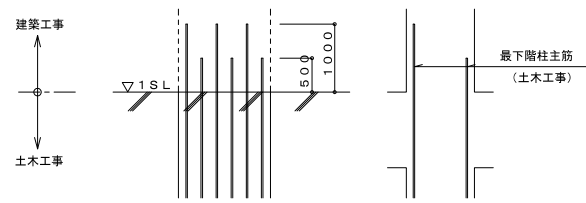
- $L_1$  及び $L_2$  は4.5.1表による。



3.21.1図 壁縦筋の取り合い差し筋

##### 3.21.2 柱主筋の取り合い

- 最上部の柱主筋は、1階建築部分の柱断面に応じ、3.21.2図の圧接位置まで延ばすこと。

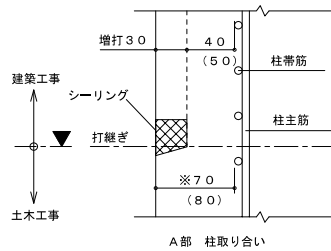
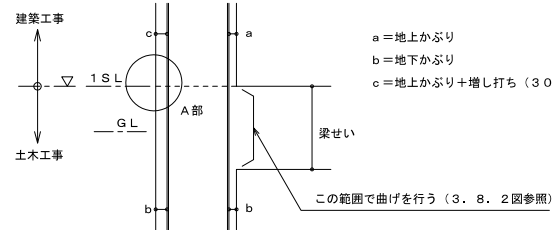


3.21.2図 柱主筋の取り合い差し筋

##### 3.21.3 柱主筋かぶり厚の取り合い

- 土木工事の外壁に面する柱主筋のかぶりは、3.3.1表によらず、

- 3.21.3図による。



3.21.3図 柱主筋かぶり厚の取り合い

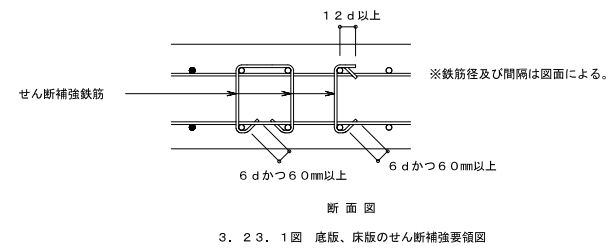
工事年度	令和 7 年度起工 災害査定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事				
路 線 名	緑 筋 地区				橋
河 川 名					
工事箇所	中間 市 郡 町 村	大字中底井野 地内			
図 面 名	構造細目共通図（複合構造物）（6）				
縮 尺	-	図面番号	S-6		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

3 土木工事

3. 2 3 セン断補強鉄筋

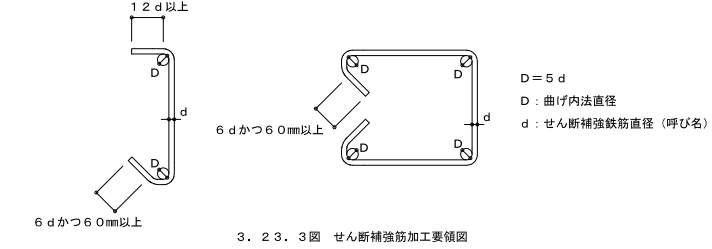
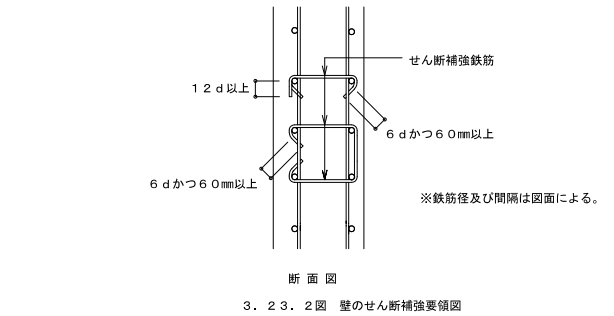
3. 2 3. 1 底板、床版

（1）底板、床版のせん断補強要領は3. 2 3. 1図及び3. 2 3. 3図による。



3. 2 3. 2 壁

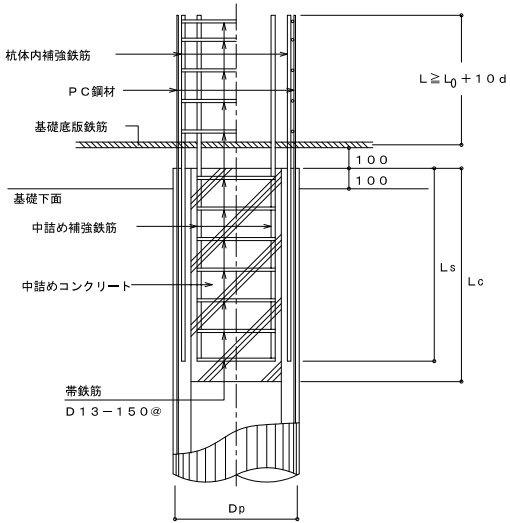
（1）壁のせん断補強要領は3. 2 3. 2図及び3. 2 3. 3図による。



3. 2 4 杭基礎の補強

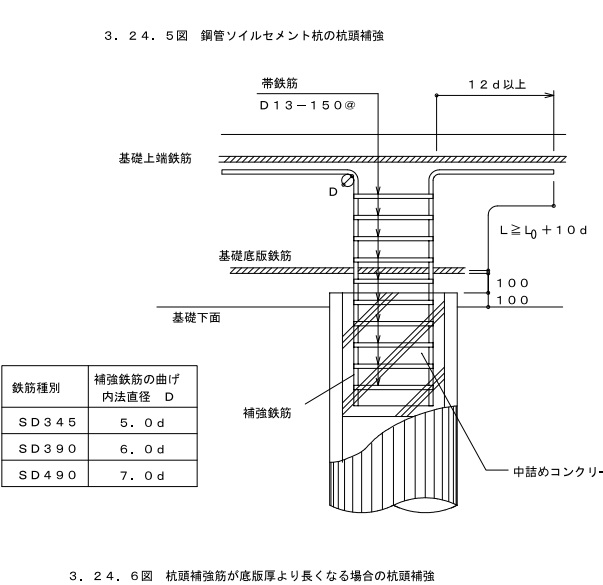
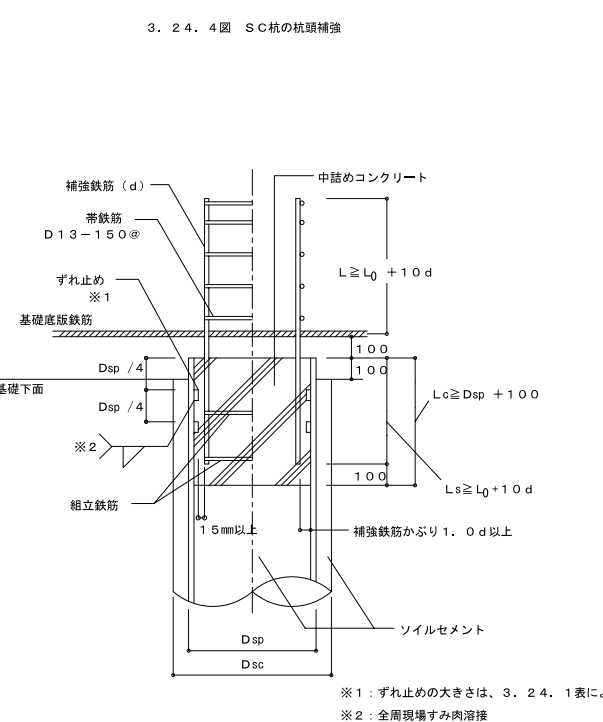
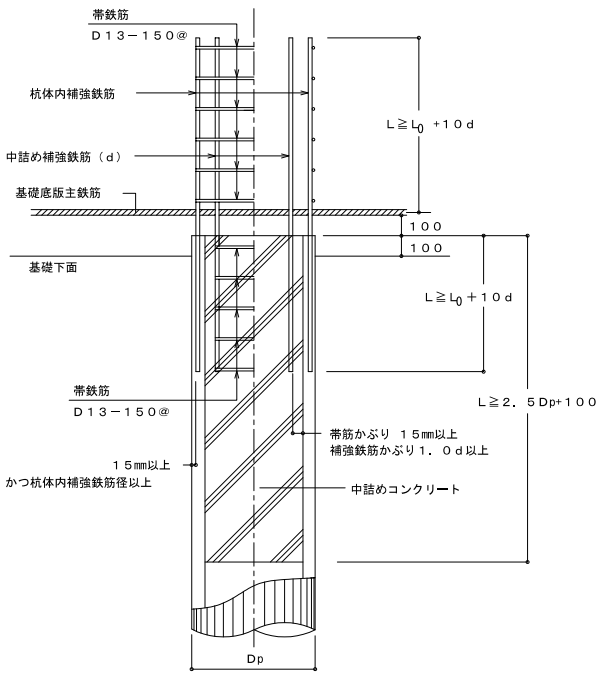
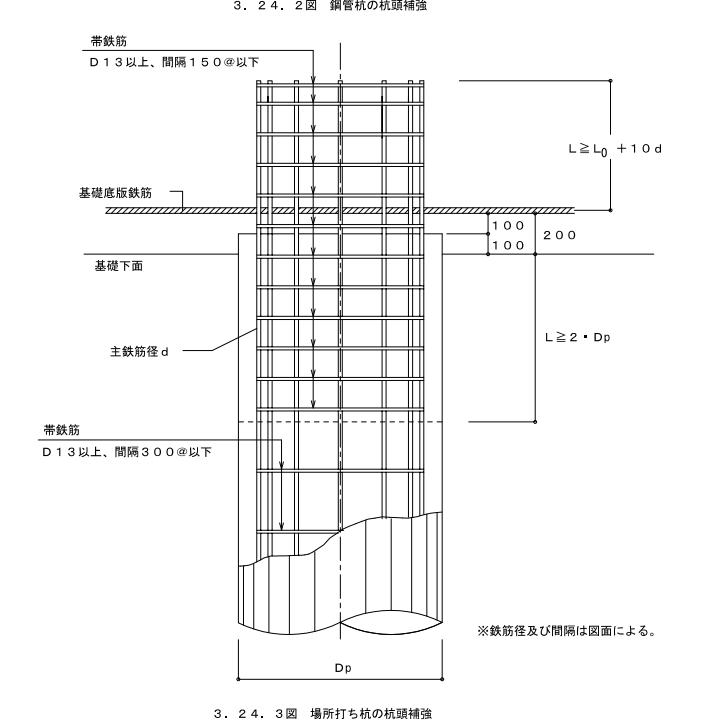
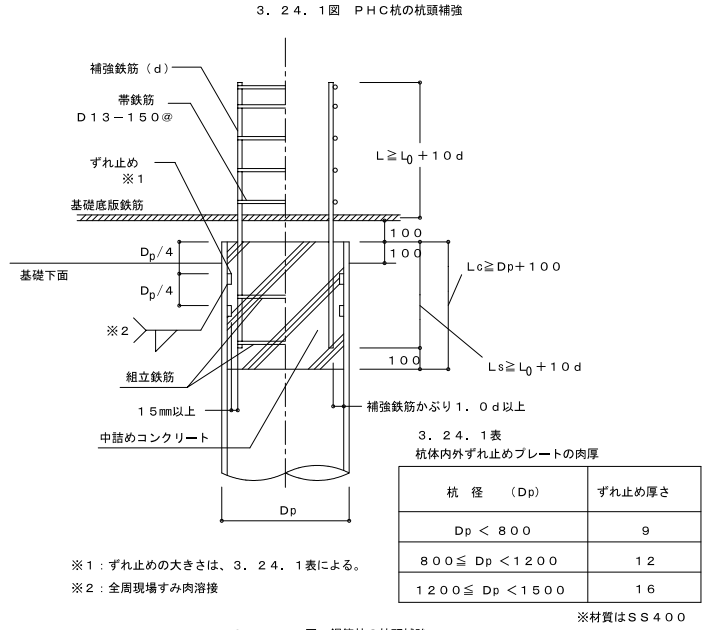
3. 2 4. 1 一般事項

- （1）補強鉄筋にSD390またはSD490を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底板コンクリートの設計基準強度を30N/mm<sup>2</sup>以上とする。
- （2）鉄筋種別、径・本数は、図面による。
- （3）杭基礎の補強鉄筋の定着長L<sub>0</sub>は、主筋の材質がSD345およびSD390では35d以上、SD490では41d以上とする。
- （4）杭頭補強鉄筋が底板厚より長くなる場合は、3. 2 4. 6図による。
- （5）杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。



杭頭処理形態		Type B
カットオフする場合	鉄筋	$L_s \geq 50\phi + L_0 + 10d$
	コンクリート	$L_c \geq 2.5Dp + 100$ 、かつ $50\phi + L_0 + 10d +$ （かぶり100）
カットオフしない場合	鉄筋	$L_s \geq L_0 + 10d$
	コンクリート	$L_c \geq 2.5Dp + 100$ 、かつ $L_0 + 10d +$ （かぶり100）

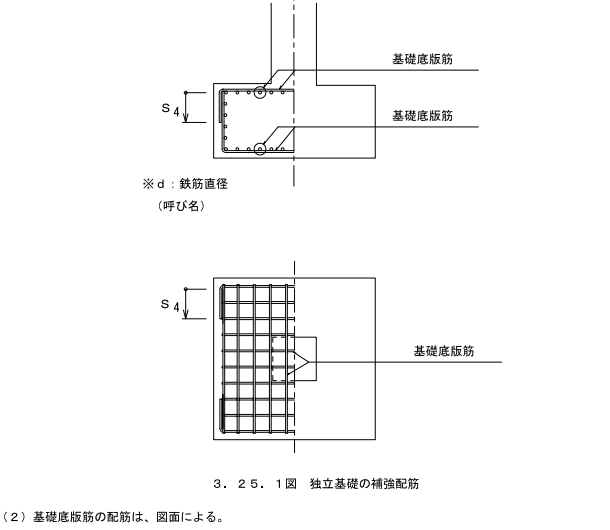
注1.  $\phi$ は、PC鋼材径とする。



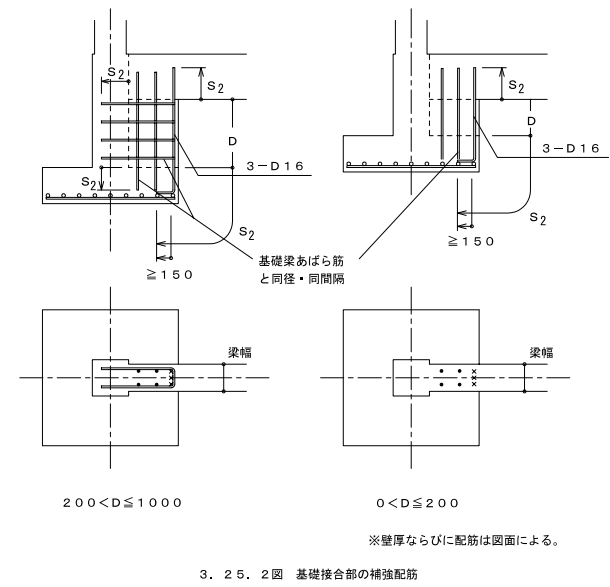
3. 2 5 独立基礎の補強

3. 2 5. 1 フーチングの補強

（1）補強方法は図面による。

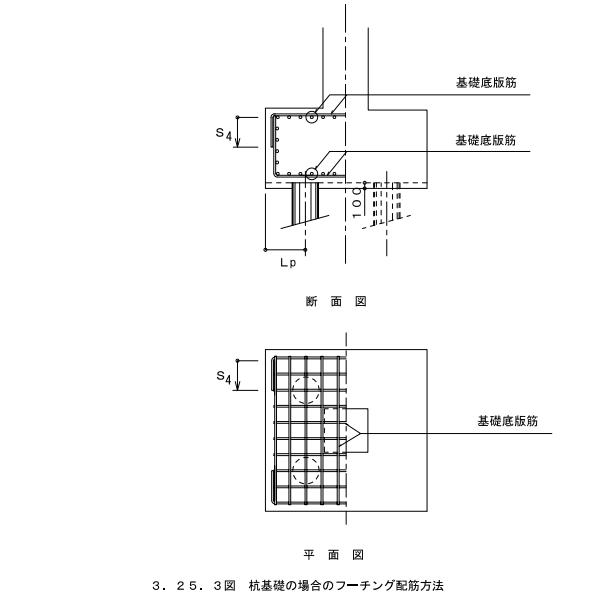


3. 2 5. 2 基礎接合部の補強



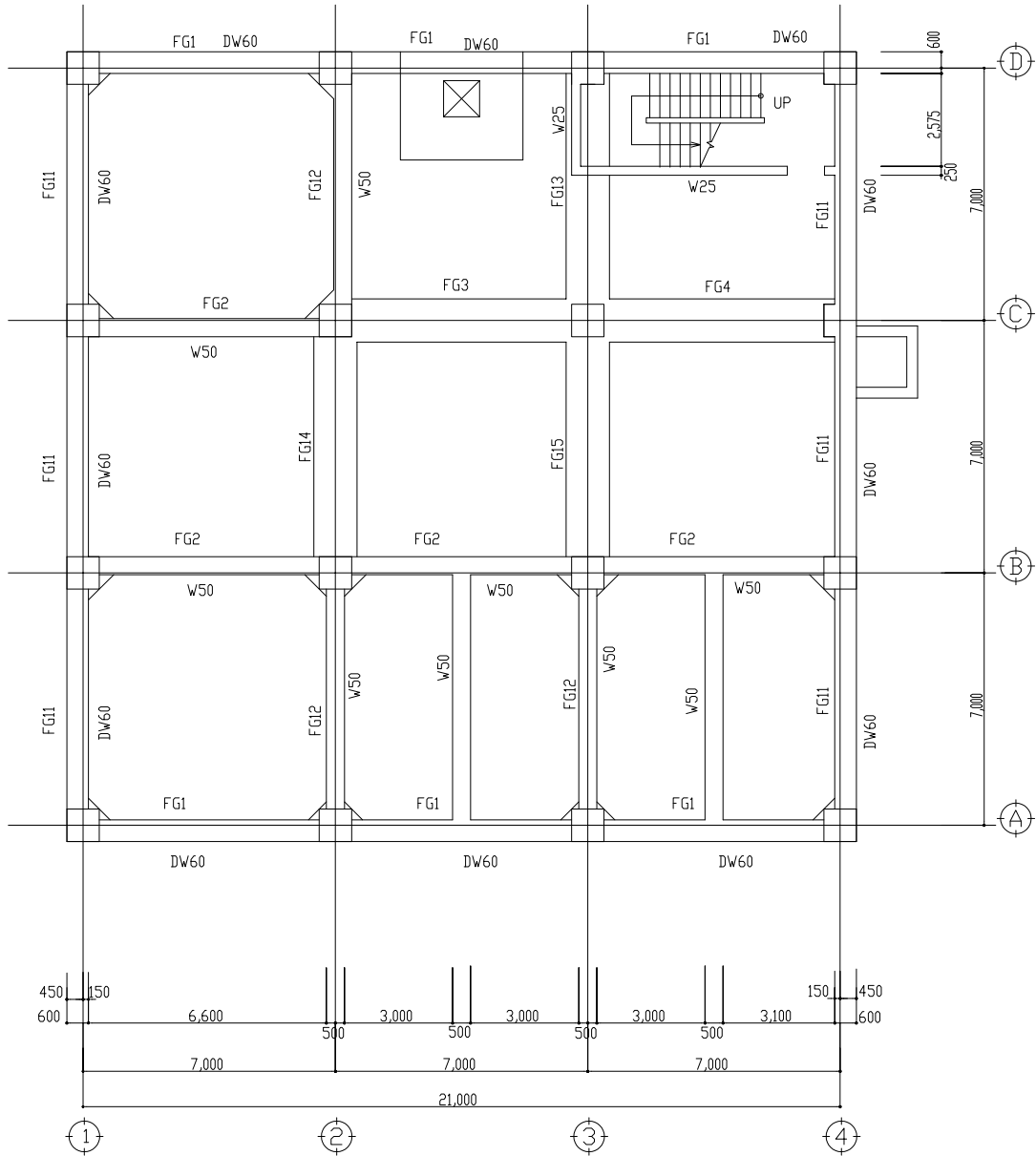
3. 2 5. 3 杭基礎の場合のフーチング配筋方法

- （1）杭基礎の場合のフーチング配筋方法は、3. 2 5. 3図とする。
- （2）杭頭処理の方法は、3. 2 4項に基づくものとする。
- （3）杭芯とフーチング外端面との距離（L<sub>p</sub>）は、場所打ち杭、打込み杭、埋め込み杭は1.0D（Dは杭径）以上とする。





工事年度	令和 7 年度起工事 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事		
路 線 名	線 地区 橋		
河 川 名	筋 地区 橋		
工事箇所	中間 (市) 大字中底井野 地内		
図 面 名	B 1 階・1 階平面図		
縮 尺	S=1:100	図面番号	S-15
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
			<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>



B 1 階 伏図(見下げ) 1:100

特記の外

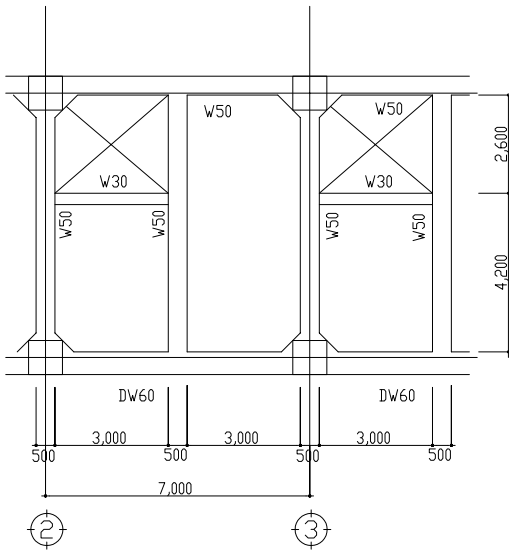
壁 ; W25 スラブ ; FS1

スラブ天端は B1FL-200 とし [±0000] で示す。

梁天端は B1FL-200 とし (±0000) で示す。

設計GL=+4.000とする。

片持ちスラブのレベルは意匠図による

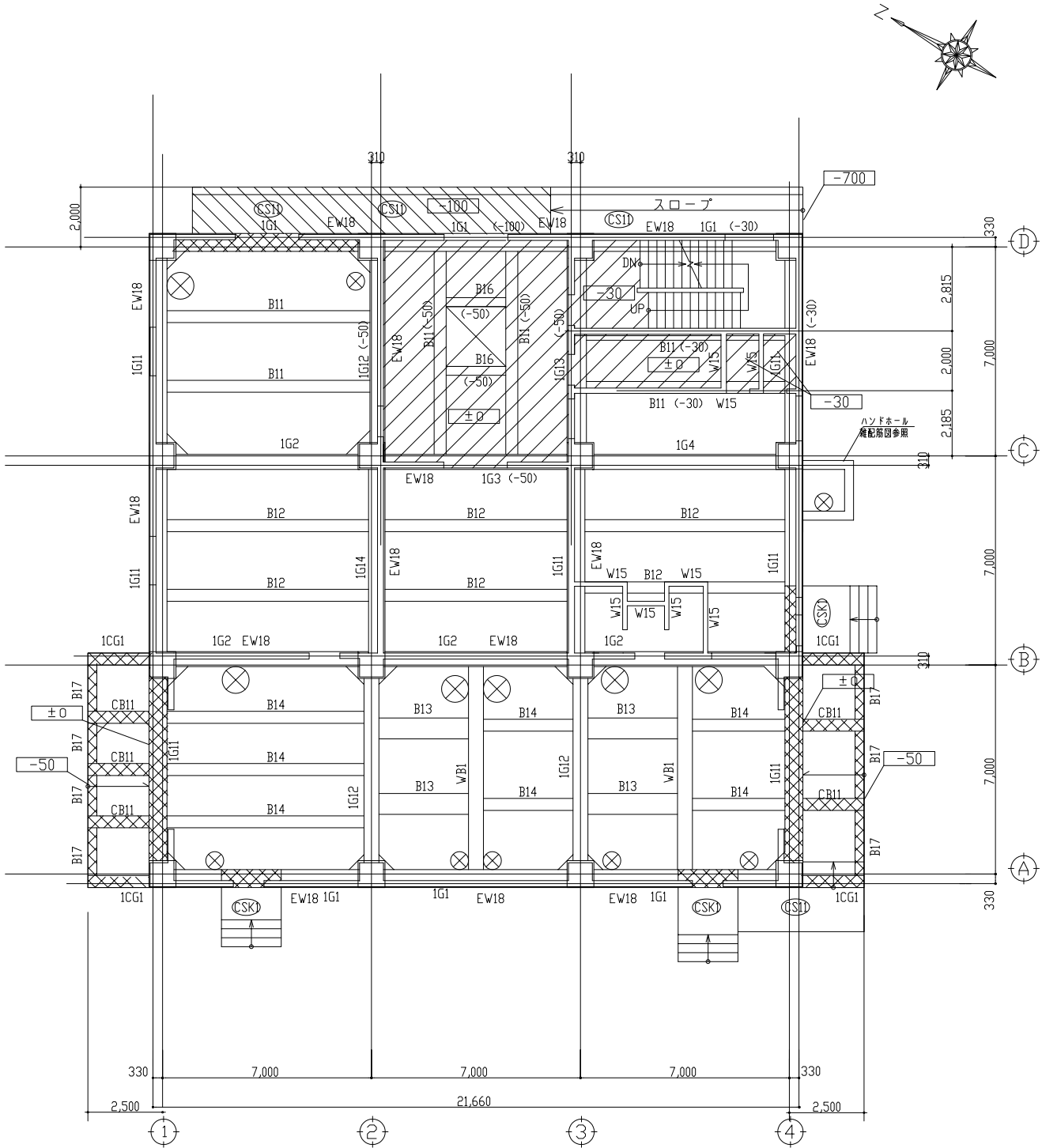


1FL-1800伏図 (見下げ) 1:100

特記の外

壁 ; W25 スラブ ; S11

スラブ天端は 1FL-1800 とし [±0000] で示す。



1 階 伏図(見下げ) 1:100

特記の外

壁 ; W18 スラブ ; S11

スラブ天端は 1FL-300 とし [±0000] で示す。

梁天端は 1FL-300 とし (±0000) で示す。

→ ; 水勾配を示す。

片持ちスラブのレベルは意匠図による

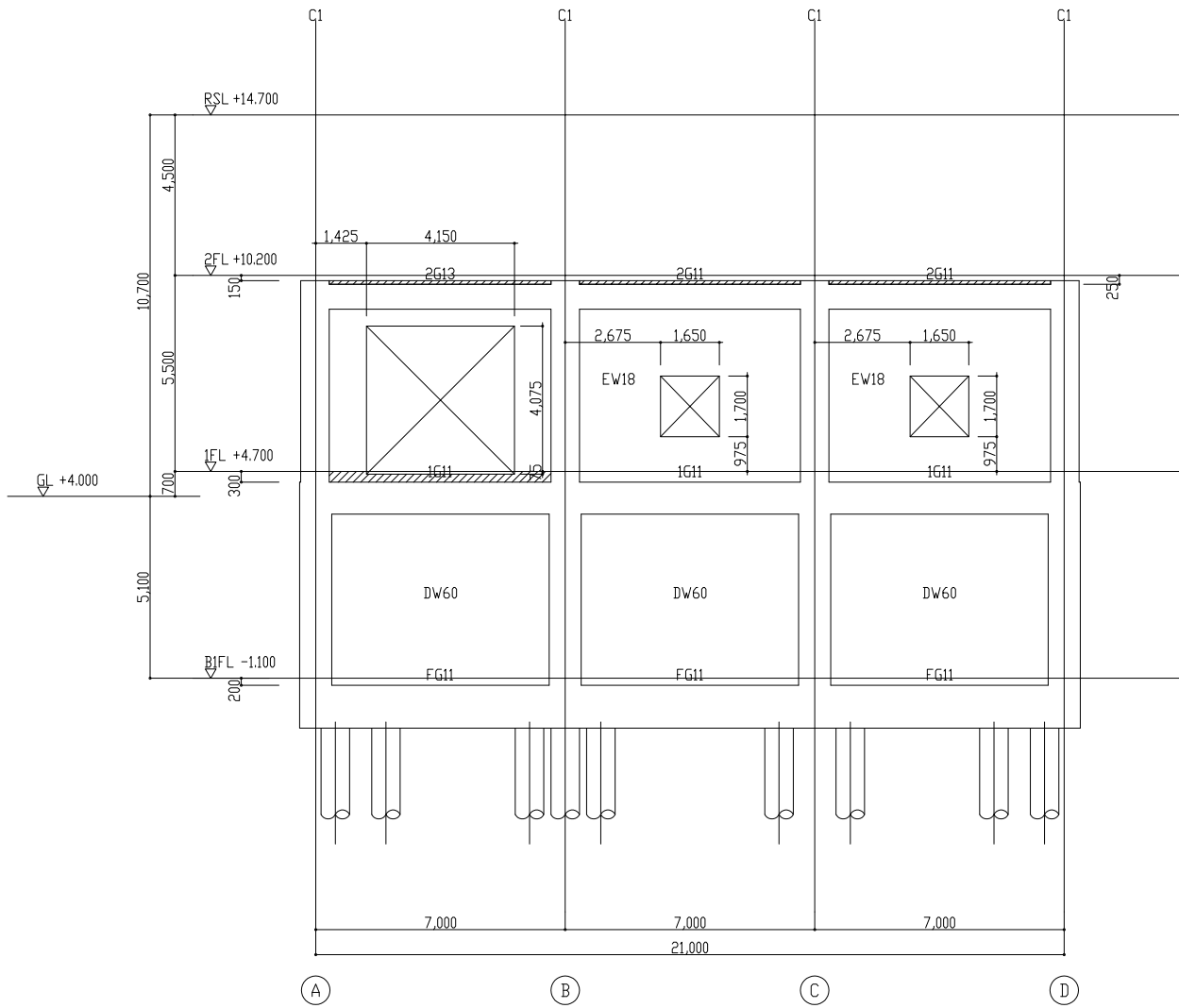
1FL=GL+700

増打部を示す。

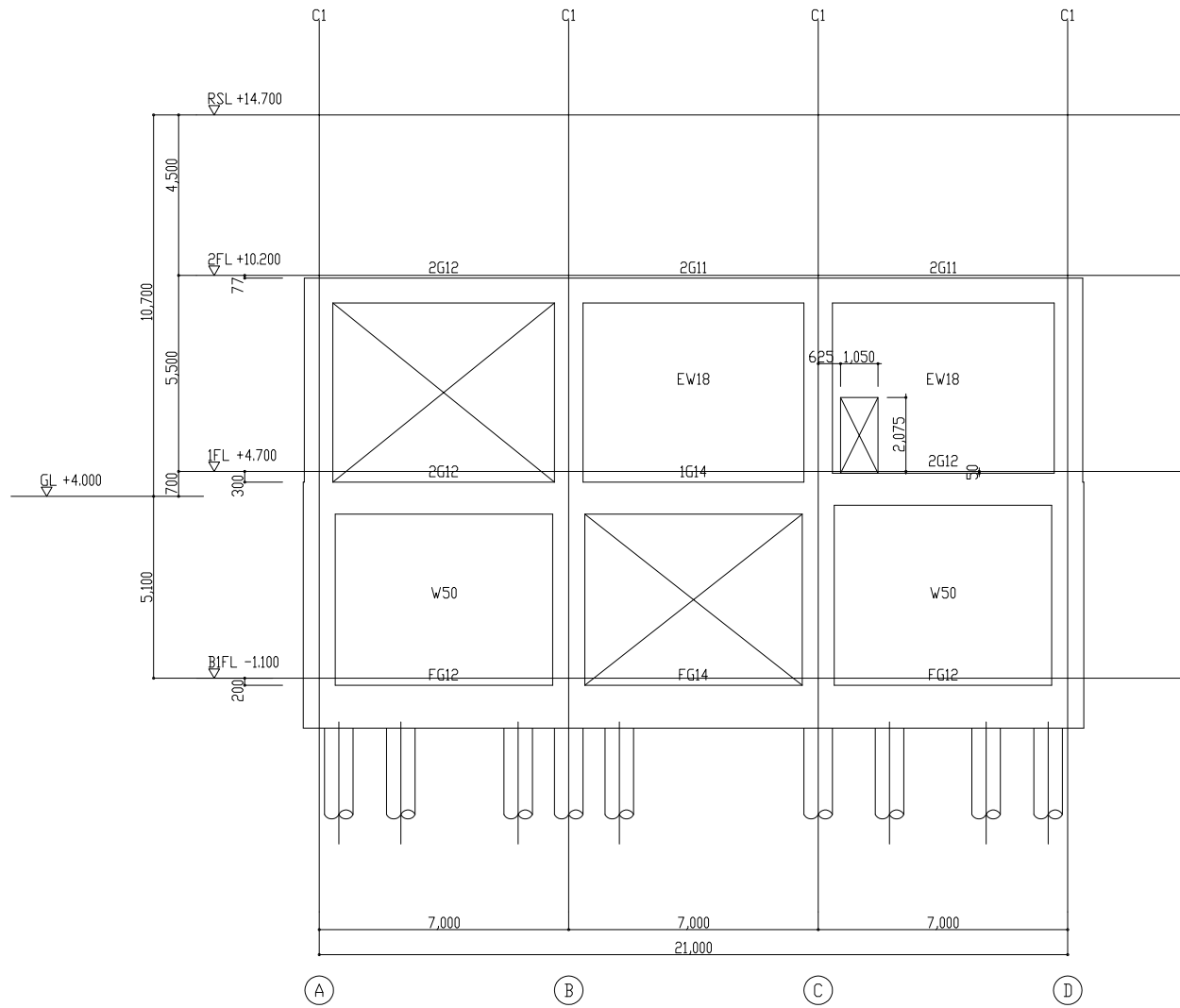




工事年度	令和 7 年度起工 供養定 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事		
路 線 名	線 筋 地区 橋		
河 川 名			
工事箇所	中間 (市) 郡 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	軸組図（3）		
縮 尺	S=1:100	図面番号	S-19
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
			<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>



1 通り 軸組図 1:100

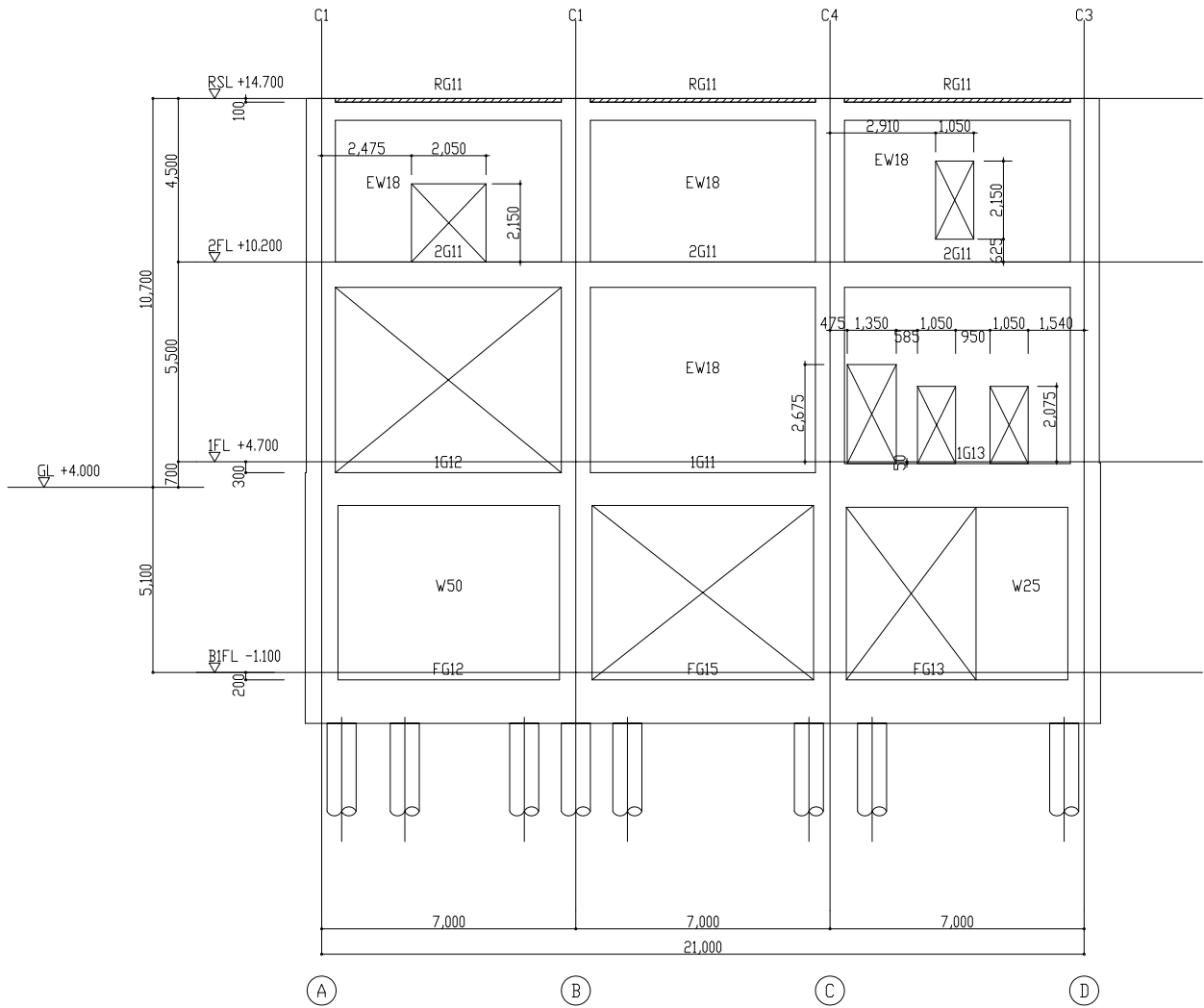


2 通り 軸組図 1:100

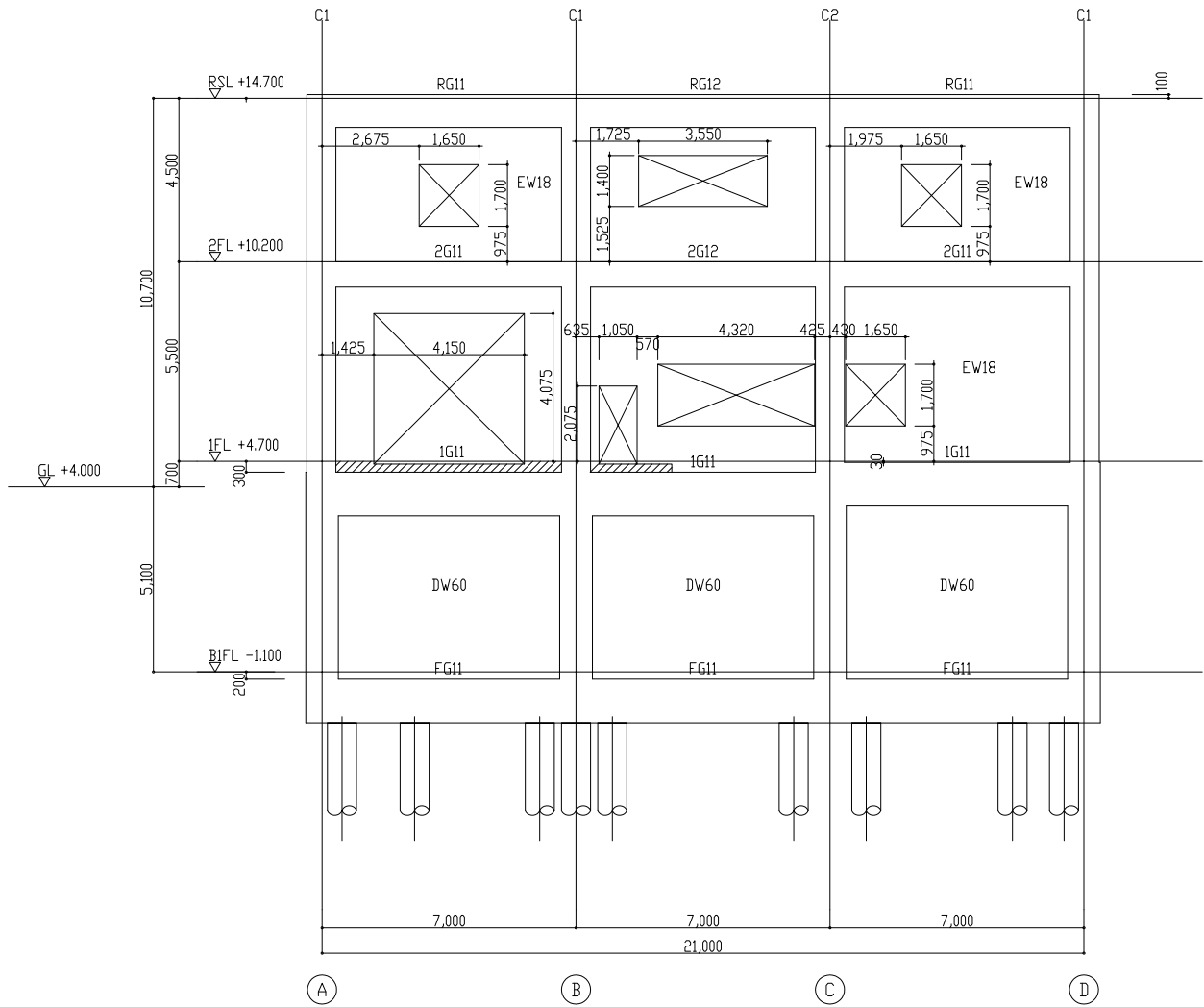
軸組図共通事項

特記の外  
壁 ; W18  
/// : 増打を示す。

工事年度	令和 7 年度起工 第 82594-002 号 ※査定		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事		
路 線 名	線 筋 地区 橋		
河 川 名			
工事箇所	中間 市 郡 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	軸組図（4）		
縮 尺	S=1:100	図面番号	S-20
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
査 定	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>



3通り 軸組図 1:100



4通り 軸組図 1:100

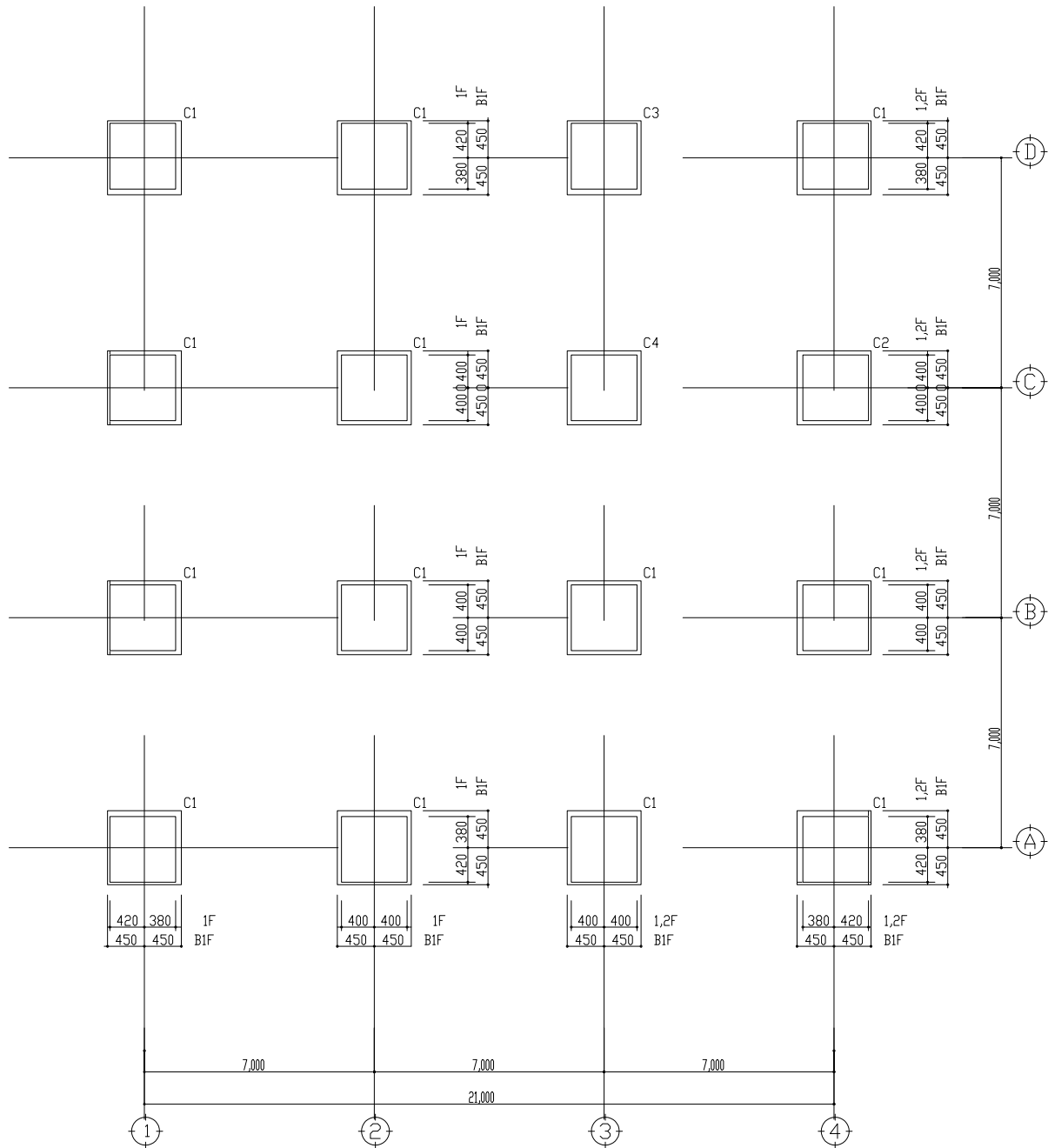
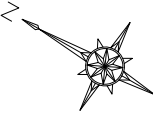
軸組図共通事項

特記の外

壁 ; W18

： 増打を示す。

工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）				工事
路 線 名	線 筋 地区				橋
河 川 名	中間 市 郡				大字中底井野 地内
工事箇所	市 郡 町 村				大字中底井野 地内
図 面 名	柱芯線図・柱リスト				
縮 尺	-	図面番号	S-21		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	



柱芯線図 1:100,40

特記の外  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

柱リスト 1:40

階	符号	C1	C2	C3	C4
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面
2F	断面				
	Dx x Dy	800x800	800x800	800x800	800x800
	主筋	12 - D25	12 - D25	12 - D25	12 - D25
	帯筋	□ - D13@100	□ - D13@100	□ - D13@100	□ - D13@100
1F	断面				
	Dx x Dy	800x800	800x800	800x800	800x800
	主筋	12 - D25	12 - D25	12 - D25	12 - D25
	帯筋	□ - D13@100	□ - D13@100	□ - D13@100	□ - D13@100
B1F	断面				
	Dx x Dy	900x900	900x900	900x900	900x900
	主筋	16 - D25	18 - D25	18 - D25	20 - D25
	帯筋	□ - D13@100	□ - D13@100	□ - D13@100	□ - D13@100

工事年度	令和 7 年度起工 災害査定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）				工事
路 線 名	線 筋 地区			橋	
河 川 名					
工事箇所	中間 市 郡 町 村	大字中底井野 地内			
図 面 名	部材リスト（土木部）				
縮 尺	-	図面番号	S-22		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

大梁リスト 1:40

特記の外  
巾止め筋 ↔-D13@1,000

階	符号	G1	G2	G3	G4	G11	G12	G13	G14
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
1FL	断面								
	B×D	600×900	500×900	600×900	600×900	600×900	500×900	600×1200	600×900
	上端筋	5-D25	4-D25	5-D25	6-D25	5-D25	4-D25	7/2-D25	4-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	7-D25	4-D25
	スターラップ	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	■-D13@200	□-D13@200
	腹筋	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13

地中梁リスト 1:40

特記の外  
巾止め筋 ↔-D13@1,000

階	符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG11	FG12	FG13	FG14	FG15
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
B1FL	断面									
	B×D	600×1200	500×1200	1000×1200	1000×1200	600×1200	500×1200	1000×1200	900×1200	1000×1200
	上端筋	6-D25	5-D25	11/5-D25	11/11-D25	6-D25	5-D25	11/10-D25	10-D25	11/7-D25
	下端筋	6-D25	5-D25	11-D25	11/11-D25	6-D25	5-D25	11/5-D25	8-D25	10-D25
	スターラップ	□-D13@200	□-D13@200	■-D16@200	■-D16@200	□-D13@200	□-D13@200	■-D16@200	■-D16@200	■-D16@200
	腹筋	6-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13

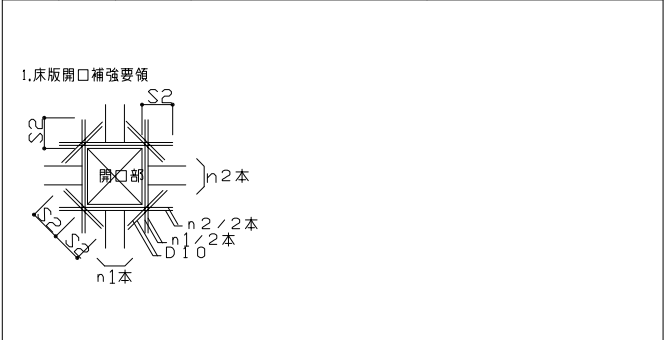
小梁リスト 1:40

特記の外  
巾止め筋 ↔-D13@1,000

符 号	B11	B12	B13	B14	B15	B16	B17
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面							
B × D	400×800	400×800	700×500	400×800	400×800	300×600	300×700
上 端 筋	5-D22	5/2-D22	5-D19	5/1-D22	5-D22	3-D16	3-D16
下 端 筋	5/2-D22	5-D22	5-D19	5/1-D22	5-D22	3-D16	3-D16
スターラップ	□ -D13@100	□ -D13@100	□ -D13@150	□ -D13@100	□ -D13@200	□ -D13@200	□ -D13@200
腹 筋	2-D13	2-D13	-	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
符 号	CB11	CB12		1CG1			WB1
位 置	全断面	全断面		全断面			全断面
断 面							
B × D	400×800	400×800		400×900			500×850
上 端 筋	5/1-D22	5-D22		4-D25			4-D22
下 端 筋	5-D22	5-D22		3-D25			4-D22
スターラップ	□ -D13@150	□ -D13@200		□ -D13@150			□ -D13@200
腹 筋	2-D13	2-D13		4-D13			4-D13

スラブリスト

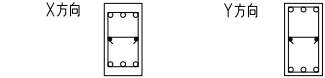
名称	版厚	位置	短辺方向	長辺方向
S11	300	上端筋	D13@200	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200
FS1	1200	上端筋	D19@200	D19@200
		下端筋	D19@200	D19@200
CS11	300	上端筋	D13@100	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200
CSK1	550-	上端筋	D16@200	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200



X方向とY方向の鉄筋が交差する位置の鉄筋のレベルについて

- ・X方向の鉄筋をY方向の鉄筋の内側に配置する。

ただし、梁の上面及び下面についてX方向とY方向のレベルの差が30mm以上有り、お互いの鉄筋と当たらない場合は、最厚のかぶり厚とする。



壁リスト 1:30

特記の外

1.巾止め筋--D13 @1000

記 号	W25	W30	W50	DW60	1.壁開口補強要領
壁 厚	250	300	500	600	
断 面					
縦 筋	上部 下部	上部 下部	上部 下部	上部 下部	
横 筋	D13@200(ダブル)	D13@200(ダブル)	D16@200(ダブル)	D19@200(ダブル)	
開 口 補 強	縦 筋	4-D13	4-D13	4-D16	
	横 筋	4-D13	4-D13	4-D16	
	斜 筋	2-D13	2-D13	2-D16	

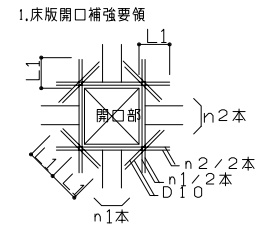
工事年度	令和 7 年度起工 災害定			第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事			
路 線 名	線 地区			橋
河 川 名				
工事箇所	中間	市 郡 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	部材リスト（建築部）			
縮 尺	-	図面番号	S-23	
事務所名	福岡県流域下水道事務所			
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>

大梁リスト 1:40 特記の外 巾止め筋 ←-D10@1,000

階	符号	G1	G2	G3	G4	G11	G12	G13
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
RFL	断面							
	B×D	350×700	350×700			350×750	350×750	
2FL	断面							
	B×D	400×800	400×800	400×800	400×800	400×800	400×800	400×800
		上端筋	3-D25	4/1-D25	4-D25	4/2-D25	3-D25	4-D25
		下端筋	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25
		スタックアップ	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200
		腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10

スラブリスト

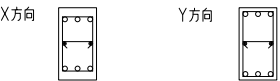
名称	版厚	位置	短辺方向	長辺方向
S1	150	上端筋	D10-D13@200	D10-D13@200
		下端筋	D10-D13@200	D10-D13@200
S2	150	上端筋	D10-D13@200	D10@200
		下端筋	D10-D13@200	D10@200
CS1	150~120	上端筋	D10@200	D10@200
		下端筋	D10@200	D10@200
CS2	230~170	上端筋	D13@150	D10@200
		下端筋	D10@150	D10@200



X方向とY方向の鉄筋が交差する位置の鉄筋のレベルについて

- ・X方向の鉄筋をY方向の鉄筋の内側に配置する。

ただし、梁の上面及び下面についてX方向とY方向のレベルの差が30mm以上有り、お互いの鉄筋と当たらない場合は、標準のかぶり厚とする。



小梁リスト 1:40 特記の外 巾止め筋 ←-D10@1,000

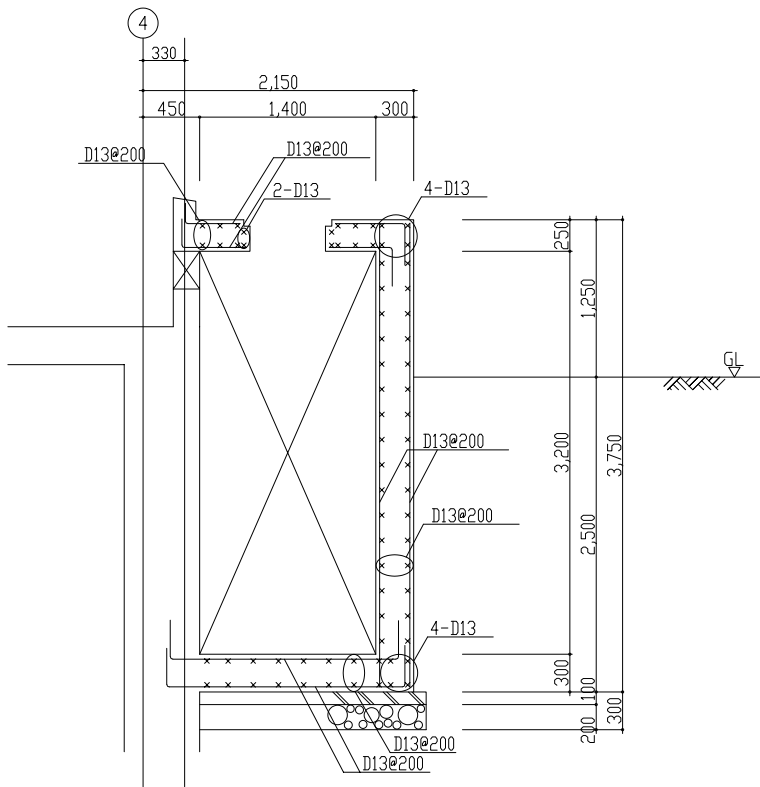
符 号	B1	B2	B3	B4	B5		
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		
断 面							
B × D	350×700	350×700	350×600	400×800	350×700		
上 端 筋	3-D22	3-D22	3-D19	5-D22	4-D22		
下 端 筋	3-D22	4-D22	3-D19	5/3-D22	3-D22		
スタックアップ	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@100	□-D13@200		
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		
符 号							
位 置							
断 面							
B × D							
上 端 筋							
下 端 筋							
スタックアップ							
腹 筋							

壁 リ ス ト 1:30 特記の外 1.巾止め筋←-D10 @1000

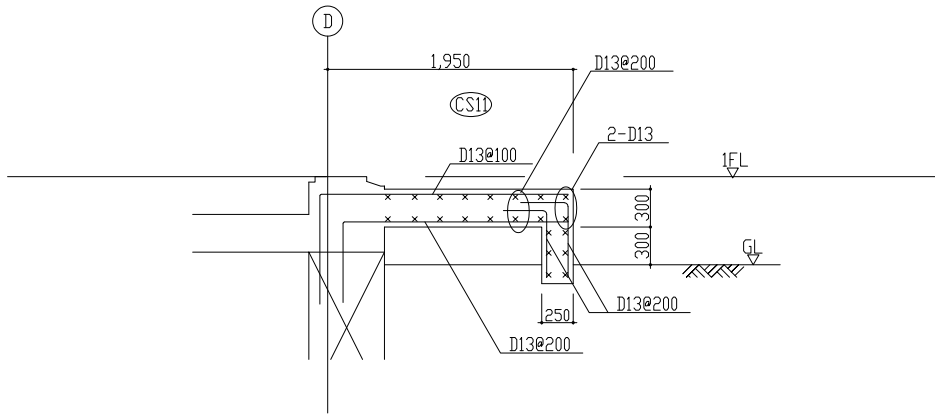
記 号		EW18	W18	W15	CW15	1.壁開口補強要領
壁 厚		180	180	150	150	
断 面						
縦 筋		D13@200(ダブル)	D13@200(ダブル)	D10@150(シングル)	D10@200(ダブル)	
横 筋		D13@200(ダブル)	D13@200(ダブル)	D10@150(シングル)	D10@200(ダブルチドリ)	
開 口 補 強	縦 筋	4-D13	4-D13	2-D13	2-D13	
	横 筋	4-D13	4-D13	2-D13	2-D13	
	斜 筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	

工事年度	令和 7 年度起工 災害査定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事				
路 線 名	線 地区				橋
河 川 名					
工事箇所	中間	市 町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	雑詳細図（土木部）				
縮 尺	S=1:30	図面番号	S-25		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

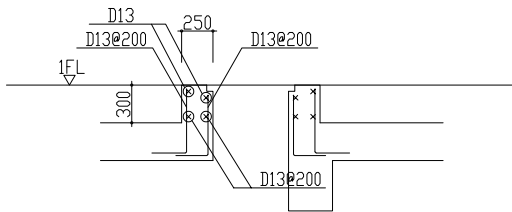
ハンドホール 配筋詳細図 1:30



搬出入室入口 配筋詳細図 1:30

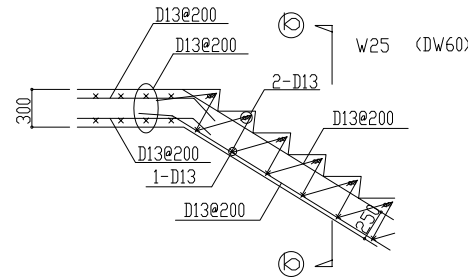
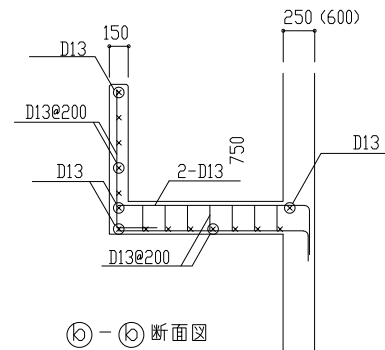


立上り壁 配筋詳細図 1:30

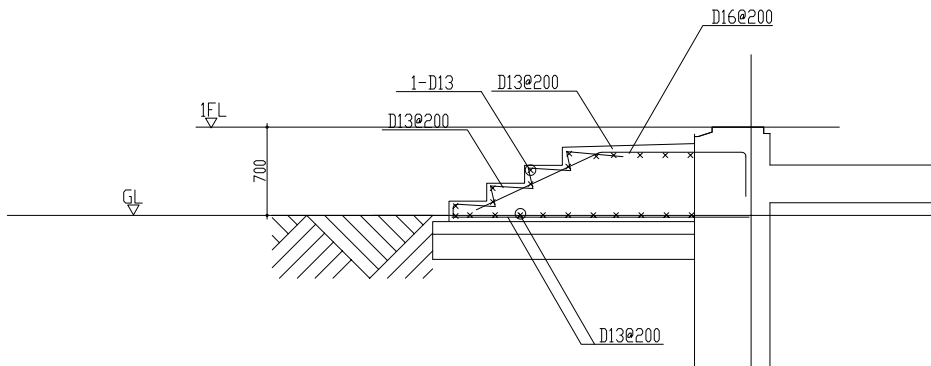


内部階段 配筋詳細図 1:30

・土木部

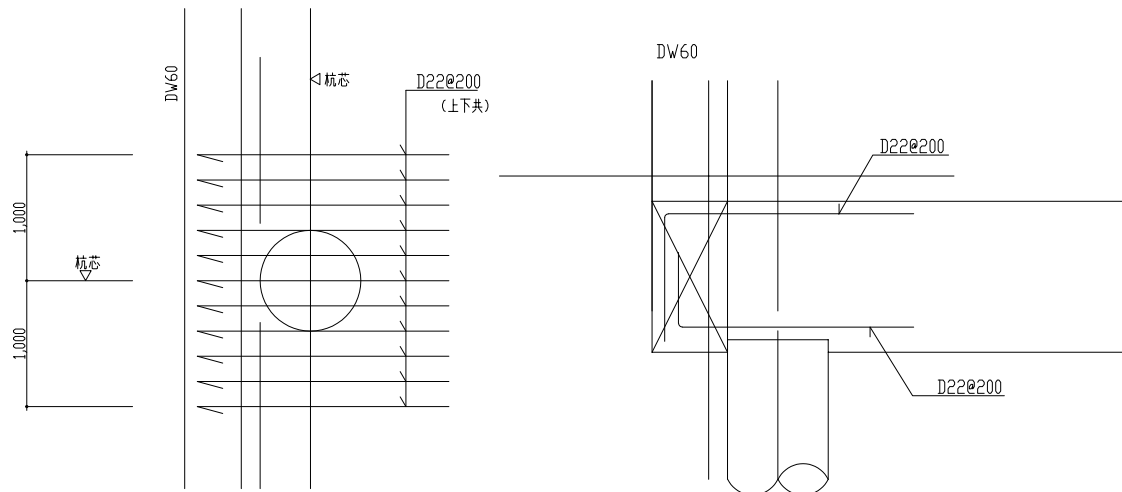


搬出入室入口 配筋詳細図 1:30



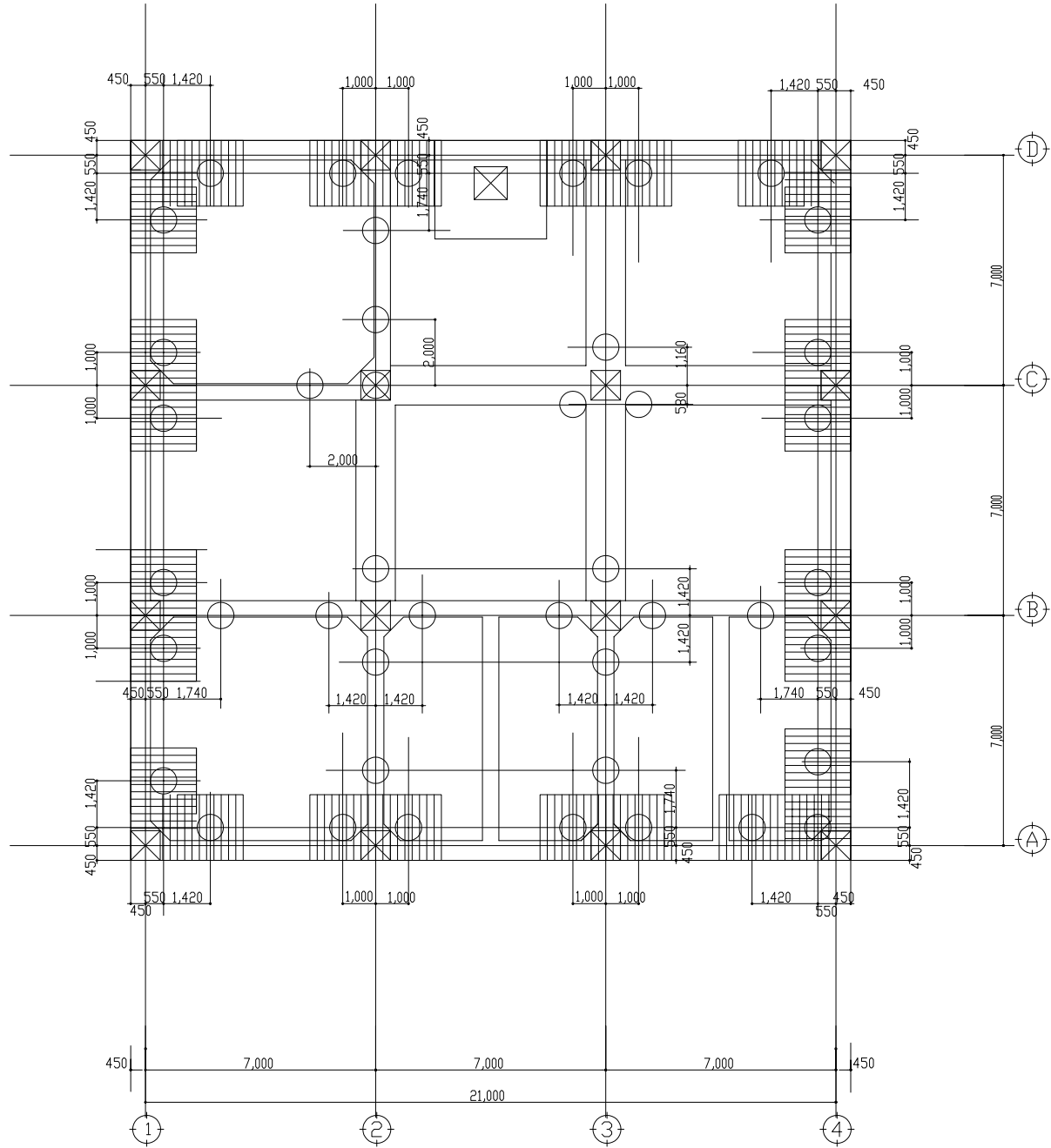
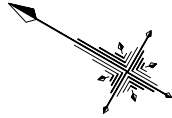
地下外壁廻り杭頭偏心補強筋図

注記：補強位置は S-27 に依る





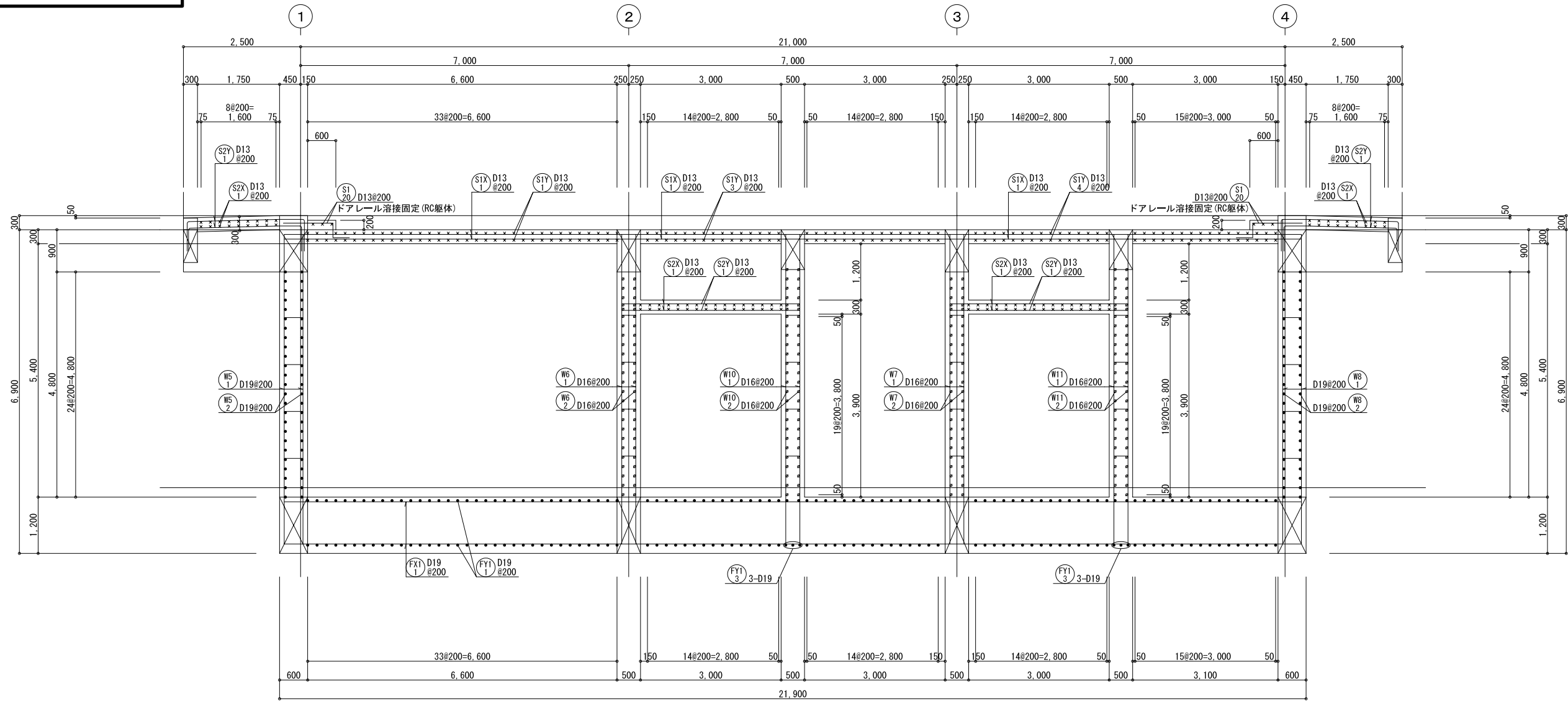
工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事				
路 線 名	線 地区				橋
河 川 名					
工事箇所	中間	市 町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	底板補強図				
縮 尺	S=1:100	図面番号	S-27		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	



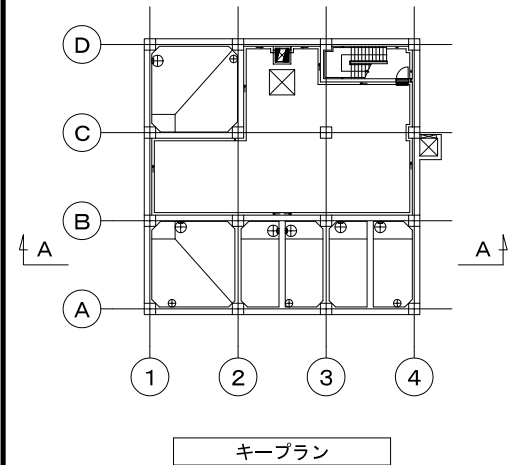
底板補強図 1:100

特記の外  
☐ 底版の補強位置を示す。  
補強要領は S-25に依る。

工事年度	令和 7 年度起工 第 82594-002 号 発注定		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事		
路 線 名	線 筋	地区	橋
工事箇所	中間 市 郡	大字中底井野 地内	
図 面 名	断面配筋図（1）		
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-28
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
査 定	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>



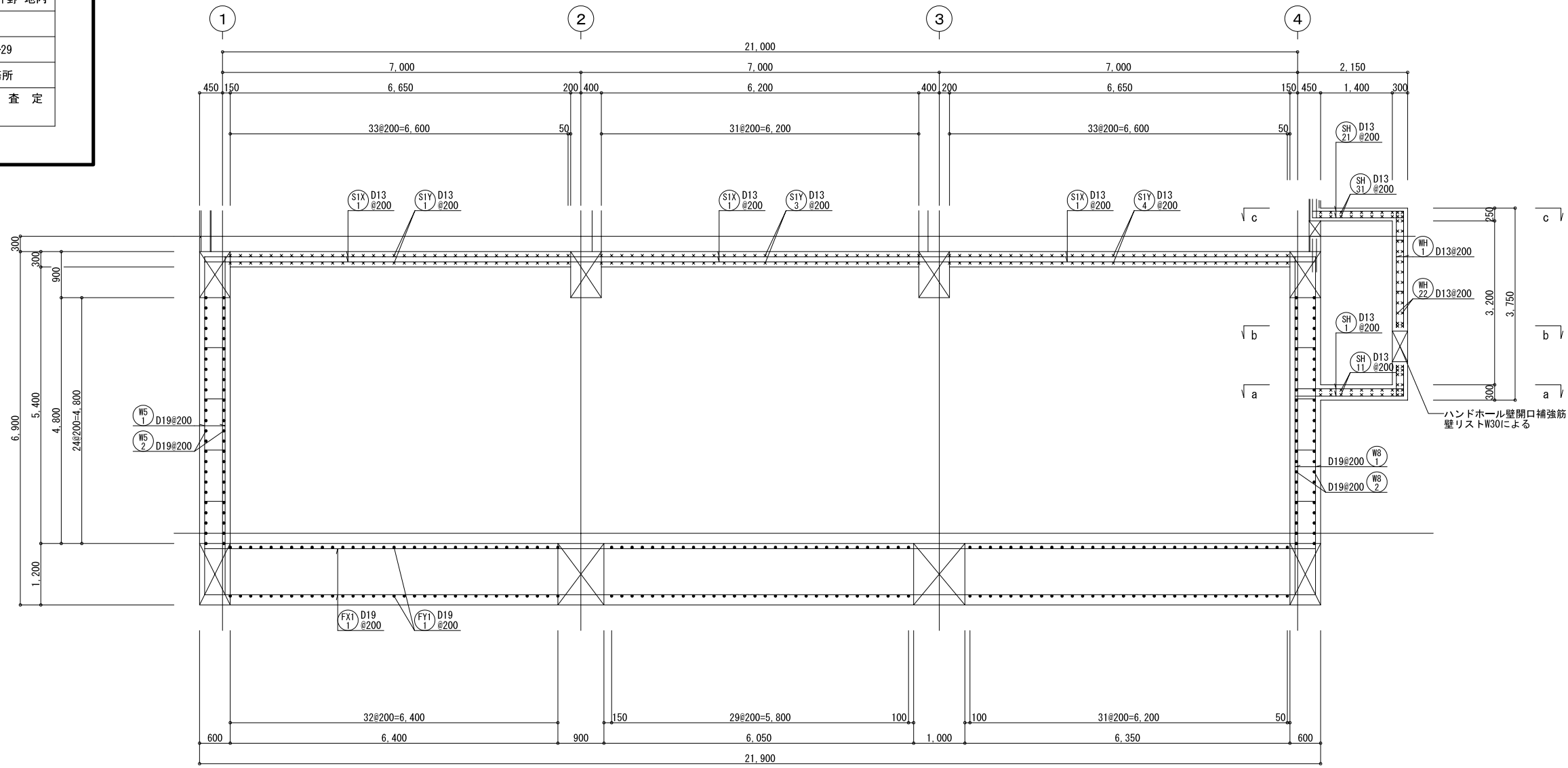
A-A 断面配筋図 S=1/50



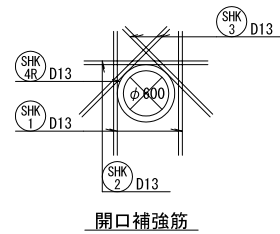
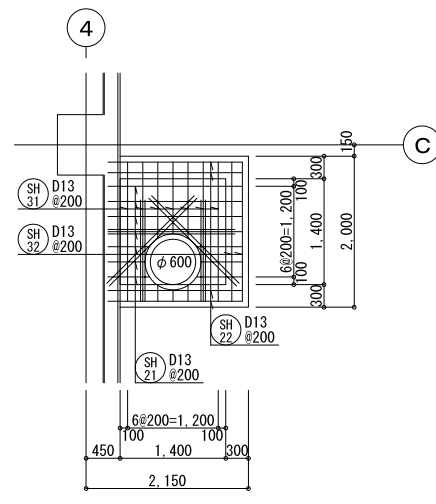
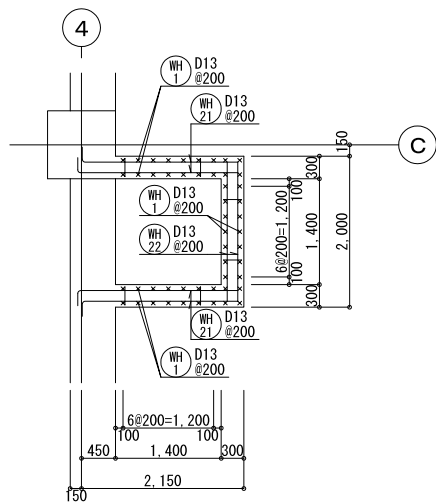
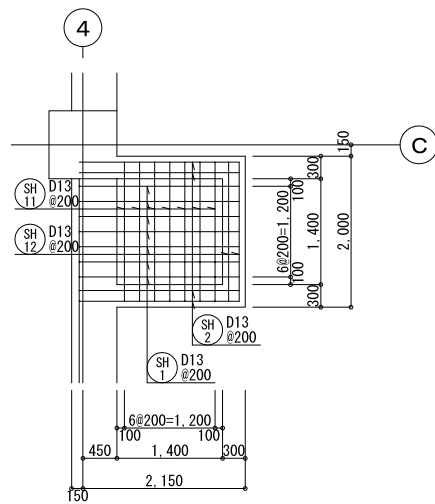
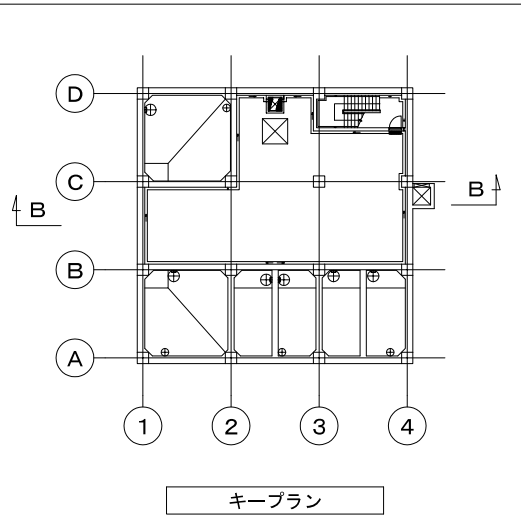
幅止筋			
部 位	径	形 状	ピッチ
底 版	D13	□	1000
壁	D13	┌	1000
床 版 スラブ	D13	□	1000

注）特記なき限り  
1. 梁配筋は、梁リスト参照のこと。  
2. 梁の増し打ち要領は、構造細目共通図による。

工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）				工事
路 線 名	線 筋 地区				橋
工事箇所	中間 市 郡 町 村	大字中底井野 地内			
図 面 名	断面配筋図（2）				
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-29		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

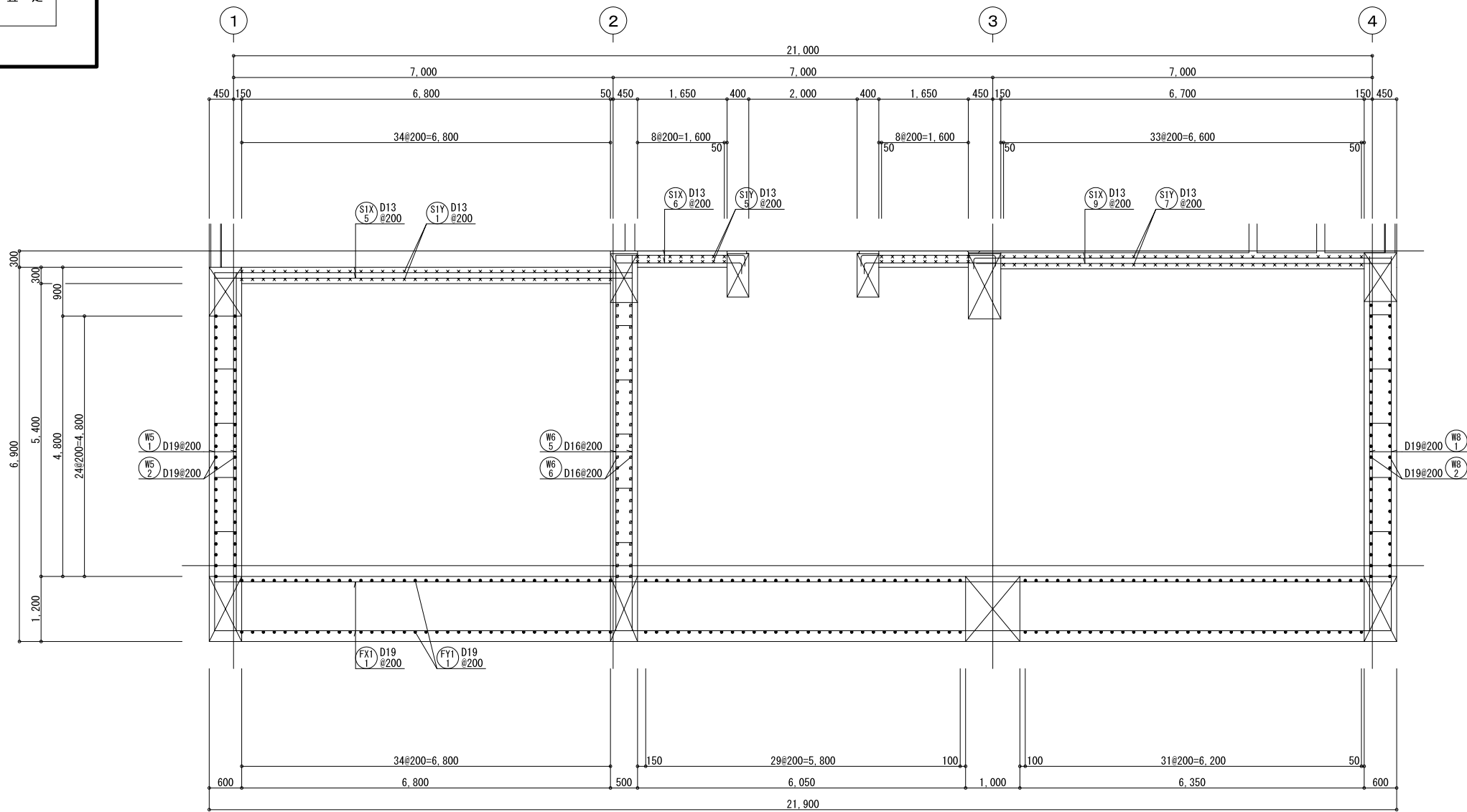


幅 止 筋			
部 位	径	形 状	ピッチ
底 版	D13	□	1000
壁	D13	□	1000
床 版 スラブ	D13	□	1000

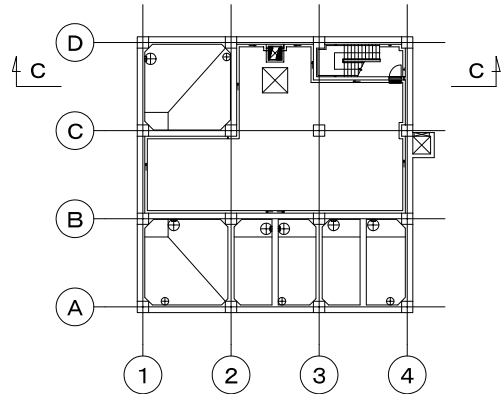


- 注）特記なき限り  
1. 梁配筋は、梁リスト参照のこと。  
2. 梁の増し打ち要領は、構造細目共通図による。

工事年度	令和 7 年度起工 第 82594-002 号 災害査定		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事		
路 線 名	線 筋	地 区	橋
工事箇所	中間 市 郡	大字中底井野 地内 町 村	
図 面 名	断面配筋図（3）		
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-30
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
査 定	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>



C-C断面配筋図 S=1/50

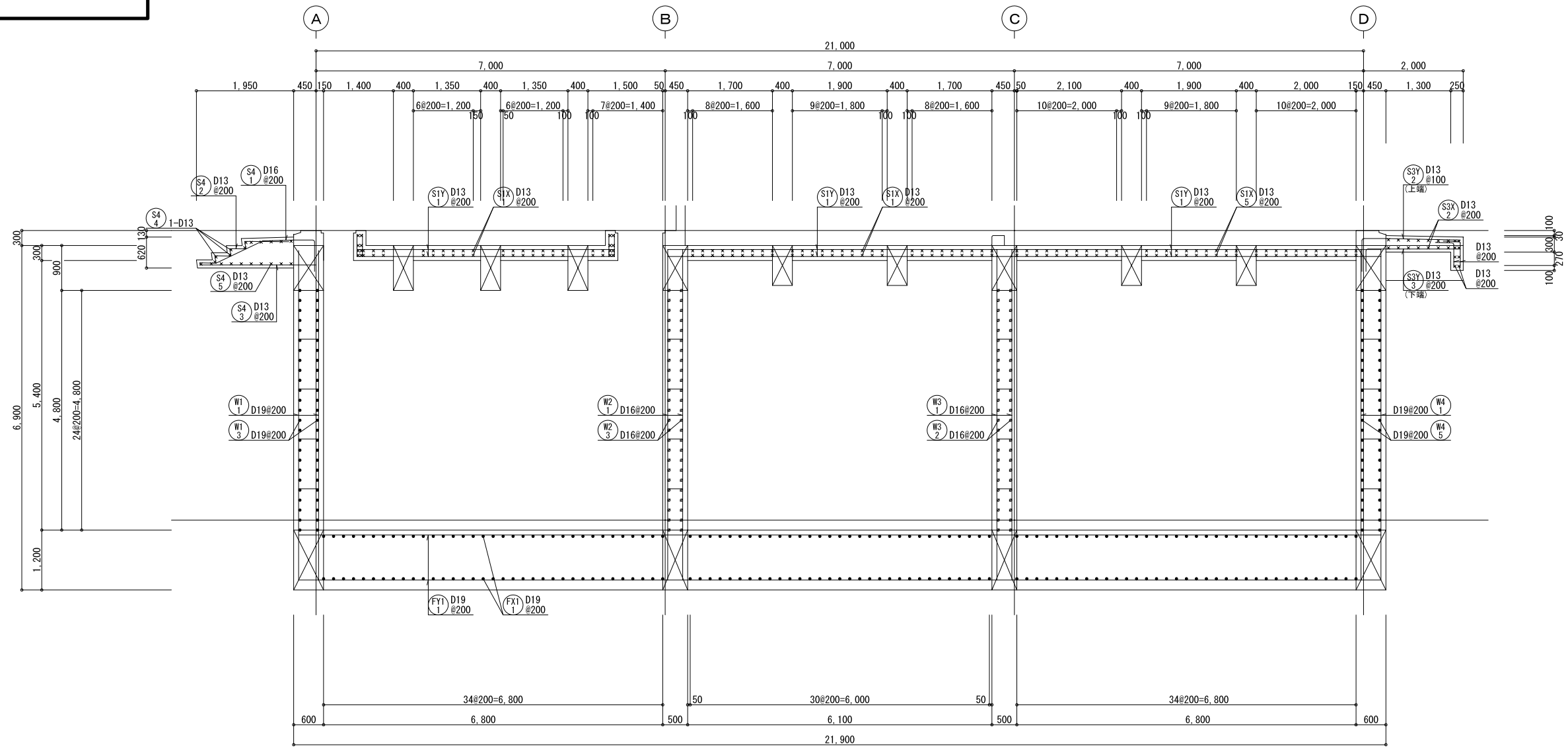


キープラン

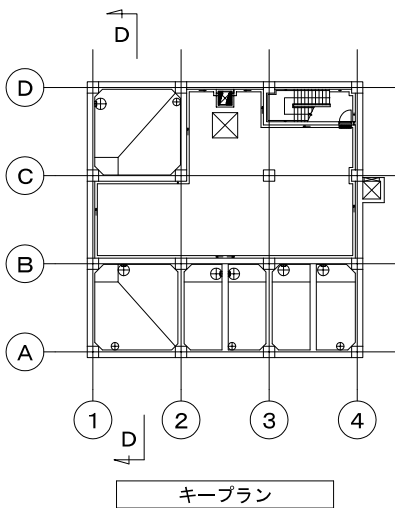
幅止筋			
部 位	径	形 状	ピッチ
底 版	D13	□	1000
壁	D13	┌	1000
床 版 スラブ	D13	□	1000

注）特記なき限り  
1. 梁配筋は、梁リスト参照のこと。  
2. 梁の増し打ち要領は、構造細目共通図による。

工事年度	令和 7 年度起工 災害定第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事		
路 線 名	線 筋	地 区	橋
河 川 名			
工事箇所	中間 市 郡 町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	断面配筋図（4）		
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-31
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
			<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>



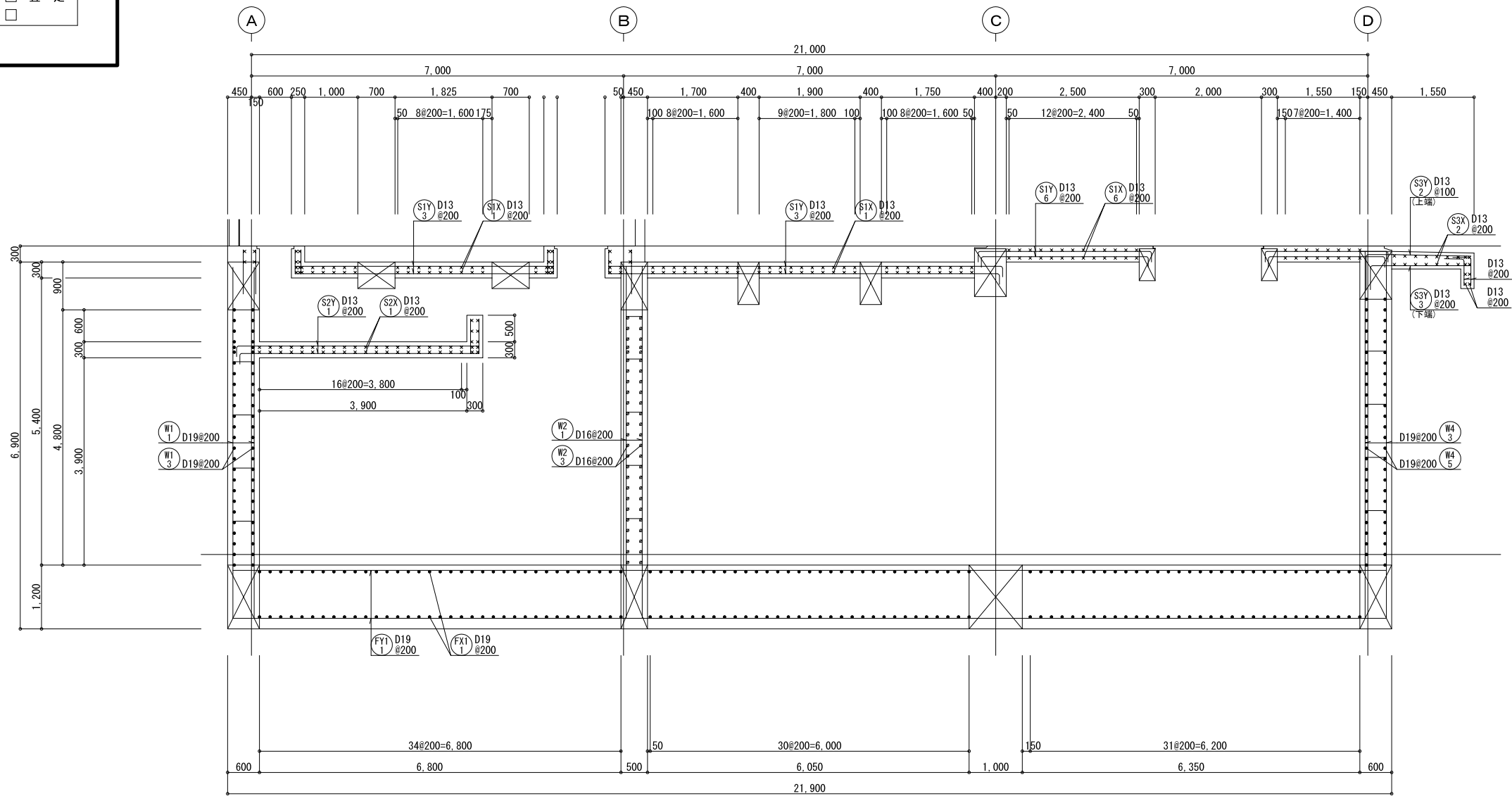
D - D 断面配筋図 S=1/50



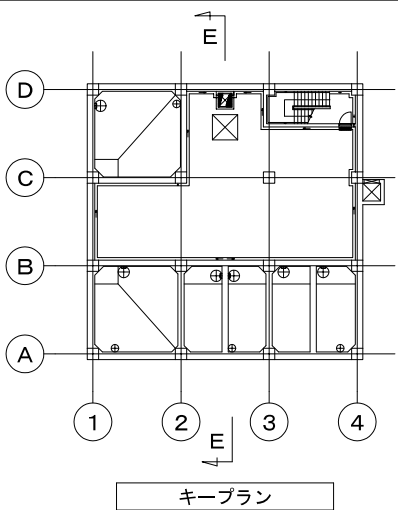
幅止筋			
部 位	径	形 状	ピッチ
底 版	D13	□	1000
壁	D13	┌	1000
床 版 スラブ	D13	□	1000

- 注）特記なき限り  
1. 梁配筋は、梁リスト参照のこと。  
2. 梁の増し打ち要領は、構造細目共通図による。

工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）				工事
路 線 名	線 筋 地区				橋
河 川 名					
工事箇所	中間 市 郡	町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	断面配筋図（5）				
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-32		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	



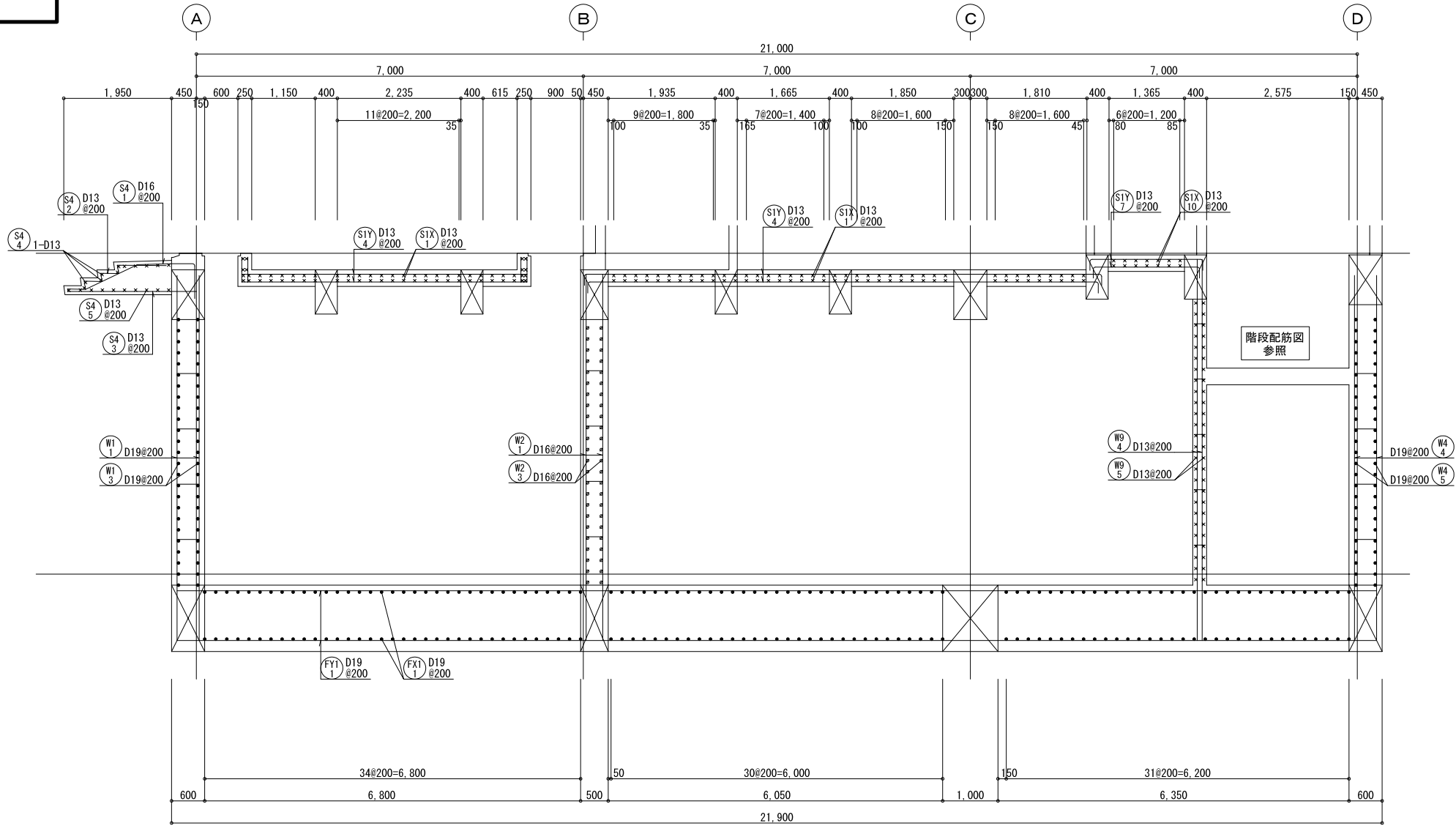
E-E断面配筋図 S=1/50



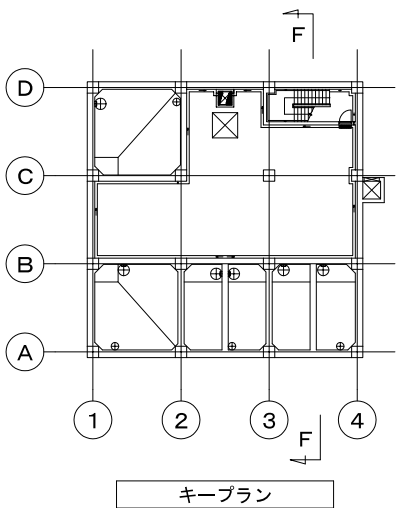
幅止筋			
部 位	径	形 状	ピッチ
底 版	D13	□	1000
壁	D13	┌	1000
床 版 スラブ	D13	□	1000

注）特記なき限り  
1. 梁配筋は、梁リスト参照のこと。  
2. 梁の増し打ち要領は、構造細目共通図による。

工事年度	令和 7 年度起工 第 82594-002 号 災査定		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事		
路 線 名	線 筋	地 区	橋
河 川			
工事箇所	中間 市 郡	大字中底井野 地内 町 村	
図 面 名	断面配筋図（6）		
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-33
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初
	<input type="checkbox"/> 第 回変更		<input type="checkbox"/> 第 回変更
			<input type="checkbox"/> 査 定



F－F 断面配筋図 S=1/50

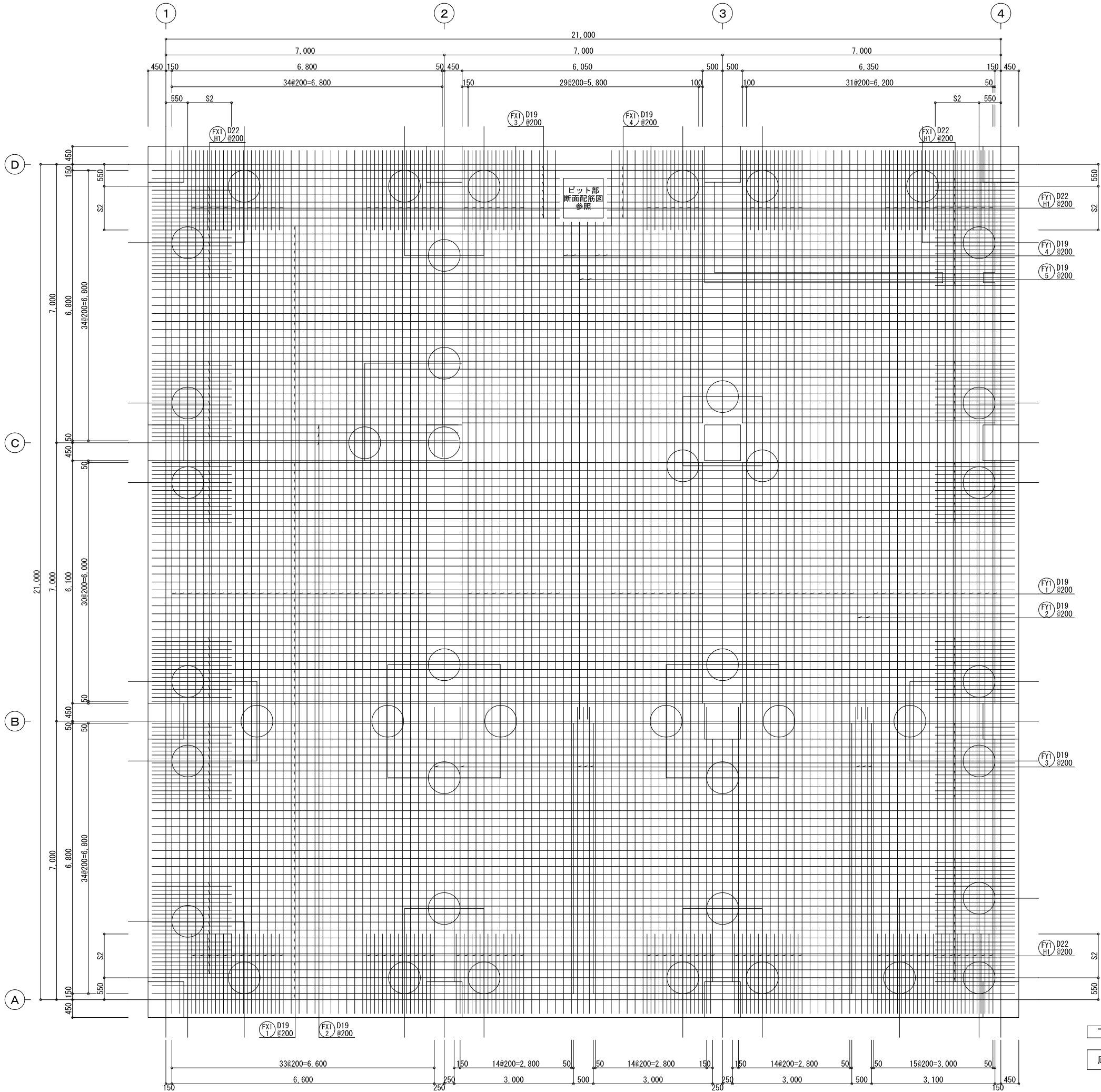


幅止筋			
部 位	径	形 状	ピッチ
底 版	D13	□	1000
壁	D13	┌	1000
床 版 スラブ	D13	□	1000

- 注）特記なき限り
1. 梁配筋は、梁リスト参照のこと。
  2. 梁の増し打ち要領は、構造細目共通図による。

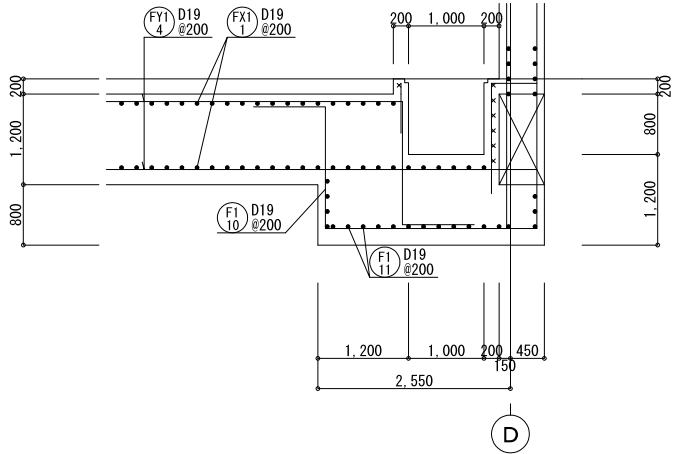


工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事				
路 線 名	線 筋 地区				橋
河 川 名					
工事箇所	中間	市 郡	町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	底板配筋図 (1)				
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-35		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

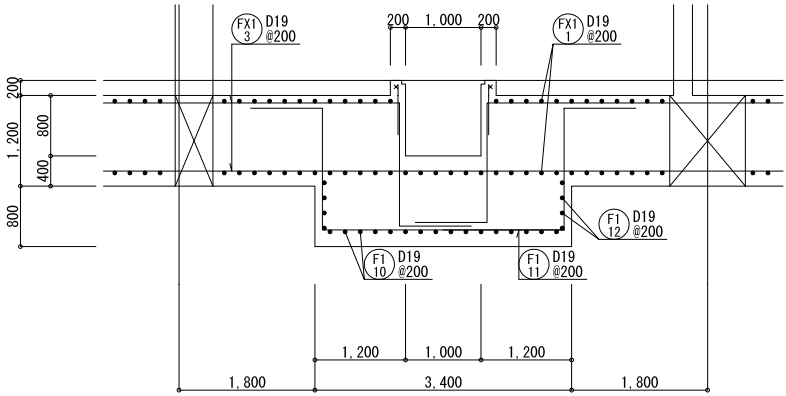




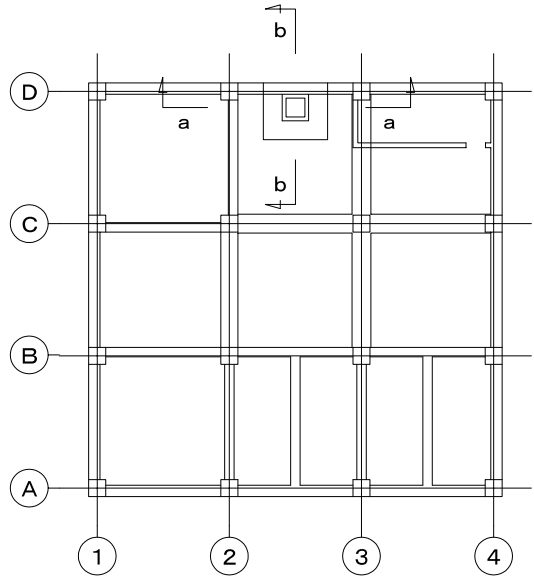
工事年度	令和 7 年度起工 災害査定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）				工事
路 線 名	線 地区				橋
河 川 名	筋 地区				橋
工事箇所	中間	市 町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	底板配筋図（3）				
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-37		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	



a - a 断面配筋図 S=1/50

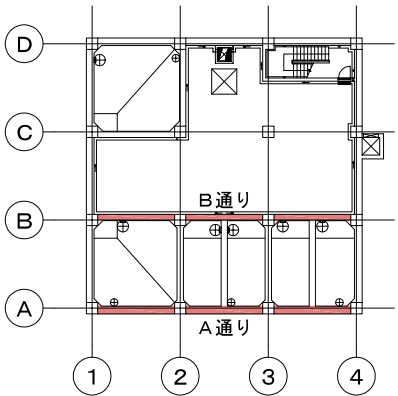
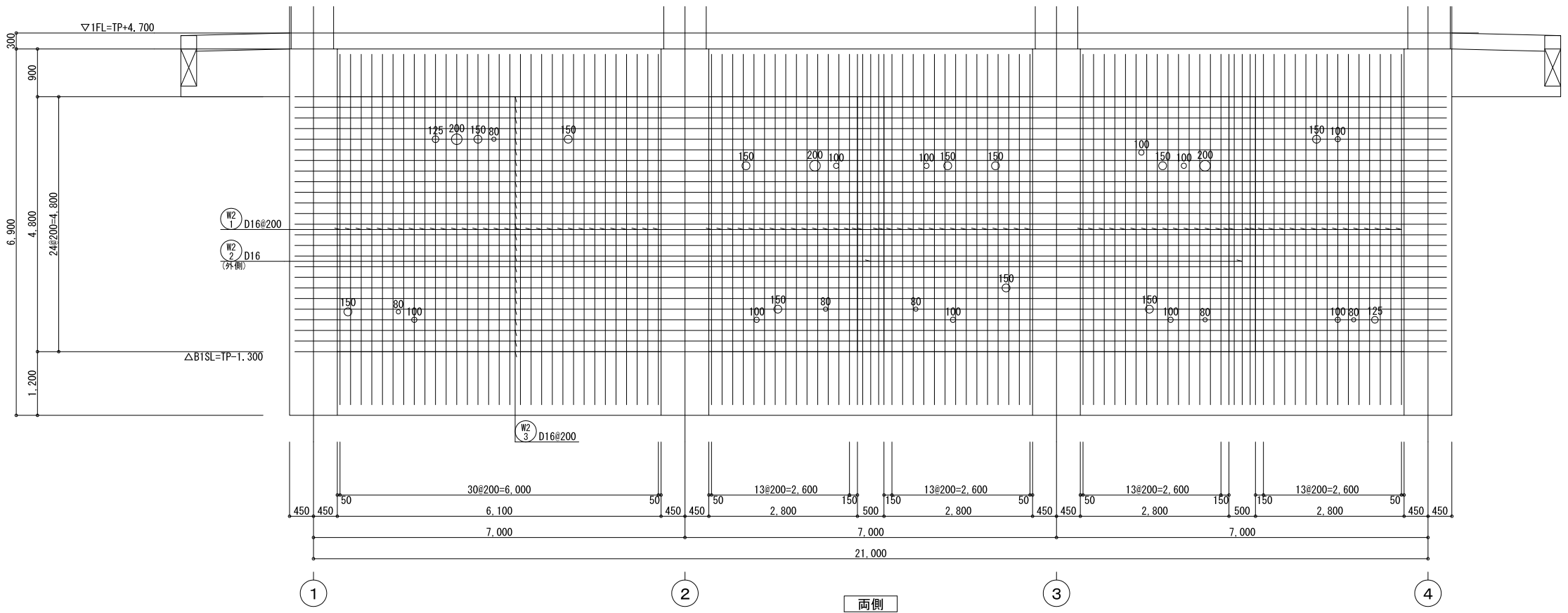
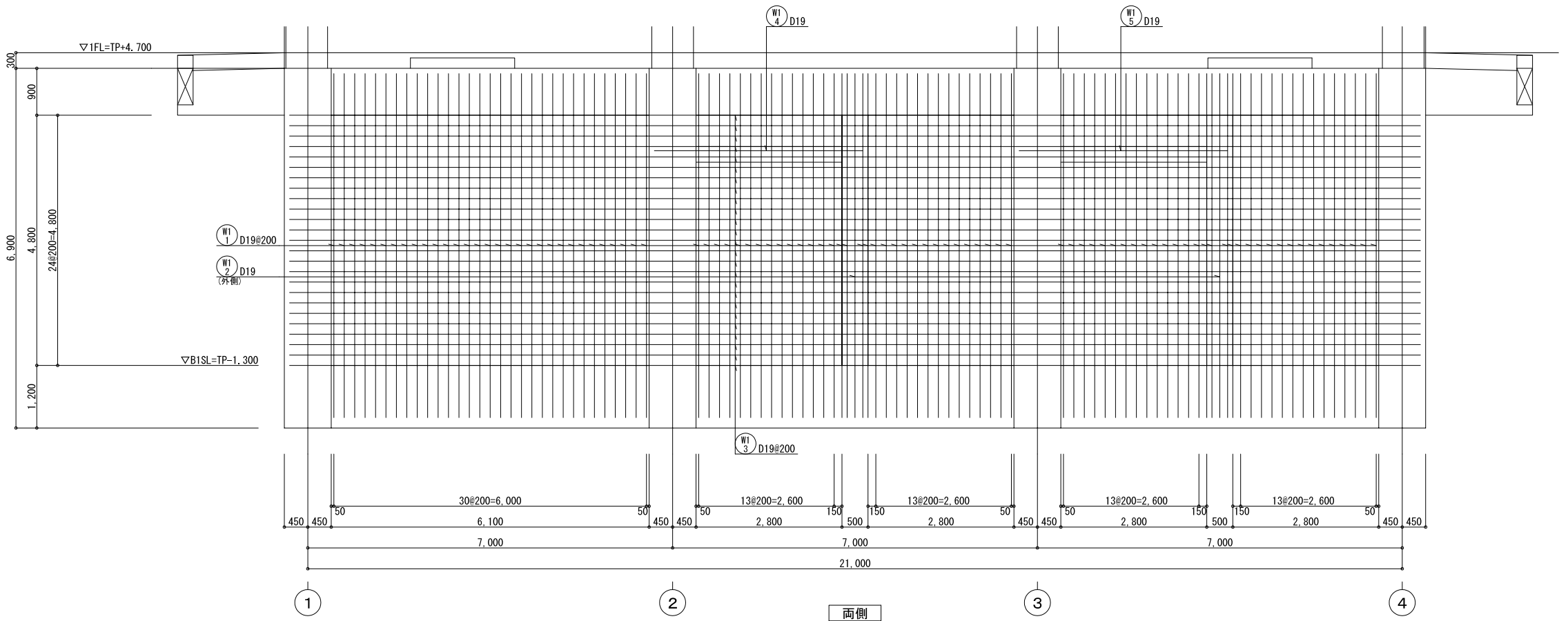


b - b 断面配筋図 S=1/50

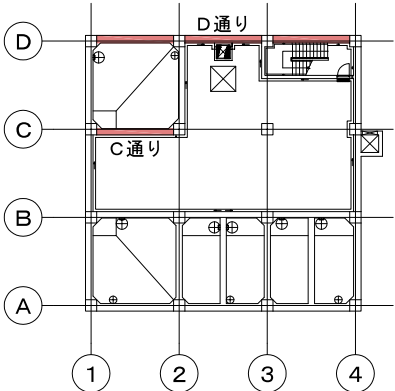
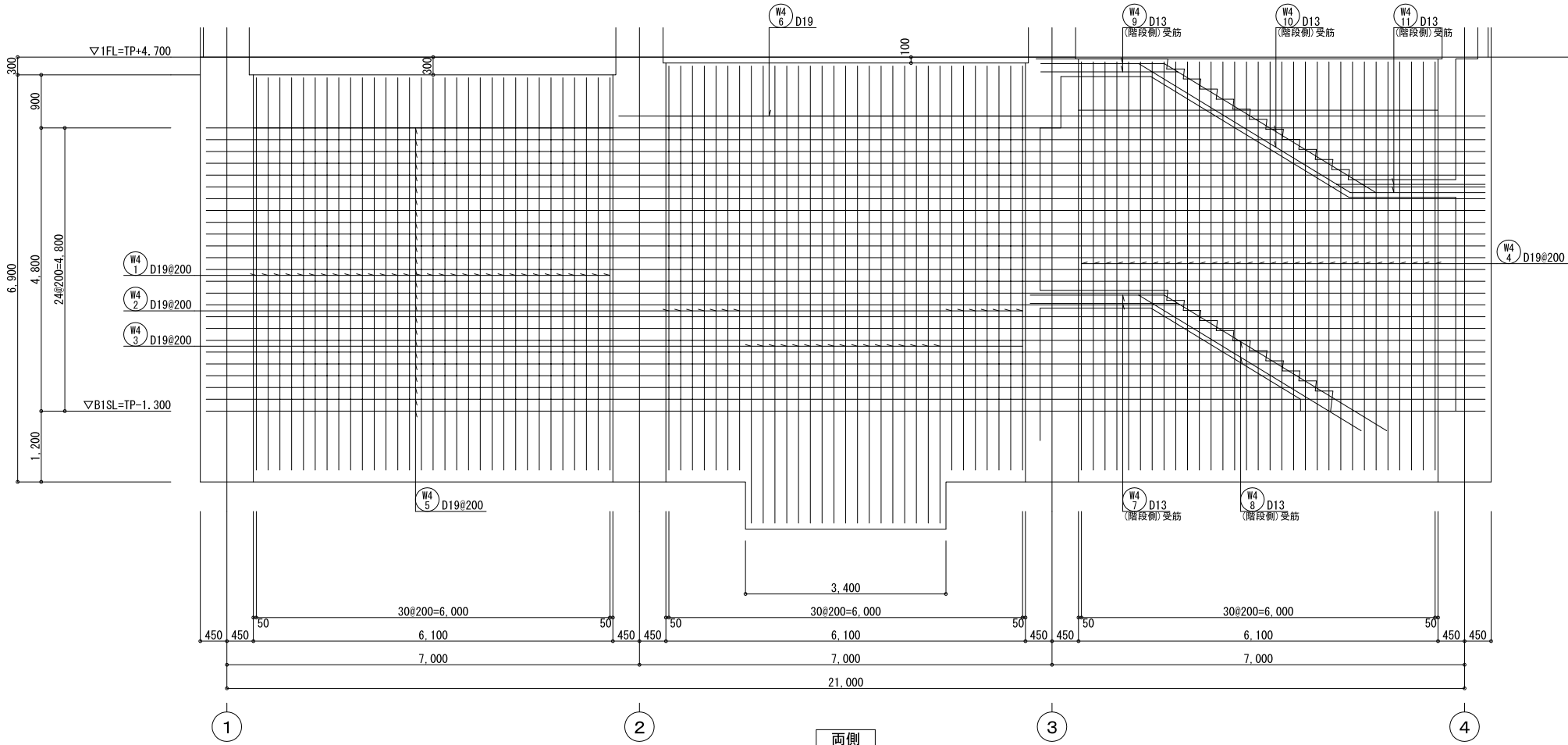
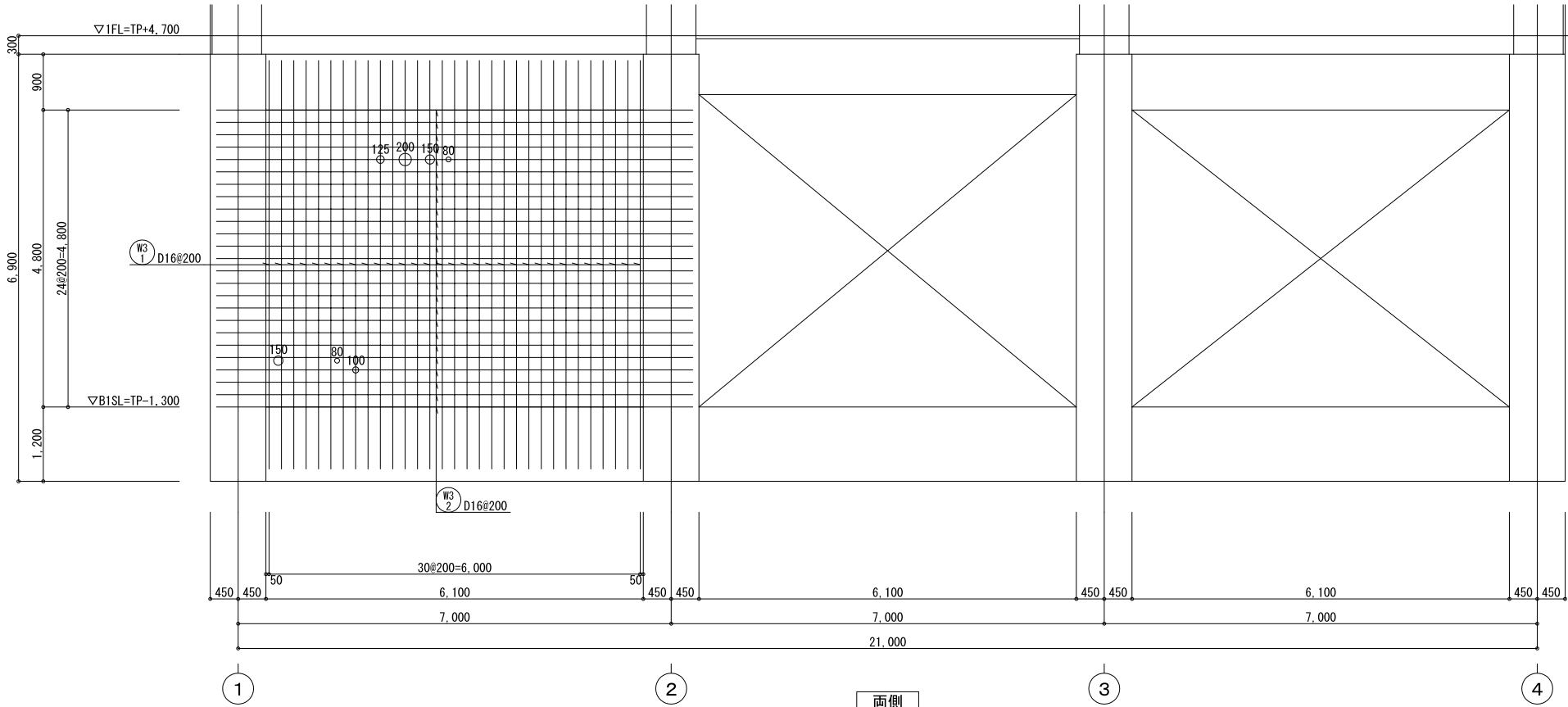


キープラン

工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）				工事
路 線 名	線 筋 地区			橋	
工事箇所	中間	市 郡	町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	壁配筋図（1）				
縮 尺	S=1:50		図面番号	S-38	
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	

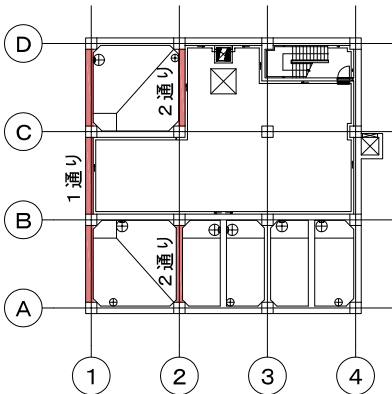
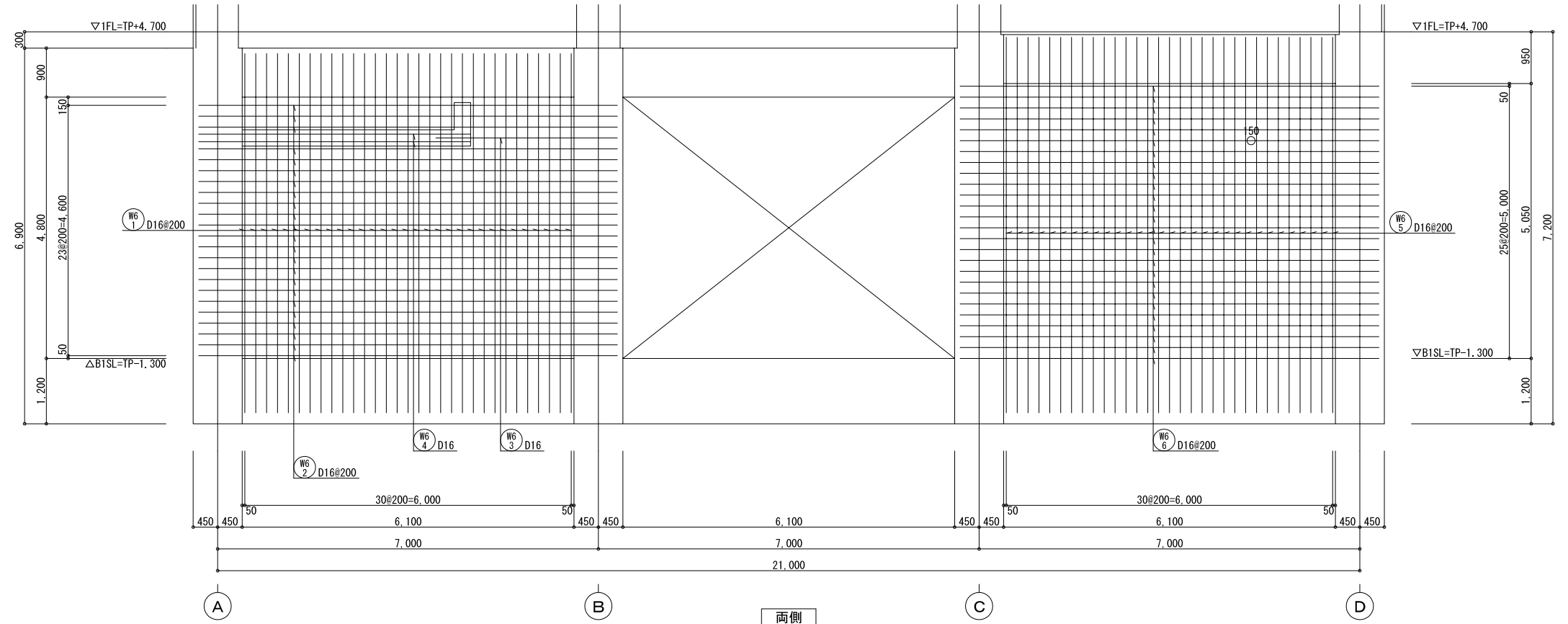
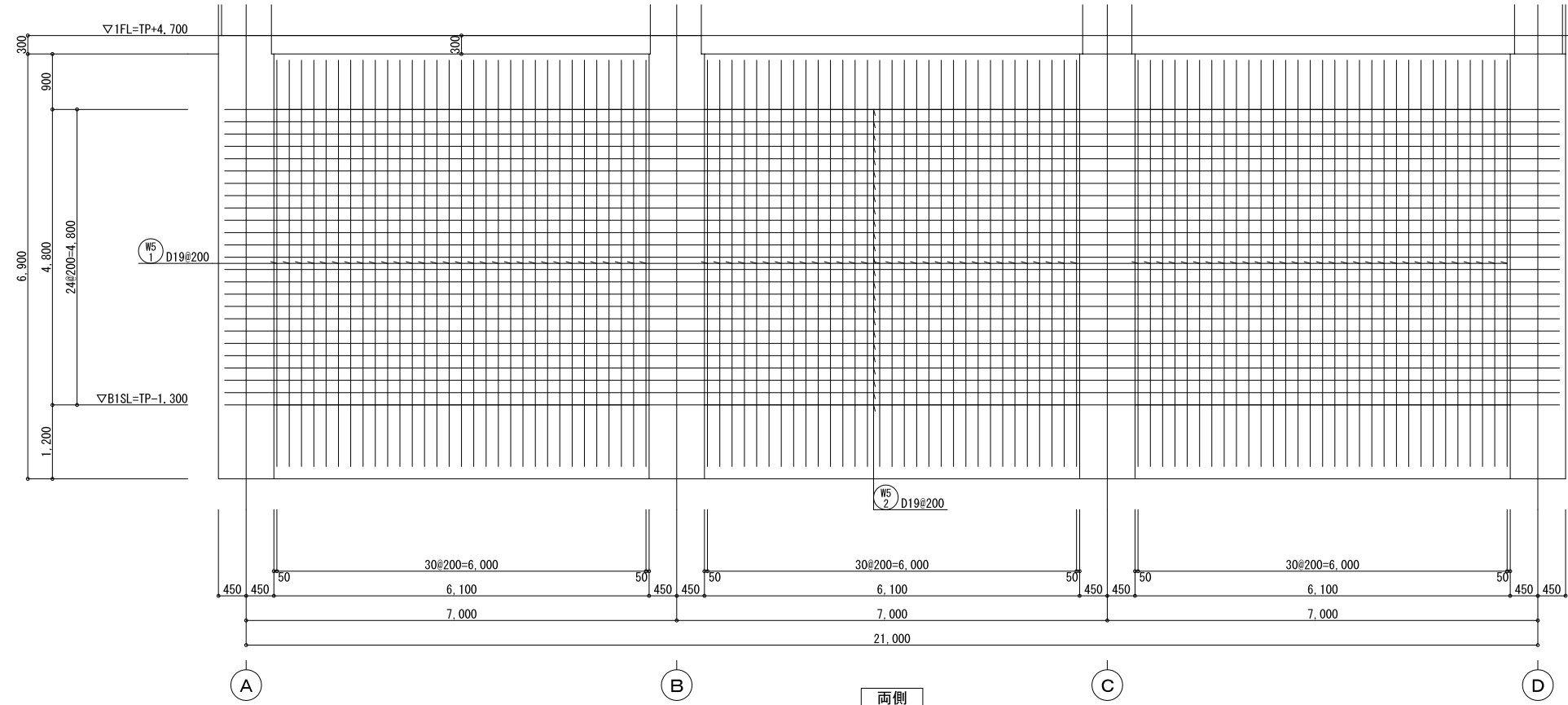


工事年度	令和 7 年度起工 災害査定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)				工事
路 線 名	線 地区			橋	
河 川 名					
工事箇所	中間 市 町 村	大字中底井野 地内			
図 面 名	壁配筋図 (2)				
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-39		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	



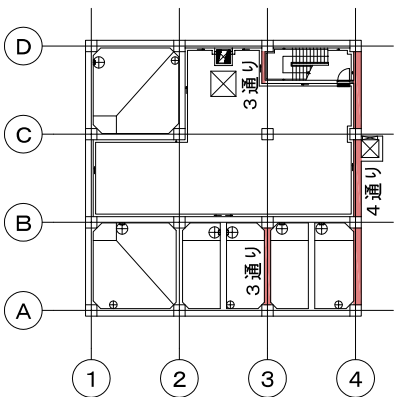
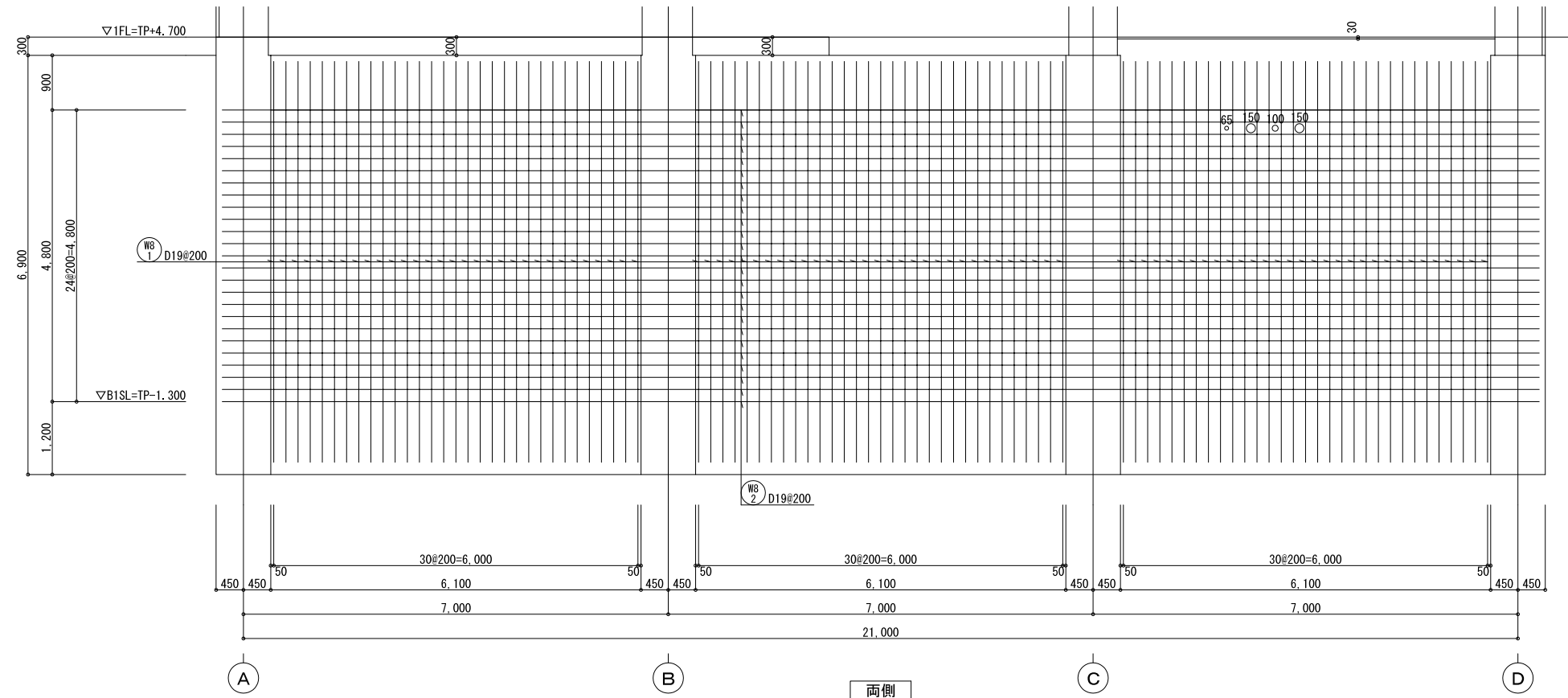
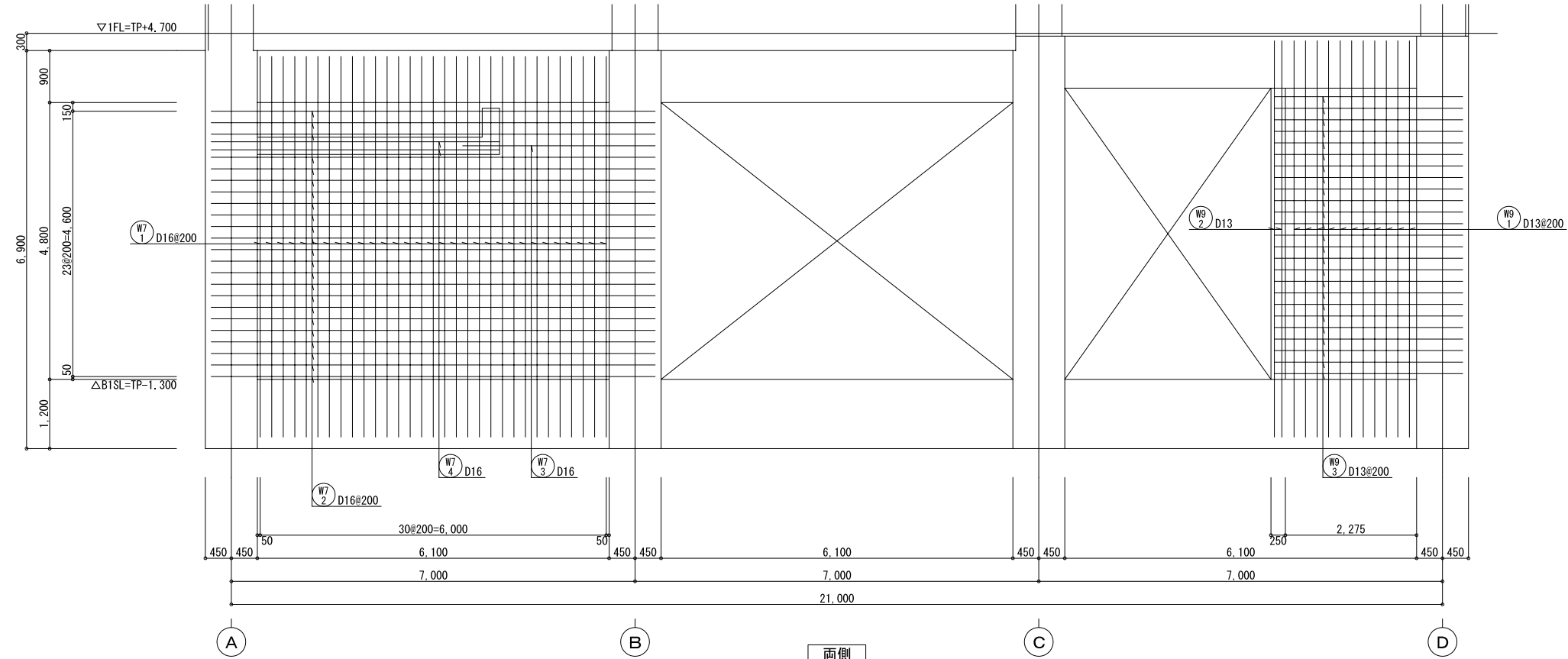
キープラン

工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事				
路 線 名	線 筋 地区				橋
工事箇所	中間	市 郡	町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	壁配筋図 (3)				
縮 尺	S=1:50		図面番号	S-40	
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	



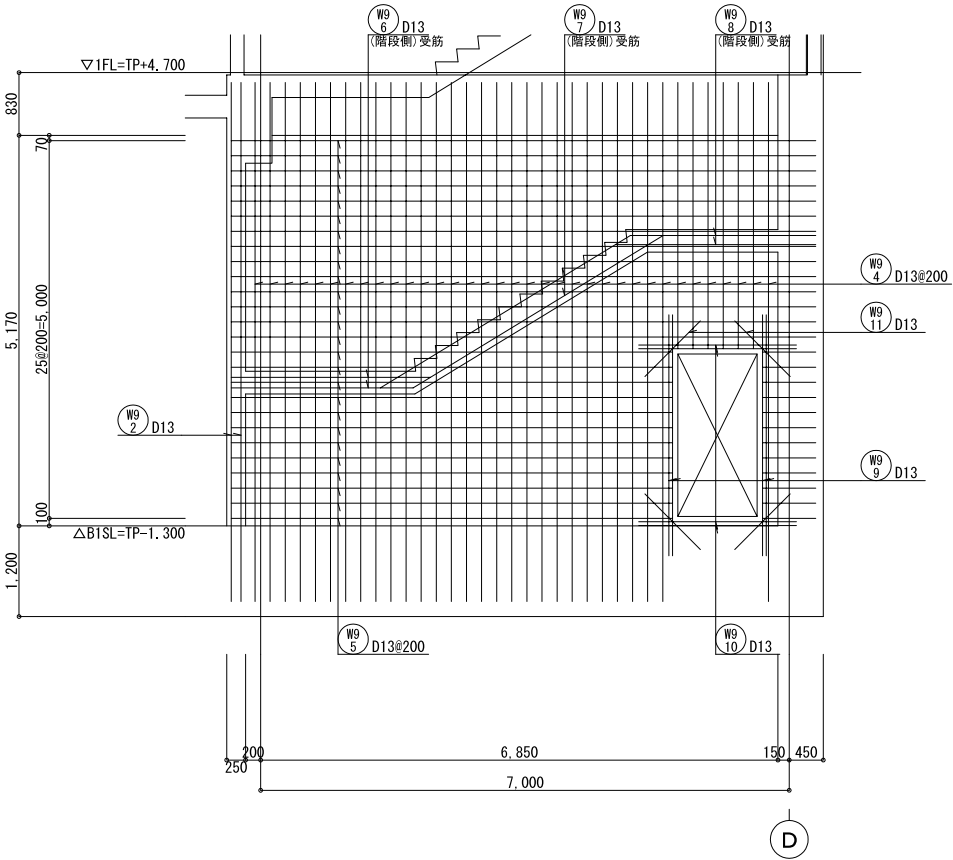
キープラン

工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事				
路 線 名	線 筋 地区				橋
河 川 名					
工事箇所	中間	市 郡	町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	壁配筋図 (4)				
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-41		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	



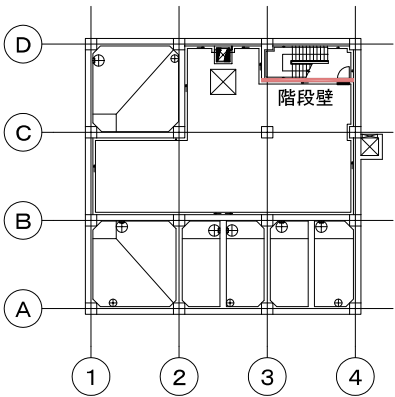
キープラン

工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事				
路 線 名	線 地区				橋
河 川 名					
工事箇所	中間	市 町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	壁配筋図 (5)				
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-42		
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	



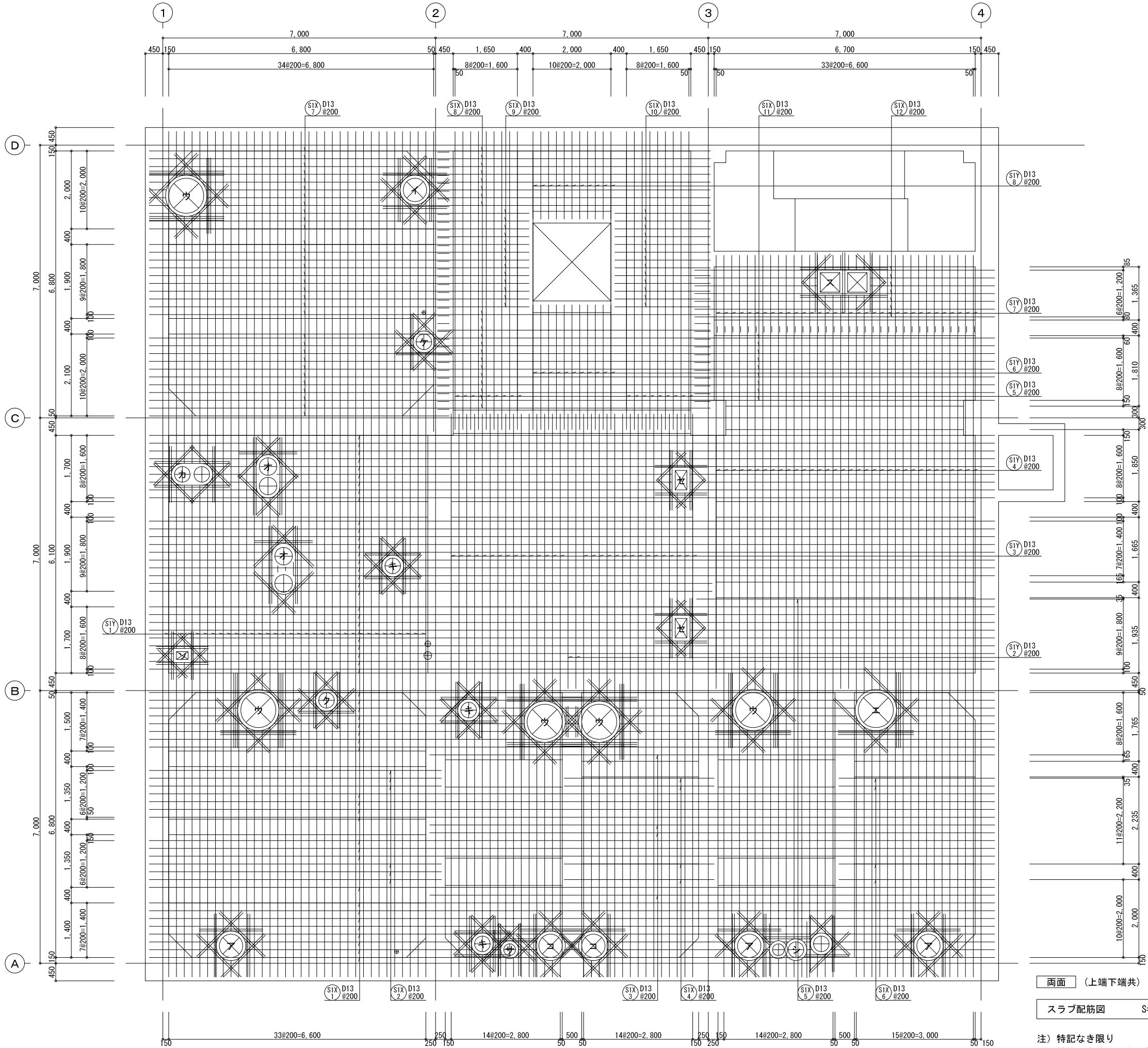
両側

階段壁配筋図 S=1/50



キープラン

工事年度	令和 7 年度起工 災害査定			第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事			
路 線 名	線 筋 地区 橋			
河 川 名	線 筋 地区 橋			
工事箇所	中間	市 郡	大字中底井野 地内	
図 面 名	スラブ配筋図（1）			
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-43	
事務所名	福岡県流域下水道事務所			
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>



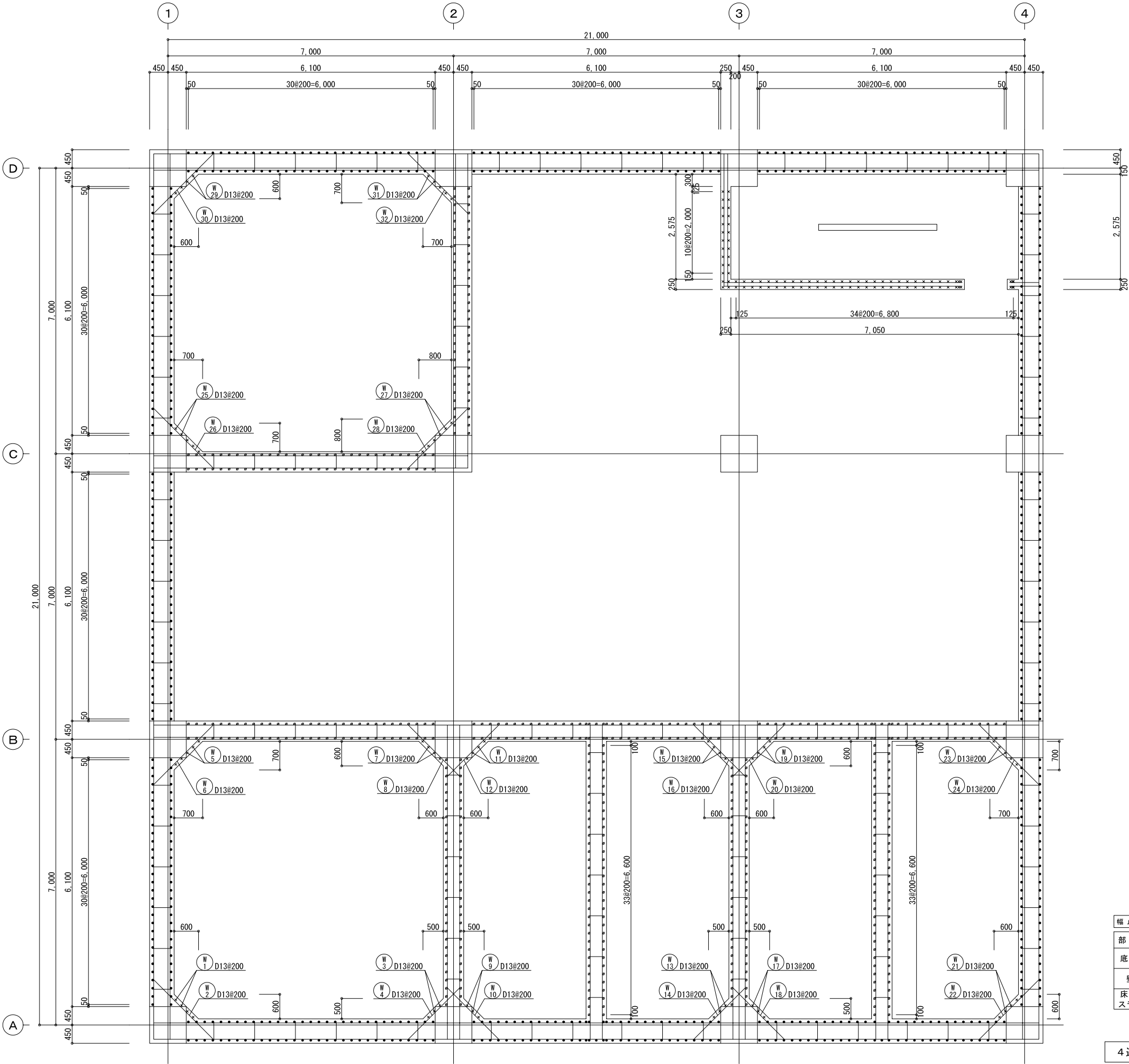
工事年度	令和 7 年度起工 （災害定）			第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事			
路線 河川名	線 筋 地区		橋	
工事箇所	中間 市 郡	町 村	大字中底井野 地内	
図 面 名	スラブ配筋図（2）			
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-44	
事務所名	福岡県流域下水道事務所			
認 可	<input type="checkbox"/> 当 第 回変更	初 実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 第 回変更	初 <input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>

## スラブ開口補強リスト

3か所	1か所	5か所	1か所	2か所	1か所	3か所	1か所
φ400	φ600	φ300	φ300x1, φ400x2	500x500, 500x500	300x500	300x200	
1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	2か所	1か所	



工事年度	令和 7 年度起工 災害査定			第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）工事			
路 線 名	線 地区			橋
河 川 名	筋 地区			橋
工事箇所	中間 市 町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	平面断面配筋図			
縮 尺	S=1:50	図面番号	S-46	
事務所名	福岡県流域下水道事務所			
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>

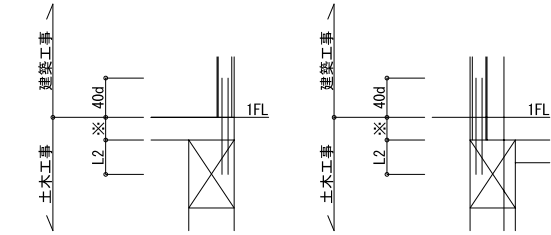
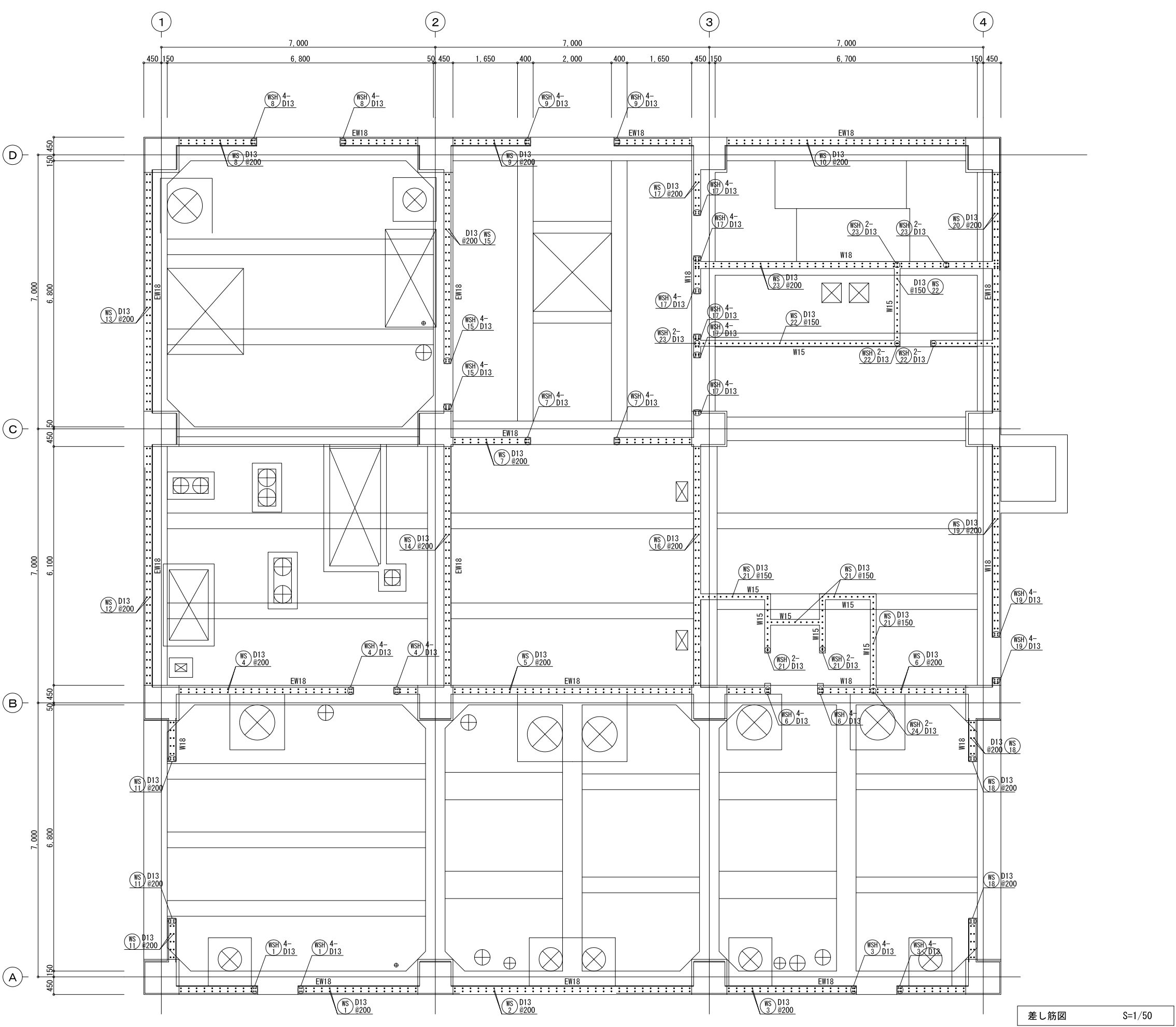


幅 止 筋			
部 位	径	形 状	ピッチ
底 版	D13	□	1000
壁	D13	┌	1000
床 版 スラブ	D13	□	1000

4 通り壁配筋図 S=1/50



工事年度	令和 7 年度起工 災害定				第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区) 工事				
路 線 名	線 筋 地区				橋
河 川 名					
工事箇所	中間 市 郡	町 村	大字中底井野 地内		
図 面 名	差し筋図				
縮 尺	S=1:50		図面番号	S-48	
事務所名	福岡県流域下水道事務所				
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	<input type="checkbox"/> 査 定 <input type="checkbox"/>	



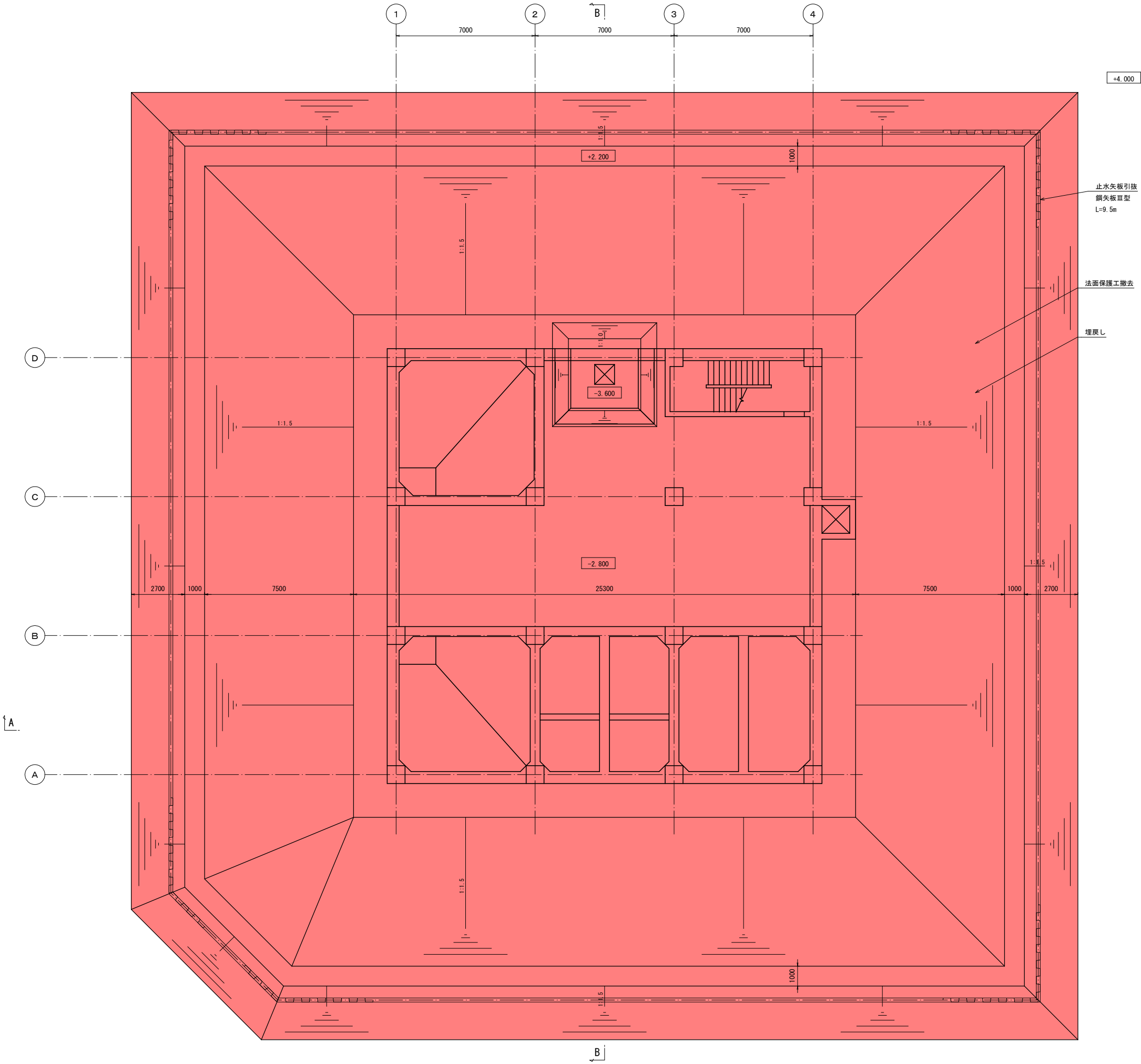
差し筋要領図

注) 特記なき限り  
1. ※の寸法は伏図・軸組図を参照すること。



工事年度	令和 7 年 <u>度起工</u> 第 82594-002 号		
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事（2工区）		
路 線 名	線	地区	橋
工事箇所	中間 <u>市</u> 町 大字中底井野 地内	郡	村
図 面 名	し尿等受入施設土工図（2）		
縮 尺	S=1:100	図面番号	C-3
事務所名	福岡県流域下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 初 <input type="checkbox"/> 第 回変更
	<input type="checkbox"/> 査 定		<input type="checkbox"/>

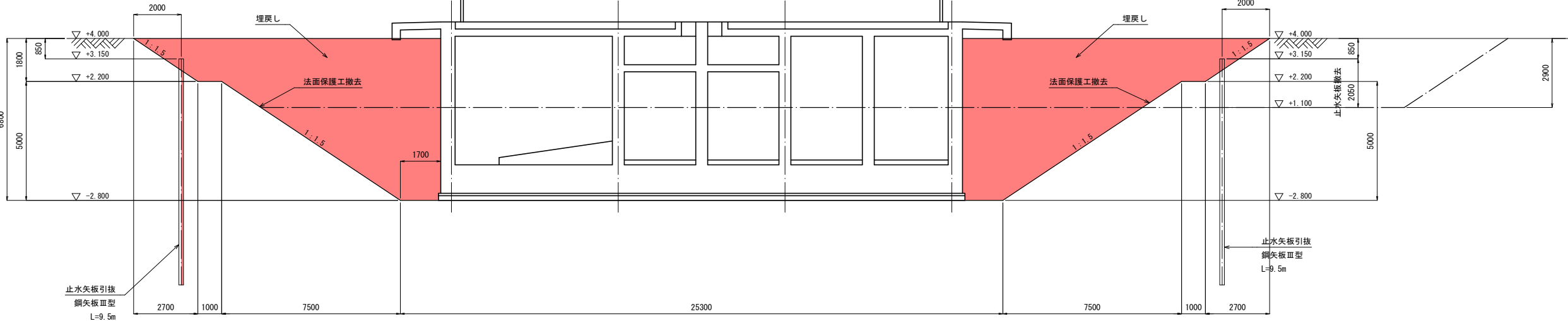
し尿等受入施設土工図 (2)  
S=1:100



工事年度	令和 7 年	度起工 <u>仮書表</u>	第 82594-002 号
工 事 名	遠賀川下流浄化センター し尿等受入施設築造工事 (2工区)		工事
路 線 名	線 河 川	筋 地区	橋
工事箇所	中間 郡	(市) 町 村	大字中底井野 地内
図 面 名	し尿等受入施設土工図 (3)		
縮 尺	S=1:100	図面番号	C-4
事務所名	福岡県流水下水道事務所		
認 可	<input type="checkbox"/> 当 <input type="checkbox"/> 第 回変更	実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 当 <input type="checkbox"/> 第 回変更
	初		初 査 定 <input type="checkbox"/>

し尿等受入施設土工図(

### A-A断面図



B-B断面图

